

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン リッキョウガクイン 学校法人 立教学院							
フリガナ大学の名称	リッキョウダイガク 立教大学 (Rikkyo University)							
大学本部の位置	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号							
大学の目的	キリスト教に基づく人格の陶冶を旨とし、学校教育法（昭和22年法律第26号）により学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めること。							
新設学部等の目的	スポーツウエルネス学部の新設、当該新設に伴うコミュニティ福祉学部の改編のため、収容定員の変更を行う。							
新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	年	人	年次人	人		年月第年次		
文学部 【College of Arts】								
キリスト教学科 【Department of Christian Studies】	4	50	—	200	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
史学科 【Department of History】	4	215	—	860	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	同上	
教育学科 【Department of Education】	4	101	—	404	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和37年4月 第1年次	同上	
文学科 【Department of Letters】	4	552	—	2208	学士（文学） 【Bachelor of Arts】 学士（学術） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
経済学部 【College of Economics】								
経済学科 【Department of Economics】	4	332	—	1328	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	同上	
会計ファイナンス学科 【Department of Accounting and Finance】	4	176	—	704	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	平成14年4月 第1年次	同上	
経済政策学科 【Department of Economic Policy Studies】	4	176	—	704	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
理学部 【College of Science】								
数学科 【Department of Mathematics】	4	66	—	264	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上	
物理学科 【Department of Physics】	4	77	—	308	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	化学科 【Department of Chemistry】	4	77	—	308	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上
	生命理学科 【Department of Life Science】	4	72	—	288	学士（理学） 【Bachelor of Science】	平成14年4月 第1年次	同上
	社会学部 【College of Sociology】							
	社会学科 【Department of Sociology】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	昭和33年4月 第1年次	同上
	現代文化学科 【Department of Contemporary Culture and Society】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	平成14年4月 第1年次	同上
	メディア社会学科 【Department of Communication and Media Studies】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上
	法学部 【College of Law and Politics】							
	法学科 【Department of Law】	4	360	—	1440	学士（法学） 【Bachelor of Arts】	昭和34年4月 第1年次	同上
	政治学科 【Department of Politics】	4	110	—	440	学士（政治学） 【Bachelor of Arts】	平成8年4月 第1年次	同上
	国際ビジネス法学科 【Department of International Business Law】	4	115	—	460	学士（法学） 【Bachelor of Arts】	昭和63年4月 第1年次	同上
	観光学部 【College of Tourism】							
	観光学科 【Department of Tourism and Hospitality Management】	4	195	—	780	学士（観光学） 【Bachelor of Arts】	平成10年4月 第1年次	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
	交流文化学科 【Department of Culture and Tourism Studies】	4	175	—	700	学士（観光学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上
	コミュニティ福祉学部 【College of Community and Human Services】							
	福祉学科 【Department of Social Work】	4	130 (154)	—	520 (616)	学士（コミュニティ福祉学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上
コミュニティ政策学科 【Department of Community Development】	4	220 (154)	—	880 (616)	学士（コミュニティ福祉学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上	
スポーツウェルネス学科 【Department of Sport and Wellness】	4	0 (110)	—	0 (440)	学士（スポーツウェルネス学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上	

経営学部 【College of Business】 経営学科 【Department of Business】	4	230	—	920	学士 (経営学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
国際経営学科 【Department of Global Business】	4	155	—	620	学士 (経営学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
現代心理学部 【College of Contemporary Psychology】								
心理学科 【Department of Psychology】	4	143	—	572	学士 (心理学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	埼玉県新座市北野 一丁目2番26号	
映像身体学科 【Department of Body Expression and Cinematic Arts】	4	176	—	704	学士 (映像身体学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
異文化コミュニケーション学部 【College of Intercultural Communication】								
異文化コミュニケーション学科 【Department of Intercultural Communication】	4	145	—	580	学士 (異文化コミュニケーション学) 【Bachelor of Arts】	平成20年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
スポーツウェルネス学部 【College of Sport and Wellness】								※令和4年5月設置届出予定
スポーツウェルネス学科 【Department of Sport and Wellness】	4	230 (0)	—	920 (0)	学士 (スポーツウェルネス学) 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	埼玉県新座市北野 一丁目2番26号	
計								
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>①令和4年3月 研究科の設置に係る認可申請済み スポーツウェルネス学研究科 スポーツウェルネス学専攻 (M) (10) (令和5年4月) スポーツウェルネス学専攻 (D) (5) (令和5年4月)</p> <p>②令和4年6月 設置届出済み スポーツウェルネス学部 スポーツウェルネス学科 (230)</p> <p>③令和4年6月 収容定員の変更に係る学則変更届出済み 経済学研究科 経済学専攻 (D) [定員減] (△5) (令和5年4月) 法学研究科 法学政治学専攻 (D) [定員減] (△2) (令和5年4月) コミュニティ福祉学研究科 コミュニティ福祉学専攻 (M) [定員減] (△10) (令和5年4月) スポーツウェルネス学研究科 スポーツウェルネス学専攻 (M) (10) (令和5年4月) スポーツウェルネス学専攻 (D) (5) (令和5年4月)</p> <p>④令和5年4月 学生募集停止 コミュニティ福祉学部 スポーツウェルネス学科 (廃止) (△110)</p>							

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		単位		
		講義	演習	実験・実習	計					
		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	—				
教員 組 設 織 の 分	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新	文学部		8	1	0	0	9	0	57
		文学部 文学部		(8)	(1)	(0)	(0)	(9)	(0)	(57)
		史学科		12	5	0	0	17	0	88
		史学科		(12)	(5)	(0)	(0)	(17)	(0)	(88)
		教育学科		12	1	0	0	13	0	75
		教育学科		(12)	(1)	(0)	(0)	(13)	(0)	(75)
		文学部		29	8	0	8	45	0	190
		文学部		(29)	(8)	(0)	(8)	(45)	(0)	(190)
		経済学部		14	6	0	3	23	0	84
		経済学部 経済学部		(14)	(6)	(0)	(3)	(23)	(0)	(84)
		会計ファイナンス学科		7	5	0	3	15	0	84
		会計ファイナンス学科		(7)	(5)	(0)	(3)	(15)	(0)	(84)
		経済政策学科		10	3	0	2	15	0	84
		経済政策学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(84)
		理学部		9	4	0	3	16	0	17
		理学部 理学部		(9)	(4)	(0)	(3)	(16)	(0)	(17)
		数学科		9	5	0	9	23	0	54
		数学科		(9)	(5)	(0)	(9)	(23)	(0)	(54)
	物理学科		9	5	0	9	23	0	54	
	物理学科		(9)	(5)	(0)	(9)	(23)	(0)	(54)	
	化学科		10	2	0	4	16	0	20	
	化学科		(10)	(2)	(0)	(4)	(16)	(0)	(20)	
	生命理学科		10	3	0	9	22	0	25	
	生命理学科		(10)	(3)	(0)	(9)	(22)	(0)	(25)	
	社会学部		10	1	0	2	13	0	90	
	社会学部 社会学部		(10)	(1)	(0)	(2)	(13)	(0)	(90)	
	現代文化学科		7	3	0	2	12	0	98	
現代文化学科		(7)	(3)	(0)	(2)	(12)	(0)	(98)		
メディア社会学科		10	0	0	3	13	0	101		
メディア社会学科		(10)	(0)	(0)	(3)	(13)	(0)	(101)		
法学部		18	3	0	3	24	0	79		
法学部 法学部		(18)	(3)	(0)	(3)	(24)	(0)	(79)		
政治学科		8	2	0	2	12	0	79		
政治学科		(8)	(2)	(0)	(2)	(12)	(0)	(79)		
国際ビジネス法学科		7	7	0	0	14	0	79		
国際ビジネス法学科		(7)	(7)	(0)	(0)	(14)	(0)	(79)		
観光学部		11	1	0	2	14	0	73		
観光学部 観光学部		(11)	(1)	(0)	(2)	(14)	(0)	(73)		
交流文化学科		8	4	0	1	13	0	45		
交流文化学科		(8)	(4)	(0)	(1)	(13)	(0)	(45)		
コミュニティ福祉学部		7	4	0	4	15	0	66		
コミュニティ福祉学部 コミュニティ福祉学部		(7)	(4)	(0)	(4)	(15)	(0)	(66)		
福祉学科		7	7	0	3	17	0	57		
福祉学科		(7)	(7)	(0)	(3)	(17)	(0)	(57)		
コミュニティ政策学科		7	7	0	3	17	0	57		
コミュニティ政策学科		(7)	(7)	(0)	(3)	(17)	(0)	(57)		
経営学部		10	3	0	4	17	0	66		
経営学部 経営学部		(10)	(3)	(0)	(4)	(17)	(0)	(66)		
経営学科		6	6	1	3	16	0	66		
経営学科		(6)	(6)	(1)	(3)	(16)	(0)	(66)		
国際経営学科		6	6	1	3	16	0	66		
国際経営学科		(6)	(6)	(1)	(3)	(16)	(0)	(66)		
現代心理学部		10	5	0	1	16	0	54		
現代心理学部 現代心理学部		(10)	(5)	(0)	(1)	(16)	(0)	(54)		
心理学科		10	3	0	2	15	0	45		
心理学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(45)		
映像身体学科		10	3	0	2	15	0	45		
映像身体学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(45)		
異文化コミュニケーション学部		22	9	0	3	34	0	83		
異文化コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学部		(22)	(9)	(0)	(3)	(34)	(0)	(83)		
異文化コミュニケーション学科		10	6	0	0	16	0	30		
異文化コミュニケーション学科		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
スポーツウェルネス学部		10	6	0	0	16	0	30		
スポーツウェルネス学部 スポーツウェルネス学部		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
スポーツウェルネス学科		10	6	0	0	16	0	30		
スポーツウェルネス学科		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
計		291	107	1	76	475	0	—		
		(291)	(107)	(1)	(76)	(475)	(0)	(—)		
既	学校・社会教育講座		7	4	0	0	11	0	79	
	学校・社会教育講座		(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)	(79)	
	全学共通カリキュラム運営センター		0	0	0	0	0	0	362	
	全学共通カリキュラム運営センター		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(362)	
外国語教育センター		4	12	82	0	98	0	186		
外国語教育センター		(4)	(12)	(82)	(0)	(98)	(0)	(186)		
社会情報教育研究センター		0	0	0	4	4	0	0		
社会情報教育研究センター		(0)	(0)	(0)	(4)	(4)	(0)	(0)		

令和4年5月  
設置届出予定

概 設	日本語語教育センター		0 (0)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	19 (19)
	グローバル教育センター		0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	大学教育開発・支援センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	立教学院史資料センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	立教サービスラーニングセンター		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	チャブレン室		0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	計		11 (11)	26 (26)	86 (86)	10 (10)	133 (133)	0 (0)	— (—)
	合計		302 (302)	133 (133)	87 (87)	86 (86)	608 (608)	0 (0)	— (—)
要 分	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		255 (255)	人	195 (195)	人	450 (450)		人
	技術職員		24 (24)	人	1 (1)	人	25 (25)		人
	図書館専門職員		23 (23)	人	2 (2)	人	25 (25)		人
	その他の職員		0 (0)	人	0 (0)	人	0 (0)		人
	計		302 (302)	人	198 (198)	人	500 (500)		人
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校舎敷地	116,820 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		116,820 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	125,853 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		125,853 m <sup>2</sup>		
	小 計	242,673 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		242,673 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	16,234 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		16,234 m <sup>2</sup>		
	合 計	258,907 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		258,907 m <sup>2</sup>		
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
		183,096 m <sup>2</sup> (176,796 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		183,096 m <sup>2</sup> (176,796 m <sup>2</sup> )		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		
	143 室	157 室	69 室		21 室 (補助職員 人)		12 室 (補助職員 人)		
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学全体			567 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	2,027,717 [785,765] (2,102,761 [806,713])	21,051 [7,060] (21,051 [7,060])		66,845 [66,734] (66,845 [66,734])	64,126 (65,854)	968 (968)	0 (0)	
	計	2,027,717 [785,765] (2,102,761 [806,713])	21,051 [7,060] (21,051 [7,060])		66,845 [66,734] (66,845 [66,734])	64,126 (65,854)	968 (968)	0 (0)	
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		21,554.99 m <sup>2</sup>		2,029		2,928,382			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		13,450.03 m <sup>2</sup>		ジム、馬場、射撃場、テニスコート、プール、弓道場					
経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等		1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	—	—	
	共同研究費等		15,186千円	15,186千円	15,186千円	15,186千円	—	—	
	図書購入費	661,319,000	661,319,000	661,319,000	661,319,000	661,319,000	—	—	
	設備購入費	202,991,000	202,991,000	202,991,000	202,991,000	202,991,000	—	—	
図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。									

経費の  
見及び  
積維  
持方法  
の概要

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
文学部(教育学科初等教育専攻、グローバル・リベラルアーツ・プログラム、NEXUSプログラムを除く)	1,328千円	1,128千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 教育学科初等教育専攻 (NEXUSプログラムを除く)	1,328千円	1,128千円	1,138千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 グローバル・リベラル アーツ・プログラム	2,050千円	1,850千円	1,850千円	1,850千円	— 千円	— 千円
文学部 NEXUSプログラム(教育学科初等教育専攻を除く)	1,892千円	1,128千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 NEXUSプログラム (教育学科初等 教育専攻)	1,892千円	1,128千円	1,138千円	1,128千円	— 千円	— 千円
経済学部(NEXUSプログラムを除く) 法学部(NEXUSプログラム、国際ビジネス法学科 グローバルコースを除く) 観光学部	1,321千円	1,121千円	1,121千円	1,121千円	— 千円	— 千円
経済学部NEXUSプログラム 法学部NEXUSプログラム	1,881.5千円	1,121千円	1,121千円	1,121千円	— 千円	— 千円
法学部 国際ビジネス法学科 グローバルコース	1,421千円	1,221千円	1,221千円	1,221千円	— 千円	— 千円
理学部 数学科	1,748千円	1,548千円	1,548千円	1,548千円	— 千円	— 千円
理学部 物理学科	1,758千円	1,608千円	1,588千円	1,668千円	— 千円	— 千円
理学部 化学科	1,788千円	1,628千円	1,548千円	1,628千円	— 千円	— 千円
理学部 生命理学科	1,818千円	1,588千円	1,628千円	1,628千円	— 千円	— 千円
社会学部(NEXUSプログラムを除く)	1,336千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
社会学部 NEXUSプログラム	1,896.5千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学部 (NEXUSプログラムを除く)	1,331千円	1,131千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学部 NEXUSプログラム	1,895千円	1,131千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
経営学部(NEXUSプログラムを除く)	1,351千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
経営学部 NEXUSプログラム	1,911.5千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 心理学科(NEXUSプログラムを除く)	1,380千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 心理学科 NEXUSプログラム	1,962.5千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 映像身体学科 (NEXUSプログラムを除く)	1,405千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円

現代心理学部 映像身体学科 NEXUSプログラム	2,000千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円		
異文化コミュニケーション学部	1,338千円	1,131千円	1,131千円	1,129千円	— 千円	— 千円		
スポーツウェルネス学部	1,405千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入、寄付金収入、補助金収入等						
大 学 の 名 称 立教大学								
学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
文学部						0.99		東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
キリスト教学科	4	50	—	197	学士（文学）	0.94	昭和24年度	令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（15人）
史学科	4	215	—	857	学士（文学）	0.96	昭和24年度	
教育学科	4	101	—	401	学士（文学）	1.10	昭和37年度	
文学科	4	552	—	2163	学士（文学） 学士（学術）	0.97	平成18年度	
経済学部						0.98		同上
経済学科	4	332	—	1322	学士（経済学）	0.97	昭和24年度	令和4年度入学定員増（2人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人）
会計ファイナンス学科	4	176	—	701	学士（経済学）	0.97	平成14年度	
経済政策学科	4	176	—	701	学士（経済学）	0.99	平成18年度	
理学部						0.98		同上
数学科	4	66	—	264	学士（理学）	0.96	昭和24年度	令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人）
物理学科	4	77	—	308	学士（理学）	1.00	昭和24年度	
化学科	4	77	—	308	学士（理学）	1.00	昭和24年度	
生命理学科	4	72	—	288	学士（理学）	0.97	平成14年度	
社会学部						0.99		同上
社会学科	4	173	—	683	学士（社会学）	1.00	昭和33年度	令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人）
現代文化学科	4	173	—	683	学士（社会学）	0.99	平成14年度	
メディア社会学科	4	173	—	683	学士（社会学）	0.98	平成18年度	
法学部						0.98		同上
法学科	4	360	—	1440	学士（法学）	0.93	昭和34年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
政治学科	4	110	—	440	学士（政治学）	1.06	平成8年度	
国際ビジネス法学科	4	115	—	460	学士（法学）	1.04	昭和63年度	
観光学部						0.98		同上
観光学科	4	195	—	780	学士（観光学）	0.99	平成10年度	同上
交流文化学科	4	175	—	700	学士（観光学）	0.97	平成18年度	
コミュニティ福祉学部						0.97		同上
福祉学科	4	154	—	616	学士（コミュニティ福祉学）	0.98	平成18年度	同上
コミュニティ政策学科	4	154	—	616	学士（コミュニティ福祉学）	0.96	平成18年度	

既設大学等の状況	スポーツウェルネス学科	4	110	—	440	学士（スポーツウェルネス学）	0.97	平成20年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号	
	経営学部						0.97			
	経営学科	4	230	—	920	学士（経営学）	1.00	平成18年度		
		国際経営学科	4	155	—	620	学士（経営学）	0.93	平成18年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
	現代心理学部						0.98			
	心理学科	4	143	—	572	学士（心理学）	0.98	平成18年度		
		映像身体学科	4	176	—	704	学士（映像身体学）	0.98	平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
	異文化コミュニケーション学部						1.01			
	異文化コミュニケーション学科	4	145	—	580	学士（異文化コミュニケーション学）	1.01	平成20年度		
		文学研究科							同上	
		英米文学専攻(M)	2	18	—	36	修士（文学）	0.19	昭和26年度	同上
		英米文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.66	昭和28年度	
		史学専攻(M)	2	15	—	30	修士（文学）	0.50	昭和33年度	
		史学専攻(D)	3	6	—	18	博士（文学）	0.49	昭和51年度	
		教育学専攻(M)	2	10	—	20	修士（教育学）	0.55	昭和44年度	
		教育学専攻(D)	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	昭和47年度	
		日本文学専攻(M)	2	20	—	40	修士（文学）	0.37	昭和35年度	
		日本文学専攻(D)	3	8	—	24	博士（文学）	0.29	昭和37年度	
		フランス文学専攻(M)	2	8	—	16	修士（文学）	0.25	昭和40年度	
		フランス文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.22	昭和42年度	
		ドイツ文学専攻(M)	2	8	—	16	修士（文学）	0.31	昭和42年度	
		ドイツ文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.11	昭和44年度	
		比較文明学専攻(M)	2	10	—	20	修士（比較文明学）	0.25	平成10年度	
		比較文明学専攻(D)	3	5	—	15	博士（比較文明学）	0.33	平成12年度	
		超域文化学専攻(M)	2	5	—	10	修士（文学）	0.10	昭和42年度	
		超域文化学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.22	昭和44年度	
		経済学研究科							同上	
		経済学専攻(M)	2	40	—	80	修士（経済学） 修士（会計学）	0.67	昭和26年度	
		経済学専攻(D)	3	10	—	30	博士（経済学） 博士（会計学）	0.16	昭和38年度	
		理学研究科							同上	
		物理学専攻(M)	2	20	—	40	修士（理学）	0.92	昭和28年度	
		物理学専攻(D)	3	4	—	12	博士（理学）	0.58	昭和30年度	
	化学専攻(M)	2	20	—	40	修士（理学）	0.92	昭和29年度		
	化学専攻(D)	3	4	—	12	博士（理学）	0.16	昭和37年度		



数学専攻(M)	2	5	—	10	修士(理学)	0.50	昭和30年度	
数学専攻(D)	3	3	—	9	博士(理学)	0.11	昭和37年度	
生命理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(理学)	0.90	平成8年度	
生命理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(理学)	0.25	平成10年度	
社会学研究科								同上
社会学専攻(M)	2	20	—	40	修士(社会学)	0.97	平成2年度	
社会学専攻(D)	3	10	—	30	博士(社会学)	0.33	平成9年度	
法学研究科								同上
法学政治学専攻(M)	2	20	—	40	修士(法学) 修士(政治学)	0.35	平成18年度	
法学政治学専攻(D)	3	10	—	30	博士(法学) 博士(政治学)	0.06	平成18年度	
観光学研究科								埼玉県新座市北野一丁目2番26号
観光学専攻(M)	2	20	—	40	修士(観光学)	0.60	平成10年度	
観光学専攻(D)	3	8	—	24	博士(観光学)	0.16	平成10年度	
コミュニティ福祉学研究科								同上
コミュニティ福祉学専攻(M)	2	25	—	50	修士(コミュニティ福祉学) 修士(スポーツマネジメント学)	0.38	平成18年度	
コミュニティ福祉学専攻(D)	3	5	—	15	博士(コミュニティ福祉学) 博士(スポーツマネジメント学)	0.46	平成16年度	
ビジネスデザイン研究科								東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
ビジネスデザイン専攻(M)	2	90	—	180	修士(経営管理学)	1.03	平成14年度	
ビジネスデザイン専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営管理学)	0.60	平成19年度	
21世紀社会デザイン研究科								同上
比較組織ネットワーク学専攻(M)	2	50	—	100	修士(社会デザイン学)	0.83	平成14年度	
比較組織ネットワーク学専攻(D)	3	5	—	15	博士(社会デザイン学)	0.13	平成19年度	
異文化コミュニケーション研究科								同上
異文化コミュニケーション専攻(M)	2	20	—	40	修士(異文化コミュニケーション学)	0.62	平成14年度	
異文化コミュニケーション専攻(D)	3	5	—	15	博士(異文化コミュニケーション学)	0.40	平成16年度	
経営学研究科								同上
経営学専攻(M)	2	10	—	20	修士(経営学)	2.05	平成18年度	
経営学専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営学)	0.40	平成18年度	
国際経営学専攻(M)	2	50	—	100	修士(国際経営学) 修士(公共経営学)	0.70	平成23年度	
現代心理学研究科								埼玉県新座市北野一丁目2番26号
心理学専攻(M)	2	10	—	20	修士(心理学)	0.15	平成18年度	
心理学専攻(D)	3	3	—	9	博士(心理学)	0.33	平成18年度	

臨床心理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(臨床心理学)	0.93	平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
臨床心理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(臨床心理学)	0.16	平成18年度	
映像身体学専攻(M)	2	15	—	30	修士(映像身体学)	0.29	平成20年度	
映像身体学専攻(D)	3	4	—	12	博士(映像身体学)	0.00	平成22年度	
キリスト教学研究科								
キリスト教学専攻(M)	2	10	—	20	修士(神学) 修士(文学) 修士(実践神学)	0.70	平成21年度	同上
キリスト教学専攻(D)	3	5	—	15	博士(神学) 博士(文学)	0.13	平成21年度	
人工知能科学研究科								
人工知能科学専攻(M)	2	63	—	126	修士(人工知能科学)	1.05	令和2年度	同上
人工知能科学専攻(D)	3	8	—	8	博士(人工知能科学)	—	令和4年度	
附属施設の概要	該当なし							

学校法人立教学院 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度

令和5年度

立教大学

立教大学

学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	キリスト教学科	50	—	200
	史学科	215	—	860
	教育学科	101	—	404
	文学科	552	—	2,208
経済学部	経済学科	332	—	1,328
	会計ファイナンス学科	176	—	704
	経済政策学科	176	—	704
理学部	数学科	66	—	264
	物理学科	77	—	308
	化学科	77	—	308
	生命理学科	72	—	288
社会学部	社会学科	173	—	692
	現代文化学科	173	—	692
	メディア社会学科	173	—	692
法学部	法学科	360	—	1,440
	政治学科	110	—	440
	国際ビジネス法学科	115	—	460
観光学部	観光学科	195	—	780
	交流文化学科	175	—	700
コミュニティ福祉学部	福祉学科	154	—	616
	コミュニティ政策学科	154	—	616
	スポーツウェルネス学科	110	—	440
経営学部	経営学科	230	—	920
	国際経営学科	155	—	620
現代心理学部	心理学科	143	—	572
	映像身体学科	176	—	704
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	145	—	580
計		4,635	—	18,540

学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	変更の事由
文学部	キリスト教学科	50	—	200	
	史学科	215	—	860	
	教育学科	101	—	404	
	文学科	552	—	2,208	
経済学部	経済学科	332	—	1,328	
	会計ファイナンス学科	176	—	704	
	経済政策学科	176	—	704	
理学部	数学科	66	—	264	
	物理学科	77	—	308	
	化学科	77	—	308	
	生命理学科	72	—	288	
社会学部	社会学科	173	—	692	
	現代文化学科	173	—	692	
	メディア社会学科	173	—	692	
法学部	法学科	360	—	1,440	
	政治学科	110	—	440	
	国際ビジネス法学科	115	—	460	
観光学部	観光学科	195	—	780	
	交流文化学科	175	—	700	
コミュニティ福祉学部	福祉学科	130	—	520	定員変更(△24) ※収定増認可申請予定
	コミュニティ政策学科	220	—	880	定員変更(66) ※収定増認可申請予定
	スポーツウェルネス学科	0	—	0	令和5年4月学生募集停止
経営学部	経営学科	230	—	920	
	国際経営学科	155	—	620	
現代心理学部	心理学科	143	—	572	
	映像身体学科	176	—	704	
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	145	—	580	
スポーツウェルネス学部	スポーツウェルネス学科	230	—	920	学部の設置(届出) ※収定増認可申請予定
計		4,797	—	19,188	

令和4年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
文学研究科	英米文学専攻(M)	18	—	36
	英米文学専攻(D)	3	—	9
	史学専攻(M)	15	—	30
	史学専攻(D)	6	—	18
	教育学専攻(M)	10	—	20
	教育学専攻(D)	3	—	9
	日本文学専攻(M)	20	—	40
	日本文学専攻(D)	8	—	24
	フランス文学専攻(M)	8	—	16
	フランス文学専攻(D)	3	—	9
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9
	比較文明学専攻(M)	10	—	20
	比較文明学専攻(D)	5	—	15
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80
	経済学専攻(D)	10	—	30
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40
	物理学専攻(D)	4	—	12
	化学専攻(M)	20	—	40
	化学専攻(D)	4	—	12
	数学専攻(M)	5	—	10
	数学専攻(D)	3	—	9
	生命理学専攻(M)	15	—	30
	生命理学専攻(D)	4	—	12
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40
	社会学専攻(D)	10	—	30
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40
	法学政治学専攻(D)	10	—	30
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40
	観光学専攻(D)	8	—	24
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	25	—	50
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15

令和5年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
文学研究科	英米文学専攻(M)	18	—	36	
	英米文学専攻(D)	3	—	9	
	史学専攻(M)	15	—	30	
	史学専攻(D)	6	—	18	
	教育学専攻(M)	10	—	20	
	教育学専攻(D)	3	—	9	
	日本文学専攻(M)	20	—	40	
	日本文学専攻(D)	8	—	24	
	フランス文学専攻(M)	8	—	16	
	フランス文学専攻(D)	3	—	9	
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16	
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9	
	比較文明学専攻(M)	10	—	20	
	比較文明学専攻(D)	5	—	15	
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80	
	経済学専攻(D)	5	—	15	定員変更(△5)
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40	
	物理学専攻(D)	4	—	12	
	化学専攻(M)	20	—	40	
	化学専攻(D)	4	—	12	
	数学専攻(M)	5	—	10	
	数学専攻(D)	3	—	9	
	生命理学専攻(M)	15	—	30	
	生命理学専攻(D)	4	—	12	
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40	
	社会学専攻(D)	10	—	30	
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40	
	法学政治学専攻(D)	8	—	24	定員変更(△2)
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40	
	観光学専攻(D)	8	—	24	
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	15	—	30	定員変更(△10)
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15	
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180	
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15	

令和4年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
21世紀社会デザイン研究科	比較組織ネットワーク学専攻(M)	50	—	100
	比較組織ネットワーク学専攻(D)	5	—	15
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20
	経営学専攻(D)	5	—	15
	国際経営学専攻(M)	50	—	100
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20
	心理学専攻(D)	3	—	9
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12
	映像身体学専攻(M)	15	—	30
	映像身体学専攻(D)	4	—	12
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24
計		748	—	1,632

令和5年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
21世紀社会デザイン研究科	比較組織ネットワーク学専攻(M)	50	—	100	
	比較組織ネットワーク学専攻(D)	5	—	15	
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40	
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15	
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20	
	経営学専攻(D)	5	—	15	
	国際経営学専攻(M)	50	—	100	
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20	
	心理学専攻(D)	3	—	9	
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30	
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12	
	映像身体学専攻(M)	15	—	30	
	映像身体学専攻(D)	4	—	12	
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20	
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15	
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126	
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24	
	スポーツウエルネス学研究科	10	—	20	研究科の設置 (認可申請)
	スポーツウエルネス学専攻(D)	5	—	15	
計		746	—	1,626	

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

2023年度からの収容定員を下表のとおりとする。

学部名	学科名	変更前	変更後	増減	備考
		収容定員	収容定員	収容定員	
文学部		3,672	3,672	0	
	キリスト教学科	200	200	0	
	史学科	860	860	0	
	教育学科	404	404	0	
	文学科	2,208	2,208	0	
経済学部		2,736	2,736	0	
	経済学科	1,328	1,328	0	
	会計ファイナンス学科	704	704	0	
	経済政策学科	704	704	0	
理学部		1,168	1,168	0	
	数学科	264	264	0	
	物理学科	308	308	0	
	化学科	308	308	0	
	生命理学科	288	288	0	
社会学部		2,076	2,076	0	
	社会学科	692	692	0	
	現代文化学科	692	692	0	
	メディア社会学科	692	692	0	
法学部		2,340	2,340	0	
	法学科	1,440	1,440	0	
	政治学科	440	440	0	
	国際ビジネス法学科	460	460	0	
観光学部		1,480	1,480	0	
	観光学科	780	780	0	
	交流文化学科	700	700	0	
コミュニティ福祉学部		1,672	1,400	-272	
	福祉学科	616	520	-96	カリキュラム改編
	コミュニティ政策学科	616	880	264	カリキュラム改編
	スポーツウエルネス学科	440	0	-440	学科廃止
経営学部		1,540	1,540	0	
	経営学科	920	920	0	
	国際経営学科	620	620	0	
現代心理学部		1,276	1,276	0	
	心理学科	572	572	0	
	映像身体学科	704	704	0	
異文化コミュニケーション学部		580	580	0	
	異文化コミュニケーション学科	580	580	0	
スポーツウエルネス学部		0	920	920	新学部設置
	スポーツウエルネス学科	0	920	920	
<b>合計</b>		<b>18,540</b>	<b>19,188</b>	<b>648</b>	

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

### ○コミュニティ福祉学部共通

コミュニティ福祉学部は、1998年に「コミュニティ福祉学科」1学科の体制で開設された。その後、福祉を取り巻く時代のニーズに応えるため、2006年に「コミュニティ政策学科」と「福祉学科」の2学科体制を取り、さらに2008年より「スポーツウエルネス学科」を新設して3学科体制となり現在に至っている。この間一貫して、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的として、教育研究を展開してきた。今後も臨床の学を標榜し、社会・生活問題あるいは社会的排除問題の構造・背景や、その解決のアプローチを学ぶ場として、学部の基本理念・目的は堅持していく。

一方で、コミュニティや福祉を巡る状況は刻一刻と変化しており、これに対応する教学改革を進める必要がある。社会福祉領域においては、少子・高齢化の進展と人口減少社会の到来に伴い、高齢者ケアの恒常的な担い手不足、社会的な孤立、暴力や虐待の増加、子ども・若者の貧困問題など、支援を必要とする人々の生活課題はより複雑さを増している。こうした生活課題に対しては、地域包括ケアシステムのように地域で人々のつながりを作り、支える仕組みが構想され、これまでとは異なる問題解決アプローチが模索されている。これに伴い、市民が自ら生活課題や地域課題の解決の担い手として活躍することが期待されているが、反面で、こうした市民をエンパワーメントし、適切なサポートやケアにつなげられる専門職の養成も急務である。

#### （福祉学科）

急速な少子高齢社会の進展と人口減少社会の到来は、あらゆる業界に、従来とは異なる価値転換を求めている。すなわち、社会の周縁に位置づけられやすい人々が、単なる保護の対象ではなく、社会に参画する主体として尊重される社会を構築することが、喫緊の課題となっている。多様な立場の人々が社会参加し、いかに包摂的な社会を創造できるのかが問われており、そのような包摂を基盤とした社会問題の解決を図る専門的な力量が、社会福祉には求められているのである。また、それらの社会問題を解決していくために、地域包括ケアシステムの構築が進められている中で、福祉・保健・医療の連携はますます重要になっている。加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行や災害の多発という時代状況のなかで、社会的リスクに対応する多層的な支援システムの創出や、人々の社会的連帯を醸成する福祉社会の構築が求められている。

このような時代状況や時代的要請に応えるべく、多様なニーズを捉え、どのように問題解決できるのか、その道筋を整える企画立案者（プランナー）や、福祉・保健・医療の連携の要となるコーディネーターやマネジメントを担える近未来のチームリーダーを輩出することは、急務であると考えられる。これは厚生労働省が福祉人材確保対策（資料1）に掲げるように、福祉人材の質的な向上に重点を置く方向性とも合致するものだと考える。本学科はこれまでも、総合大学において100人規模の実習を継続するなどきめ細かな教育を実施し、またリベラルアーツ教育の伝統の下に専門分野の枠を超えた幅広い知識と教養、総合的な判断力と優れた人間性を養い、コミュニティに対する多彩な理解を可能とする人材の養成に注力してきた。今後はこれまで以上に人材の質に着目して、教育を行っていくことが本学科の使命であると考えられる。厚生労働省が示した新しい社会福祉士養成カリキュラムでは、実習時間が60時間増加し、従来の180時間から240時間に改定された。240時間実習を通していかに効果ある教育を提供できるかが問われていることから、より質の高い人材を輩出するため、現在のコミュニティ福祉学部福祉学科の収容定員が616人であるところ、520人とする。

なお、本学科は2017年度から2021年度の入学者の受け入れにおいて、入学定員が154名のところ、

1,287名から2,542名の志願者があり**(資料2)**、このことから本学科が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

#### (コミュニティ政策学科)

グローバリゼーションと人口急減の奔流のなかで、日本社会は大きく転換をしてきている。超高齢化社会の下での介護問題、少子化問題、地域や所得における格差社会の進展、地域生活の困難、人口減少(限界集落)、貧困や社会的排除の拡大といった多くの危機、深刻な問題が数多く立ち現れ、それらは日々の生活に暗い影を落とし、個々人の暮らしを脅かしている。

こうした中、「個人化」の進んだ現代社会において、多様な主体間の協働関係を形成し、持続可能な地域社会のあり方を社会科学的に構想することは、喫緊の課題である。また、公共性の捉え方の変化に関しては、高校の学習指導要領において「現代社会」に代わり「公共」が設けられたことに端的にあらわれており、公共性はもはや政府を主たる担い手とするのではなく、地域社会において、現実の社会問題・生活問題に直面している市民を起点として形づくられていくことが求められている。市民社会を支えるシティズンシップ教育を通じて、多様なアクターが協働して民主的ガバナンスをつくり出す仕組みや条件を構想し、このために必要な政策を提案・実施できる人材の養成は急務であると考えます。

加えて、今日、人々が生活を共にする場であるコミュニティにおける生活問題への日常的な対応がますます重要になってきている。こうした状況を踏まえれば、①コミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深め、②生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析し、③今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を備える人材の養成は急務であると考えます。

こうした課題認識は、第32次地方制度調査会による「2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申」(令和2年6月26日)**(資料3)**における、「住民の多様な意見を反映しながら合意形成を行う(P4)」、「コミュニティの強化や新たな形成が課題となる。(P10)」、「多様な層の住民の参画(P22)」等の記載とも通底するものである。

なお、本学科は2017年度から2021年度の入学者の受け入れにおいて、入学定員が154名のところ、1,410名から2,326名の志願者があり**(資料2)**、本学科が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

以上を踏まえ、現在のコミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の収容定員が616人であるところ、本学科の収容定員を880人とする。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、「健康運動」と「スポーツパフォーマンス」の2つの視点から、運動とスポーツのあり方について総合的にアプローチを行い、現代人のウエルネスの向上に寄与するとともに、全ての人が心身ともに楽しく健康に生活できるウエルネス社会の構築を目指して2008年に創設された。ウエルネスとは、心身の健康だけでなく、価値観や生きがいなども含めた多面的、総合的な健康観であり、スポーツとは、日常的に楽しみとして行われるウォーキングや体操等から競技的なスポーツを含む幅広い概念である。スポーツウエルネス学は、従来のスポーツ科学とウエルネス科学とを融合した学問であり、近年、スポーツウエルネス学への期待は、以下のとおり益々高まってきている。

生物としての人間は、運動を不可避的に要請されるが、モータリゼーションの発達、人間から運動を遠ざけ、結果、運動不足を起因とする生活習慣病を蔓延させてきた。超高齢社会を迎えた日本におい



て、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウェルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題ともなっている。その中であって、心身のバランスを整え、人々のウェルネス醸成に貢献でき得るスポーツウェルネス学は、他大学でも重要かつユニークなものとして取り扱われている（資料4）。

近年、スポーツをめぐる世界的状況は、目まぐるしく変化しており、2021年に東京で開催されたオリンピック・パラリンピックをはじめとするメガ・スポーツイベントは、世界規模での経済的、社会的な影響を与え、スポーツが世界のグローバル化を牽引する状況となっている。換言すれば、スポーツは、身体的諸能力の洗練によって人間の可能性を開花させるものとして、また、人種、ジェンダー、年齢、言語、障がいの有無等、人間を区別してきた枠組みを身体的コミュニケーションと共感によってつなげる可能性を持つものとして、多様性（ダイバーシティ）に満ちた共生社会の構築とともに地域社会、ひいては国際社会における平和と友好に寄与することが益々期待されている（資料5）。

その一方で、地球規模で自然破壊が進行するなかであって、人と自然との調和に基づくウェルネス社会の実現に向けて、自然環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点からウェルネス文化の再構築が求められている（資料6）。

そのような状況の中、現在、スポーツウェルネス学科では、66科目程度の専門科目（スポーツウェルネス関係の学部共通科目を含む）を展開している。しかしながら、これはスポーツウェルネス学の進展と範囲の拡大を考えた時、十分な配置がなされている状況とは言い難い。例えば、一般的なスポーツ系学部では、130科目を超える専門科目を配置している。従って、この分野に寄せられる社会的要請に応えるべく学問体系を構築するためには、学部として十分な科目群を展開する必要がある。

2008年の創設から13年が経過し、ウェルネス社会の創造に向けてスポーツウェルネス学をさらに深化、発展させることを目的として、スポーツウェルネス学科を改組した新学部を設置する。これからのスポーツウェルネス学の進展と教育という点において、学部にすることでよりスポーツウェルネス学に関する専門科目を配置することができ、十全な研究・教育が可能になるものと期待される。さらに、スポーツ・健康に関する学部・学科は年々増加しており、学部は40程度、学科は250を超えている現状において、文部科学省が策定してきた「スポーツ立国戦略」や、文部科学省が主催する「スポーツの推進に関する特別委員会」で参考意見を求められる「全国体育系大学長・学部長会」には学科単位では参加できないなどの制限があるため、本学のプレゼンスを高めるためにも、本学部を新設する。

また、別途「学生の確保の見通し等を記載した書類」に記載したとおり、本学部を設置する埼玉県内において、学部又は学科名称に「体育」及び「スポーツ」を含む大学8校（本学、早稲田大学、大東文化大学、平成国際大学、駿河台大学、東洋大学、東京国際大学及び尚美学園大学）の入学定員の合計が1,345人となっているところ、当該学部又は学科の志願者数は10,000人を超えており、本学部が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

以上を踏まえ、本学が目指す、豊かなスポーツパーソンシップを基盤とし、全ての人のウェルネス向上とウェルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウェルネス学の知見と力能を有する人材をより多く輩出するため、現在のコミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科の収容定員が440人であるところ、本学部の収容定員を920人とする。

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### （ア）教育課程の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部

##### （福祉学科）

時代的要請を踏まえた学科専門科目の再編を行う。社会福祉士養成課程の指定科目の教育内容の充実のもとより、指定科目以外にも社会福祉をより深く学び実践力を強化できる専門科目を配置するとともに、キャリア支援教育の充実を図る。専門科目の具体例を以下に示す。

科目名	概要
社会福祉とキャリア形成	社会福祉の担い手としていかなる専門職があり、いかなる機能を発揮しているのかを学ぶことを通して、自らのキャリアを考えるとともに、自己を活用する力を醸成する。
家族をめぐる福祉問題	現代の家族変動がいかなる状況にあるのか、また、家族を基盤としていかなる福祉問題が発生しているのかを学び、ファミリー・サポートの方法論を具体的事象に即して修得する。
メンタルヘルスと福祉	メンタルヘルスに起因する精神疾患をはじめ、心の健康を保持するために必要な支援について、精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの理念や実践方法、機関連携等を学び、理解を深める。
ジェンダーとセクシュアリティ	ジェンダーおよびセクシュアリティの視点から人間存在の多様性への理解を深めると共に、ジェンダー平等に向けた取組みの実際を国際的な動向をふまえて学ぶ。
子ども理解と子育て支援論	現代社会における子どもの育ちや子育て家庭の動向を理解したうえで、子どもおよび保護者にどのような支援が求められるのか、コミュニティによるサポートを射程に入れ、修得する。

また、今後も社会福祉士の養成を行う国家資格課程への対応を行うため、厚生労働省による近年の改正方針に沿って、実習時間数の増加や演習の増設などに対応するカリキュラムとする。現場実習が 240 時間に拡大されることから、実習先の新規開拓、実習期間中の実習巡回訪問指導回数増加、実習関連の教育時間の増大が必須となるため、それらにも適切に対応していく。加えて、「ソーシャルワーク実習」、「ソーシャルワーク演習」、「ソーシャルワーク実習指導」等の科目の設置により、実習・演習にかかわる科目間の連動を図り、教育効果の向上に努める。

以上により、教育課程のさらなる充実を図る。これらにより定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

##### （コミュニティ政策学科）

前述したような時代的要請を踏まえ、新たに政策学専修とコミュニティ学専修の 2 つのコースに分け、より焦点化した教育を展開しつつ、両専修の連携も担保する教育課程とする。これは従来、「コミュニティ人間学」、「コミュニティ政策学」及び「コミュニティ形成学」として展開していた 3 領域を発展的に改組して位置づけるものである。専修とすることで、学びの方向性や課程を学生により分かりやすく明示するとともに、現在約 120 科目の専門科目の展開を 20 科目程度増加させるなど、教育課程の拡充を図る。これにより定員変更前と比較して同等以上の教育課程を展開できると考える。

政策学専修では、自立した市民の育成を通じて、開かれた社会の実現に必要な政策・仕組みを構想する。そのため、次の点を重視した教育課程を展開する。

- 1) 開かれた公共圏を支える市民として求められる政治的リテラシーや政策的思考の基本となる社会諸科学の基礎概念の習得
- 2) 社会諸問題の背景・構造を理解し、実践知と理論を結びつける社会諸科学の応用的理解と調査技法の習得
- 3) 市民社会を支える市民として実際に現場で実態を学び、そこから実効性ある政策提言を行えるようにするための正課・正課外を統合したフィールド型学習への取り組み

専門科目群に関しては、「市民社会領域」と「ガバナンス領域」で構成し、加えて社会調査法や情報リテラシー、英語など、専門学修に必要なスタディ・スキル、リサーチ・スキルの習得を中心とする「学科共通科目群」を加えた3つにより構成する。また、学科共通科目と同様、両専修で共に学ぶことができるよう設計する。

さらに、地域の諸アクターと協働して問題解決にあたるために必要な知識や現場体験を習得する。

コミュニティ学専修では、グローバルな視野に立った共生社会を創造する内発的なコミュニティの形成を構想する。そのため、次の点を重視して教育課程を展開する。

- 1) コミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深める。
- 2) 生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析する。
- 3) 今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を、演習等を通して養成する。

専門科目群に関しては、「コミュニティ基盤領域」と「コミュニティ実践領域」及び政策学専修と共通に設置される「学科共通科目群」の3つより構成する。また、学科共通科目と同様、各専修の専門科目についても専修の垣根を越えて学ぶことができるよう設計する。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、「健康運動」と「スポーツパフォーマンス」の2つの分野からしょうがいの有無にかかわらず、全ての人に個人の身体的可能性を探る理論と方法論を学ぶカリキュラム体系としていた。一方で、新設する本学部では「スポーツウエルネス学」を教育研究の中心に位置付ける。「スポーツウエルネス学」は、すべての人間の適応可能性を広げ、スポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に寄与するための理論と方法論の構築をめざすスポーツ科学と身体的、精神的障害を予防しながら、幸福で充実した人生を送るために、より創造的に心身の健康を探求し、維持・発展させる理論と方法論の構築をめざすウエルネス科学とを融合させた学問体系であり、スポーツ並びにウエルネスに関わる様々な課題を対象として総合的に研究し、スポーツ推進とウエルネスの向上に寄与することを目的としている。

これらを踏まえ、本学部では、主にスポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に関する教育研究を行うスポーツ分野と主に心身の健康を探求し、維持・発展に関する教育研究を行うウエルネス分野に教育研究分野を区分し、卒業後の進路に関連する、アスリートパフォーマンス、ウエルネススポーツ及び環境・スポーツ教育の3つ人材養成像を掲げる。

以下の3つの人材養成を目的としたカリキュラム体系とし、それらに応じた科目を配置する。

#### <アスリートパフォーマンス>

全ての人間の適応可能性を広げ、アスリートのパフォーマンス向上に寄与するための理論と方法論を構築する。アスレティックトレーニング、スポーツコーチング、パフォーマンス分析のそれぞれの分野

から科目を履修する。

競技スポーツは人間の身体的・精神的な限界に挑戦する営みでもあり、その過程で高いレベルのパフォーマンスが追求されている。パフォーマンスの向上のためには、スポーツ科学の知見が不可欠であることから、スポーツ科学の知見と能力を有し、科学的なサポートを実践できる人材が求められている。そのため、コーチング、パフォーマンス分析、トレーニング論、栄養学、心理学、傷害予防、コンディショニングなどのスポーツ科学的知見を総合的に理解し、アスリートのハイパフォーマンスに貢献できる人材を養成する。

#### <ウエルネススポーツ>

運動・スポーツを通して全ての人のウエルネスを向上するための理論と方法論を構築する。健康づくり運動・スポーツに関する身体科学、運動科学、社会科学を基礎として、健康運動支援、スポーツを通じたコミュニティ形成等のそれぞれの分野から科目を履修する。

少子高齢化社会を乗り越えるためには、高齢者の基礎的な体力向上と生活習慣病の予防、治療に関する運動療法等が不可欠であり、子どもの基礎的な体力低下に歯止めをかけ、運動習慣を身につけさせることが重要である。また、青年期のうつ病者の増大や自殺者数の高止まり等にみられるように、高ストレス社会である現代においていかに心身のバランスを維持し、高度なウエルネスを達成できるかが重要な社会課題となっている。そのため、心身ウエルネスに関する知見を有し、スポーツを通して総合的なQOLの向上とウエルネスの向上に貢献できる人材を養成する。

#### <環境・スポーツ教育>

地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、自然環境や生活環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点を身につけるための理論と方法論の獲得を目指す。また、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を身につけるための理論と方法論を構築する。環境・サステイナブル、スポーツ教育、フィールドのそれぞれの分野から科目を履修する。

自然環境と生活環境が調和したウエルネス社会の実現を目指して、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する知見と能力を有する人材が不可欠である。そのため、環境問題やサステイナビリティ社会に関する知見を有し、スポーツの教育的価値を高め、子どもや運動・スポーツ実施者ファーストの立場から、実施者の主体的な学びに寄与し、スポーツを通じた人間教育に貢献できる人材を養成する。

#### ○全学共通科目

本申請における収容定員の増減は、コミュニティ福祉学部福祉学科(△96)、同コミュニティ政策学科(264)、同スポーツウエルネス学科(△440)及びスポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科(920)であり、合計で収容定員が648人増加することになる。

本学では、全ての学部学生が履修することができる全学共通科目を開講し、全ての学部学生に28単位の修得を卒業要件として求めている。全学共通科目は、各学部ではなく全学共通カリキュラム運営センターが運営しているため、収容定員の増減及び新学部設置による教育課程の変更はない。また、全学共通科目は、言語系(外国語のコミュニケーション能力と異文化対応能力を培うための科目群)と総合系(広い視野と総合的な判断力をベースに、現代に対応した総合的な知性と感性を養うための科目群)に大別されるが、前者のうち英語関連科目のみで1,000以上、後者で700以上(ともにシラバス検索結果/同一科目名称で複数開講している科目を含む。)の多種多様な科目を開講している。本申請により、開講科目の種類を増加させることはないが、少人数で開講している英語必修科目やスポーツ実習科目に

については、開講コマ数を増加する。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

##### ○コミュニティ福祉学部

###### (福祉学科)

専門教育科目は従来、専門必修科目、学部共通科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門自由科目から構成されているところ、専門必修科目、専門基礎科目、専門応用科目、専門自由科目に再編を行う。これにより科目の位置づけを整理・明確化する。

また、従来同様に履修登録上限単位数を設定し、十分な学修時間の確保と計画的な履修につなげるとともに、アカデミックアドバイザー制度及びオフィスアワー制度によって、学生個々の状況に応じた丁寧な相談や助言を行う。さらに定員を減ずることにより、従来以上にきめ細やかな教育・学生サポートが可能となる。

以上により定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

###### (コミュニティ政策学科)

専門教育科目は従来、専門必修科目、学部共通科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門自由科目から構成されているところ、専門必修科目、専門基礎科目、専門応用科目、専門自由科目に再編を行う。これにより科目の位置づけを整理・明確化する。

政策学専修の専門科目群は、それぞれ次のような内容である。知識・スキル・現場体験をそれぞれ習得できるように構成しており、本学サービスラーニング系科目の連携・支援拠点や全国の地域・団体との交流連携拠点を活用し実践力を身に付ける教育方法を取り入れる。

###### 1) 市民社会領域科目群

市民社会領域科目群では、民主主義社会の構成員として自立した判断を行い、政治や社会の公的な意思決定に能動的に参加することのできる人材を育成するために、シティズンシップ教育に関する科目、市民社会の担い手となる市民に必要な知識・スキルに関する科目等を配置する。

###### 2) ガバナンス領域科目群

ガバナンス領域科目群では、単一のアクターによる対応の限界を乗り越え、多様な地域アクターが連携して社会問題の解決に結びつけられるようなローカル・ガバナンスの理論的文脈、制度・政策的条件及び具体的なアクションに必要なアプローチを学ぶ。あわせて、地域の諸アクターと協働して問題解決にあたるために必要な知識や現場体験による技術や技法を習得する。

コミュニティ学専修の専門科目群は、それぞれ次のような内容である。コミュニティに関する知識やコミュニティ実践に関わるスキルを、講義や現場体験を通じてそれぞれ習得できるように構成しており、またすでに連携を行っている東京都豊島区や埼玉県小川町等といったフィールドにおける学びを展開するなど、実践力を身に付ける教育方法を取り入れる。

###### 1) コミュニティ基盤領域科目群

コミュニティ基盤領域科目群では、コミュニティについての諸理論や思想・歴史を習得したうえで、個々のコミュニティにおける生活問題の構造的な背景や実態を分析し、理解することができる科目を配置する。具体的には、現代コミュニティ論、コミュニティ福祉とキリスト教、公共哲学、少子高齢社会論、貧困と格差、いのちの倫理学、福祉社会論などの科目を配置する。

###### 2) コミュニティ実践領域科目群

コミュニティ実践領域科目群では、グローバル化や共生や連帯の取り組みや活動を習得したうえで、個々のコミュニティにおいて多様性を尊重した共生を構想し、実践することを目指した科目

を配置する。国際福祉論、社会開発論、まちづくり論、持続可能な福祉コミュニティ、コミュニティ・ビジネス、シェアライフ論、地元学、生活困窮者支援などの科目を配置する。

また、従来同様に履修登録上限単位数を設定し、十分な学修時間の確保と計画的な履修につなげるとともに、アカデミックアドバイザー制度及びオフィスアワー制度によって、学生個々の状況に応じた丁寧な相談や助言を行う。

以上により定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

## ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

### (コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科との比較)

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科では、全学共通科目及び専門科目に授業科目を大別している。全学共通科目では、言語系科目と総合系科目においては幅広い教養教育を、専門科目においては専門教育を提供する。専門科目は、学年の進行に従って配置し、学習の基盤、学習の核そして問題意識の拡大のため、必修科目（専門必修科目及び卒業研究科目）及び選択科目（専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目及び自由科目）に区分している。

一方、新学部では、全学共通科目及び専門科目の区分、必修科目及び選択科目の別は同様とするが、専門科目の開講数を現在の 66 科目程度から 130 科目程度に倍増させるとともに、専門科目の区分に、「専門英語科目」を新設する。

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科		スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科
全学共通科目（言語系科目及び総合系科目）		全学共通科目（言語系科目及び総合系科目）
専門科目（66 科目程度）		専門科目（130 科目程度）
（必修科目）		（必修科目）
専門必修科目及び卒業研究科目		専門必修科目及び卒業研究科目
（選択科目）	→	（選択科目）
専門基礎科目		専門基礎科目
専門基幹科目		専門基幹科目
専門展開科目		専門展開科目
		専門英語科目
自由科目		自由科目

### (新学部の専門科目の教育方法及び履修指導方法)

#### <専門必修科目>

スポーツウエルネス学分野の基礎理論に関する科目及びスポーツ指導者に求められるコミュニケーション能力及び対人スキルを身につけるために必要な科目を必修科目として配置する。講義科目である「スポーツウエルネス学入門」、「スポーツマンシップ論」及び「スポーツリーダーシップ論」（いずれも 1 年次必修）において、豊かな人間性を基盤とし、全ての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウエルネス学の知見を学ぶ。演習科目である「基礎演習」及び「スポーツウエルネスワークショップ A」（いずれも 1 年次）並びに「スポーツウエルネスワークショップ B」及び「スポーツウエルネスワークショップ C」（いずれも 2 年次）に加え、後述する専門展開科目である「専門演習 1」及び「専門演習 2」並びに後述する卒業研究科目である「卒業研究指導演習（ベシクコース）」又は「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」において、全ての学生が入学から卒業までの 4 年間に亘り、担当教員によるきめ細かい指導のもと、主体的に思考する姿勢や学問研究の方法を身につける体制を整える。

## ＜卒業研究科目＞

本学部を卒業するには、4年次（在学学期7学期以降）において、「卒業研究指導演習（ベーシックコース）」（4単位）又は「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」（10単位）のどちらかを選択し、単位を修得しなければならない。

「卒業研究指導演習（ベーシックコース）」は、自分の問題関心に即して自分の問題意識を掘り下げ、スポーツ分野とウエルネス分野からそれぞれ1つの課題を選出し、論文を作成することを目指す教育プログラムである。

これに対し、「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」は、3年次の「専門演習1」及び「専門演習2」と「卒業研究指導演習」を履修することによって、自分の専門を定めて自分の問題意識を掘り下げ、深く研究を進めて論文を作成することを目標としており、本学部では「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」の履修を推奨する。

## ＜専門基礎科目＞

1年次は、専門必修科目の1年次配当科目に加え、学部での学修の基盤となる「専門基礎科目」を学ぶことになるが、現代社会におけるスポーツの概念や背景を概観した後、健康とスポーツに関わる理論と実践、競技力向上や健康増進に貢献するスポーツ科学の理論と実践等を学ぶ、「スポーツ科学総論」及び「ウエルネス科学総論」が代表的な科目と言える。また、専門基礎科目全体では現在の15科目から38科目に増加する。その中でも、「運動方法学演習」が既存の9科目から16科目に増設され、様々な運動種目の特性やその指導法について学ぶことが出来るようになる。

## ＜専門基幹科目＞※1年次履修不可

2年次以降は、学部での学修の核となる「専門基幹科目」を学ぶことになり、各領域に特徴的な科目を配置する。人材養成像に対応する代表的な科目は、アスリートパフォーマンスの「スポーツコーチ学」及び「コーチングスキル」（スポーツ指導者に必要な基本的知識やコミュニケーション能力を学ぶ。）、ウエルネススポーツの「スポーツウエルネス心理学（基礎）」及び「メンタルマネジメント」（的確な意思伝達と傾聴に基づいたコミュニケーション能力を、心理学の理論とロールプレイング等を通して実践的に学ぶ。）並びに環境・スポーツ教育の「発育・発達・加齢論」（発育・発達に関する基礎知識を獲得することにより、スポーツ指導の現場で体づくりを実践するための基礎的な知識を身につける。）である。

また、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養成するべく、理論と実践の相互関係を意識した授業科目を配置する。1年次の「スポーツ科学総論」、「ウエルネス科学総論」、「運動方法学」等で学んだスポーツ・健康に関する基礎的な理論をもとに、選択必修科目である「インターンシップ」、「インターンシップ実習1・2」及び「アスレティックリハビリテーション実習1」による就業体験を通して、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養っていく。また、トレーニング指導に関しては、「ストレングス・コンディショニング論（基礎）」及び「コンディショニング概論」で理論を、「コンディショニングの方法」及び「コンディショニングの実際」で理論と実践を交互に学ぶことで実践力・対応力を高めていく。同様に、コーチングに関しても、「スポーツコーチ学」で理論を、「コーチングスキル」で理論と実践を交互に学ぶことで実践力・対応力を高めていく。

なお、専門基幹科目全体では現在の17科目から30科目に増加する。

## ＜専門展開科目＞※1年次及び2年次履修不可

3年次以降は、これまで学んできた問題意義を拡大するための「専門展開科目」を各領域に配置する。人材養成像に対応する代表的な科目は、アスリートパフォーマンスでは「バイオメカニクス」において、生体力学、運動制御学等の基礎、及び運動の動力源である力の発現とその制御様式を習得するとともに、

「アスレティックリハビリテーション実習2～4」による就業体験を通して、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養っていく。また、ウエルネススポーツでは、スポーツを通して地域社会に貢献する姿勢を身につけるために有用である、「コミュニティスポーツ論」を配置し、社会学的又はコミュニティ論的なアプローチにより、社会とスポーツの関係性とそのあり方について学び、今日の社会や地域社会が抱える課題への関心を深める。また、環境・スポーツ教育では、「障害者スポーツ論」、「障害者スポーツ実践論」及び「ユニバーサルスポーツ援助技術演習」を通じて、共生社会・サステナブル社会の構築とスポーツとの関係について理解を深める。さらに、「スポーツ行政学」及び「組織マネジメントサービス」では、スポーツ推進にかかわる行政・組織のあり方とその方法論について学ぶことができる。

加えて、スポーツに関わる法的素養を涵養するための授業科目も配置する。「スポーツと法」では、スポーツに関連する契約法及びスポーツ事故に対処するための不法行為法やスポーツに関する紛争の法的解決手続きを中心に学ぶことにより、スポーツ指導者に求められる法律知識を身につけることができる。「学校運動部指導論」においては、教員の安全配慮義務や教育個人情報取り扱いなど、学校現場で求められる法律知識を学ぶ。また、全学共通科目の「日本国憲法」や「民法入門」の履修を通じて、より一般的な法的素養を習得することができる。

なお、専門展開科目全体では現在の23科目から45科目に増加する。

#### <専門英語科目>

専門英語科目では、スポーツに関わる文化、異文化理解、多元的な視点を学ぶため12科目を新規開講する。さらにその中から4科目を選択必修で課すこととする。少人数クラスでの「聞く・話す・読む・書く・知る」の基本的技能の訓練を通じて、当該言語による専門的または日常的なコミュニケーションを可能にし、異文化対応能力を育成する。英語を通して得た国際的な知見によって、多様な文化を理解し、対応できる。また、自分の専門領域の内容を英語で学ぶ基礎が身につく。

#### ○全学共通科目

全学共通科目は、各学部ではなく全学共通カリキュラム運営センターが運営しているため、収容定員の増減及び新学部設置による教育方法及び履修指導方法の変更はない。

##### (ウ) 教員組織の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部

##### (福祉学科)

現行は大学設置基準の必要専任教員数11人に対して15人の専任教員(教授7人、准教授4人、助教4人)を配置しているところ、定員変更後は必要専任教員数10人に対して15人の専任教員(教授9人、准教授1人、助教5人)を配置する予定であり、よりきめ細やかな教育体制を構築する。これにより定員変更前と比較して、同等以上の教員組織が担保されると考える。

##### (コミュニティ政策学科)

現行は大学設置基準の必要専任教員数11人に対して14人の専任教員(教授6人、准教授5人、助教3人)を配置しているところ、定員変更後は必要専任教員数12人に対して17人の専任教員(教授7人、准教授7人、助教3人)を配置する予定であり、教員組織の拡充を図る。これにより定員変更前と比較して、同等以上の教員組織が担保されると考える。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

##### (現在のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の教員組織)

教授8名(博士6名、修士2名)、准教授4名(博士3名、修士1名)の計12名である。各教員の専門分野は、健康心理学(教授)、スポーツ栄養学(教授)、スポーツ社会学(教授)、コーチング学(教授)、



スポーツ医学（教授）、運動生理学（教授）、ウエルネスジェンダー学（教授）、環境生理学（教授）、グローバルスポーツマネジメント（准教授）、スポーツ工学（准教授）、環境教育学（准教授）、トレーナー科学（准教授）である。教員一人あたりの学生数（S/T比）は36.66人となる。

#### （新学部の教員組織）

教授10名（博士8名、修士2名）、准教授6名（博士4名、修士1名、学士1名）の計16名である。また、さらなる教育研究の充実を図るため、教授3名（博士2名、修士1名）の採用を予定している。採用を予定している教授3名分を含めると、各教員の専門分野は、健康心理学（教授）、スポーツ栄養学（教授）、スポーツ社会学（教授）、コーチング学（教授）、スポーツ医学（教授）、運動生理学（教授）、ウエルネスジェンダー学（教授）、環境生理学（教授）、細胞生物学（教授）、スポーツ心理学（教授）、ウエルネス医学（教授（予定））、体育科教育学（教授（予定））、トレーニング科学（教授（予定））グローバルスポーツマネジメント（准教授）、スポーツ工学（准教授）、環境教育学（准教授）、トレーナー科学（准教授）、スポーツビジネス（准教授）、スポーツ統計学（准教授）、ウエルネス医学（教授）、体育科教育学（教授）、トレーニング科学（教授）である。その他に、助教7名の採用を予定している。専任、特任、助教を含めた教員一人あたりの学生数（S/T比）は35.38人となる。定員の増加に伴い教員数を増加することで、現在（36.66人）と同程度のS/T比になるため、定員変更前と比較して同等以上の教員組織となる。

#### ○全学共通科目

全学共通科目の担当教員は、予め定められた基準に基づいて各学部から選出される専任教員と兼任教員とで構成している。従って、新設するスポーツウエルネス学部が選出の対象となる以外に、本申請による変更はない。

#### （エ）施設・設備の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

新座キャンパスは校地面積101,271㎡、校舎面積55,879㎡を擁している。新学部の完成年度には、観光学部（収容定員1,480人）、コミュニティ福祉学部（同1,400人）、現代心理学部（同1,276人）、及びスポーツウエルネス学部（同920人）の4学部計5,076人が学ぶことになるが、大学設置基準で求められる校地面積及び校舎面積に照らしても十分な面積である（資料7）。

また、新座キャンパスの図書館には234,547冊（2020年度）、池袋キャンパスの図書館には1,245,560冊（2020年度）を所蔵している。このほか、保存書庫に497,581冊（2020年度）の所蔵がある（資料8）。多くの図書を所蔵していることに加え、所蔵図書は両キャンパス間で貸し出しが可能である。また、特に新座キャンパスの図書館は、閲覧席約470席を有し、1階フロアに閲覧席、PC利用席、キャレル席、書架といった基本機能を集め、2階フロアにはグループ学習室、多目的スタジオ、ラーニング・コモンズ機能を有した学習エリアを設けている。来館型の利用サービスとして1階と2階の機能を明確に区分することで、利用者の多様なニーズにも柔軟に対応し、学習・教育・研究を支えている。夏季休業期間や大学試験実施期間等を除いて、授業が展開される期間は平日最大で8時30分から21時00分まで開館しているほか、日曜日も開館することで利便性にも対応している。また、学内ネットワーク環境を通して、契約データベースなどのオンライン情報資源へのアクセスや、学生向けのオンライン・レポート作成支援など、図書館に出向かなくても利用できる非来館型の利用サービスを整備している。これらのことから、定員の増加後においても、十分な閲覧席、冊数等が担保できるとともに、教育研究活動に支障が生じることはない。

## ○コミュニティ福祉学部

### (福祉学科及びコミュニティ政策学科)

今般の定員変更に関しては、コミュニティ政策学科及び福祉学科の定員変更に加え、従来のスポーツウエルネス学科が新たな学部へと改組し、コミュニティ福祉学部が2学科へと再編されるものであり、結果として学部全体の収容定員は従来よりも減少する。よって、教室等の施設について、定員変更後も不足は生じない。また、設備についても、定員変更後に支障が生じない。以上より、定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

## ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

### (現在のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の施設・設備の利用状況)

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科を設置している新座キャンパスは、校地（教育研究ゾーン）と運動場ゾーンが区分されている。教育研究ゾーンには、研究棟、講義棟、図書館、学生ホール、食堂の各施設がオープンな雰囲気配置されているほか、駐車場・駐輪場、緑地園地、憩いの広場等が整備されている。学生の休息、その他の利用のための適当な空地は、中央広場、憩いの広場等において、十分に確保されている。運動場用地には全天候型の本格的な陸上競技場（セントポールズ・フィールド）や50m×10コースを備えた、日本水泳連盟公認の室内温水プール（セントポールズ・アクアティックセンター）、室内競技用のアリーナ5面を擁する巨大な体育館、人工芝の多目的運動場（サッカー場）、野球場、テニスコートなどが整備されており、セントポールズ・フィールド、セントポールズ・アクアティックセンター、体育館、テニスコート、サッカー場は、「スポーツ実習」の授業に利用される他、運動部の練習場等としても利用している。

また、コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科が実験及び実習で使用している施設・設備は以下のとおりである。

施設名	利用内容
(1) 運動生理学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	ヒトの生理機能を様々な指標（体温調節、呼吸循環機能、唾液摂取など）から計測する。また、実験室内には様々な温度環境を設定できる人工気候室があり、環境温度負荷が身体に与える影響や、暑熱馴化トレーニングを行うことが可能である。
(2) バイオメカニクス実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、ヒトの身体動作を3次元計測する。野球の投球動作やサッカーのキック動作などのスポーツ動作から、歩行動作や食事動作などの日常生活動作が測定対象となる。その測定には、複数の CCD カメラからなるモーションキャプチャシステムと床反力計を用い、筋電計や加速度計を併用することで、より詳細な評価が可能となる。これらの測定データから関節角度や関節モーメントなどを推定することにより、ヒトの身体動作における骨格筋の活動や、関節に加わる力学的な負荷を評価できる。
(3) スポーツ・健康心理学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	ストレスやライフスタイル、様々な生活習慣と精神的疾患、生活習慣病や心と身体のバランスを含めた幅の広い健康とそれを取り巻く諸問題に対して、心理学的な観点からアプローチする。
(4) 運動生化学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）を用いた脳内神経伝達物質やメラトニンなどの試料の同定や ELISA を用いた唾液中ストレス物質の測定を行うことが可能である。
(5) 測定評価実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、ヒトの筋パワーや持久力の測定評価ができる「パフォーマンス測定システム」や、人工的に筋肉痛を誘発できる「エキセントリックトレーニングシ

	テム」など、多様な機器を設置している。また、12 誘導心電図や血圧測定はもとより、医学的診療機器を用いて身体の形態や機能を評価が可能。AED を用いた心肺蘇生処置やテーピングのトレーニングも実施している。
(6) スポーツデータ解析室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	この解析室では、スポーツを社会現象と捉えて、スポーツ社会学、スポーツ経営学等の研究視座から、トップスポーツと大衆スポーツ、競技者と観客やメディア、年代別の行動特性など様々な観点からスポーツデータの解析を行う。
(7) 動物実験室・飼育室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	この実験室では、実験動物の手術や処置と実験動物の飼育を行なっている。リアルタイムでの脳内神経伝達物質や生理指標（体温・心拍数・活動量）、情動行動の計測が可能である。
(8) 全天候型走路 (40 m)	体育館裏のテニスコート脇に 1 レーン設置されている。屋外に設置されていることから、走動作や車椅子運動時の動作解析や自然環境の影響の調査に使用している。

#### (新学部の施設・設備の利用予定)

新学部では上記で述べた既存の施設・設備を継続して利用するが、いずれも大規模な教育研究施設・設備であるため、定員が増加しても現在と同等以上の教育研究内容を担保することができる。さらに、2025 年 4 月には、新たな実験施設 360 m<sup>2</sup>を含む新棟が新座キャンパスに完成する予定である。新棟は、スポーツ生理学、バイオメカニクス、スポーツ栄養学、スポーツ心理学等の研究者がチームで参加し、それぞれの機器や手法を用いて、一つの場所で集中的に対象者のパフォーマンス、体力レベル等の測定分析が可能となる予定である。実験施設を一か所に集中して設置する集約型施設にすることで、学年進行によって在籍学生数が増加した場合でも、本学部が目指す教育研究をより効率的に行うことができるようになる。

## 学則変更の趣旨等を記載した書類（資料目次）

資料1	福祉人材確保対策（厚生労働省）	… 2
資料2	コミュニティ福祉学部の学生受入れ状況	… 3
資料3	2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）（抜粋）	… 4
資料4	他大学におけるスポーツウエルネス学等	… 5
資料5	第3期スポーツ基本計画（第2章）	… 6
資料6	スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）	… 7
資料7	大学設置基準における校地面積及び校舎面積	… 8
資料8	2020年度 立教大学図書館 統計・データ集	… 9
<u>別添資料（教育課程等の概要）</u>		
	コミュニティ福祉学部福祉学科	…15
	コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	…30
	スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	…48

○資料 1 福祉人材確保対策（厚生労働省）

1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料 1

2 出典

厚生労働省ウェブサイト

3 引用範囲

福祉人材確保対策

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzhai/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzhai/index.html)

4 その他の説明

福祉人材の質的な向上が社会から求められている例として、上記資料を引用した。

## 学生の受け入れ

(表3) 学部・学科、研究科における志願者・合格者・入学者数の推移

学部	学科	入試の種類	2017年度					2018年度					2019年度					2020年度					2021年度					2021年度入学者の学科計に対する割合(%)	2021年度入学者の学部計に対する割合(%)
			志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B		
コミュニケーション 福祉学部	福祉学科	一般入試	1655	304	100	106	0.94	2026	286	95	106	0.90	2455	330	87	106	0.82	1148	276	85	106	0.80	1478	432	92	106	0.87	60.13	22.60
		関係校推薦	2	2	2	10	0.20	0	0	0	10	0.00	2	2	2	10	0.20	3	3	3	10	0.30	1	1	1	10	0.10	0.65	0.25
		指定校推薦	33	33	33	15	2.20	40	40	40	15	2.67	48	48	48	15	3.20	54	54	54	15	3.60	45	45	45	15	3.00	29.41	11.06
		社会人入試	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—						0.00	0.00
		外国人留学生入試	21	2	1	[8]	—	23	7	5	[8]	—	10	5	1	[8]	—	14	7	3	[8]	—	6	2	1	[8]	—	0.65	0.25
		帰国生入試																											
		自由選抜入試	27	13	11	15	0.73	34	13	9	15	0.60	22	13	11	15	0.73	64	10	7	15	0.47	32	17	11	15	0.73	7.19	2.70
		国際コース選抜入試																											
		アスリート選抜入試	4	4	4	0	—	7	3	3	0	—	5	3	3	0	—	4	2	2	0	—	5	3	3	0	—	1.96	0.74
		秋学期入試																											
	学科合計		1742	358	151	154	0.98	2130	349	152	154	0.99	2542	401	152	154	0.99	1287	352	154	154	1.00	1567	500	153	154	0.99	100.00	
	コミュニティ 政策学科	一般入試	1723	296	94	111	0.85	2188	261	78	111	0.70	1870	278	87	111	0.78	1268	305	86	111	0.77	2159	401	87	111	0.78	59.59	21.38
		関係校推薦	3	3	3	10	0.30	0	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	1	1	1	10	0.10	2	2	2	10	0.20	1.37	0.49
		指定校推薦	39	39	39	10	3.90	51	51	51	10	5.10	55	55	55	10	5.50	49	49	49	10	4.90	44	44	44	10	4.40	30.14	10.81
		社会人入試	0	0	0	0	—	1	1	1	0	—	1	1	1	0	—	0	0	0	0	—						0.00	0.00
		外国人留学生入試	19	4	3	[8]	—	5	2	2	[8]	—	6	4	3	[8]	—	9	5	1	[8]	—	11	7	3	[8]	—	2.05	0.74
		帰国生入試																											
		自由選抜入試	42	15	13	15	0.87	73	15	12	15	0.80	57	10	6	15	0.40	71	12	7	15	0.47	83	11	6	15	0.40	4.11	1.47
		国際コース選抜入試																											
		アスリート選抜入試	6	3	2	0	—	8	4	4	0	—	7	3	3	0	—	12	4	4	0	—	14	4	4	0	—	2.74	0.98
		秋学期入試																											
	学科合計		1832	360	154	154	1.00	2326	334	148	154	0.96	1996	351	155	154	1.01	1410	376	148	154	0.96	2313	469	146	154	0.95	100.00	
	スポーツ ウエル ネス学科	一般入試	1449	167	57	64	0.89	1598	169	55	64	0.86	1725	180	62	64	0.97	1159	162	53	64	0.83	1104	261	54	64	0.84	50.00	13.27
		関係校推薦	11	11	11	10	1.10	12	12	12	10	1.20	6	6	6	10	0.60	8	8	8	10	0.80	7	7	7	10	0.70	6.48	1.72
指定校推薦		22	22	22	15	1.47	22	22	22	15	1.47	24	24	24	15	1.60	25	25	25	15	1.67	24	24	24	15	1.60	22.22	5.90	
社会人入試		1	1	1	0	—	0	0	0	0	—	1	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0.00	0.00	
外国人留学生入試		5	2	0	[8]	—	14	2	2	[8]	—	7	1	1	[8]	—	6	4	2	[8]	—	5	4	1	[8]	—	0.93	0.25	
帰国生入試																													
自由選抜入試		93	17	16	15	1.07	74	12	11	15	0.73	89	15	13	15	0.87	87	10	8	15	0.53	107	14	12	15	0.80	11.11	2.95	
国際コース選抜入試																													
アスリート選抜入試	23	6	6	0	—	33	5	5	0	—	36	5	5	0	—	39	11	10	0	—	21	11	10	0	—	9.26	2.46		
秋学期入試																													
学科合計		1604	226	113	110	1.03	1753	222	107	110	0.97	1888	231	111	110	1.01	1324	220	106	110	0.96	1268	321	108	110	0.98	100.00		
学部合計			5178	944	418	418	1.00	6209	905	407	418	0.97	6426	983	418	418	1.00	4021	948	408	418	0.98	5148	1290	407	418	0.97		100.00

○資料3 2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）（抜粋）

1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料3

2 出典

総務省ウェブサイト

3 引用範囲

2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）鑑文、表紙、目次、P4, 10, 22

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000693733.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000693733.pdf)

4 その他の説明

福祉学科で養成する人材が社会から求められているものであることを示すため、上記資料を引用した。

## ○資料4 他大学におけるスポーツウエルネス学等

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料4

### 2 出典

筑波大学ウェブサイト

### 3 引用範囲

筑波大学ー日本スポーツ振興センター(JSC)連携大学院協定 筑波大学スマートウエルネスシティ(SWC)政策開発研究センター発足記念シンポジウム 資料

<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/05/764cdf7ea48c40d1b26e2f9527d28f90.pdf>

### 4 その他の説明

他大学でも「スポーツウエルネス学」が学問領域として取り扱われている例として、上記資料を引用した。



## ○資料5 第3期スポーツ基本計画（第2章）

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料5

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

第3期スポーツ基本計画（第2章）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料6 スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料6

### 2 出典

国連広報センターウェブサイト

### 3 引用範囲

スポーツと持続可能な開発（SDGs）

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/18389/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389/)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## 大学設置基準における校地面積及び校舎面積

※通常であれば池袋キャンパスと新座キャンパスの合算で算出するが、新座キャンパスに十分な校地面積及び校舎面積を有していることを示すため、新座キャンパス4学部のみを大学と仮定し、設置基準上の校地面積及び校舎面積と比較した

(1) 校地面積 (新座キャンパスの校地面積 ⇒ 101,271)

○設置基準上の校地面積 ⇒ 収容定員合計 (5,076) × 10 = 50,760 (<101,271)

(2) 校舎面積 (新座キャンパスの校舎面積 ⇒ 55,879)

○設置基準上の基準校舎面積

学部名	収容定員数	学部の種類	算定式	基準校舎面積
観光学部	1,480	社会学・社会福祉学関係	$(1,480-800) \times 1,322/400 + 4,958$	7,205.4
コミュニティ福祉学部	1,400	社会学・社会福祉学関係	$(1,400-800) \times 1,322/400 + 4,958$	6,941
現代心理学部	1,276	文学関係	$(1,276-800) \times 1,322/400 + 4,958$	6,531.18
スポーツウエルネス学部	920	体育関係	$(920-800) \times 1,983/400 + 6,280$	(基準校舎面積) 7414.9

○設置基準上の加算校舎面積

学部名	収容定員数	学部の種類	算定式	加算校舎面積
観光学部	1,480	社会学・社会福祉学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	6,446
コミュニティ福祉学部	1,400	社会学・社会福祉学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	5,785
現代心理学部	1,276	文学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	5,785

○設置基準上の校舎面積合計 ⇒ 7414.9 + 6,446 + 5,785 + 5,785 = 25,430.9 (<55,879)

## 2020年度 立教大学図書館 統計・データ集

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、立教大学図書館では2020年3月初旬より開館時間短縮やグループ学習スペース利用中止などの対応を開始した。4月、5月はキャンパス入構禁止措置が取られ、一部限定的な開館措置が取られた日を除き終日閉館となった。オンライン授業開始に伴い、6月3日から本学学生、教職員を対象とした予約制の限定開館が再開された。一方で卒業生を含め、学外者の利用は2021年6月現在も制限されている。

上記の事情から、2020年度図書館統計は例年と違った数値、傾向となっていることをご承知おきいただきたい。

### <利用者サービス統計>

#### ■ 開館日数

(日)

	2020年度
池袋図書館	248
新座図書館	247

注：2020年4月、5月の限定的開館日を含む

#### ■ 入館者数

(人)

	2020年度		
	入館者数	1日平均	学外者
池袋図書館	52,812	213	52
新座図書館	11,599	47	8
計	64,411	—	60

#### ■ 館外貸出冊数

(冊)

	2020年度			
	総冊数	貸出冊数		1日平均
		うち自動貸出装置	うちMyLibraryによる延長	
池袋図書館	74,348	36,241	14,053	300
新座図書館	13,862	4,218	2,237	56
新座保存書庫	127	1	58	—
計	88,337	40,460	16,348	—

注1. 所蔵館に基づいて集計

注2. 視聴覚資料含む

#### ■ 学内他館取寄せ件数

(件)

	2020年度	
	新座図書館・新座保存書庫	池袋図書館・新座保存書庫
池袋図書館	8,285	-
新座図書館	-	2,582
計	8,285	2,582

#### ■ グループ学習室利用件数

(件)

	2020年度
池袋図書館	-
新座図書館	-
計	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、利用を制限した。

■ 複写枚数

(枚)

	2020年度
池袋図書館	175,888
新座図書館	10,743
計	186,631

注：マイクロ資料からの複写含む

■ 校友利用証の発行

(件)

	2020年度
池袋図書館	12
新座図書館	2
計	14

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の入構・利用制限前(4月)の申請のみ

■ 学外相互協力

(1) 学外相互協力

(件)

		2020年度		
		文献複写*	資料貸借*	紹介状
池袋図書館	依頼	419	238	2
	受理	1,051	472	1
新座図書館	依頼	104	11	0
	受理	198	45	0

注1.\*は「謝絶・キャンセル」を除外

注2.2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のために紹介状の発行受付は原則中止とした。

発行、受理ともに、4月からの入構・利用制限前、またはイレギュラー対応のみ。

(2) 山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム利用者

(人)

	2020年度	
	立教大学から	立教大学へ
青山学院大学	-	-
学習院大学	-	-
國學院大學	-	-
東洋大学	-	-
法政大学	-	-
明治大学	-	-
明治学院大学	-	-
計	-	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施せず。

<リテラシー教育>

■ 図書館ガイダンス

2020年度	
春学期(4月)	新任教員ガイダンス(池袋・新座)(資料を人事課に提供)
	春学期特別外国人学生ガイダンス(パワーポイント資料を国際センターに提供)
秋学期(9月)	秋学期特別外国人学生ガイダンス (Blackboard公開のパワーポイント資料、動画等を国際センターに提供)
	経営学研究科/異文化コミュニケーション研究科新入生ガイダンス (Blackboard公開のパワーポイント資料、動画等を国際センターに提供)

■ 図書館活用講座

開催回数 0回、参加者数 0名

	2020年度						
	池袋				新座		
レベル	1	2	3	計	オーダーメイド	観光学部対象	計
回数	-	-	-	-	-	-	-
人数	-	-	-	-	-	-	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、学修支援企画はオンラインコンテンツの公開・活用  
に重点を置いたことから、館内実習を中心とする活用講座は開催しないこととした。

■ 授業内情報検索講習会

開催回数 10回、参加者数 123名（池袋8回 103名、新座2回 20名）

	2020年度							
	池袋				新座			
レベル	入門	発展	分野別	計	入門	発展	分野別	計
回数	0	2	6	8	0	0	2	2
人数	0	19	84	103	0	0	20	20

注1. 入門編：立教大学図書館の利用方法とREAD（ディスカバリーサービス）の使い方、RIKKYO Learning Style導入期に対応

発展編：データベースを使った情報検索ガイダンス、RIKKYO Learning Style形成期に対応

分野別：入門編・発展編に当てはまらない、授業の目的に合った形で講習

注2. 2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため例年春学期に申し込みがある科目の講習会は1回（対面式）を除き

全て中止となったが、各教員向けに代替手段となるBlackboard公開のコンテンツ活用を案内した。

一方、秋学期は分野別を中心に、Zoom利用により複数回開催した。

■ 外部データベース講習会

講習	2020年度							
	池袋				新座			
	【春学期】		【秋学期】		【春学期】		【秋学期】	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
OED	-	-	-	-	-	-	-	-
Factiva.com	-	-	-	-	-	-	-	-
RefWorksセミナー(日本語)	-	-	-	-	-	-	-	-
RefWorksセミナー(英語)	-	-	-	-	-	-	-	-
BNC online	-	-	-	-	-	-	-	-
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー	-	-	1	44	-	-	池袋と共催	
eol	-	-	1	42	-	-		
日経テレコン21	-	-	1	28	-	-		
Japan Knowledge Lib	-	-	1	19	-	-		
合計	-	-	4	133	-	-	0	0

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、対面でのデータベース講習会の開催を見合わせることにしたが、秋学期には全学（池袋・新座）を対象に、国内系データベースを中心に4社によるZoomオンライン講習会を実現した。Japan Knowledge Libは新規の対応。

■ ラーニングアドバイザー相談件数

(件)

	2020年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
池袋	—	4	15	57	—	4	19	15	19	24	—	—	157
新座	—	0	4	28	—	5	2	3	4	10	—	—	56

注1. 2～3月・8月は長期休暇中のためサービスは実施せず

注2. 2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため対面相談は行わず、全てオンラインでの相談を実施。メール相談（ASK）は5月25日より、オンライン相談（Zoom）は7月20日からそれぞれ開始した。以降、年間通じて新たなLA相談としてサービスを提供した。

<機関リポジトリ（立教大学学術リポジトリ「立教Roots」）>

■ 機関リポジトリ

(件)

	2020年度
コンテンツ登録数（累積）	18,504
アクセス数（当該年度）	716,557
ダウンロード数（当該年度）	1,870,544

注：IRDBコンテンツ分析システム、及び、Wekoログ解析レポートより集計

(件)

博士学位論文	2020年度	
	累積数	年度内処理数
審査結果/要旨	265	33
論文全文公開数	176	18
論文の要約公開数	89	9

注：コンテンツ登録内数

<所蔵図書資料>

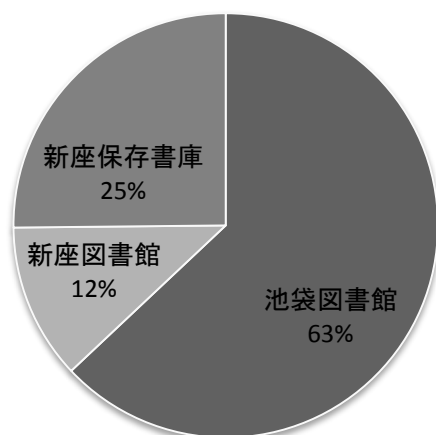
■ 蔵書冊数(視聴覚資料を除く)

(1) 館別

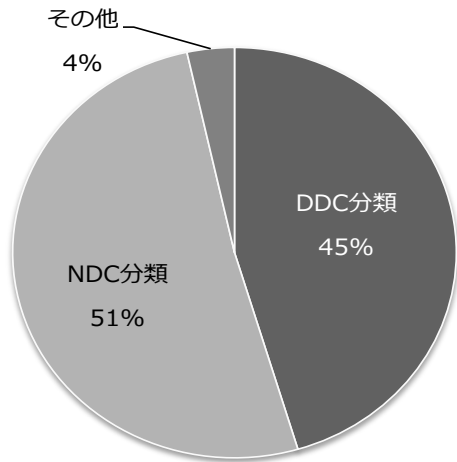
(冊)

	2020年度末
池袋図書館	1,245,560
新座図書館	234,547
新座保存書庫	497,581
計	1,977,688

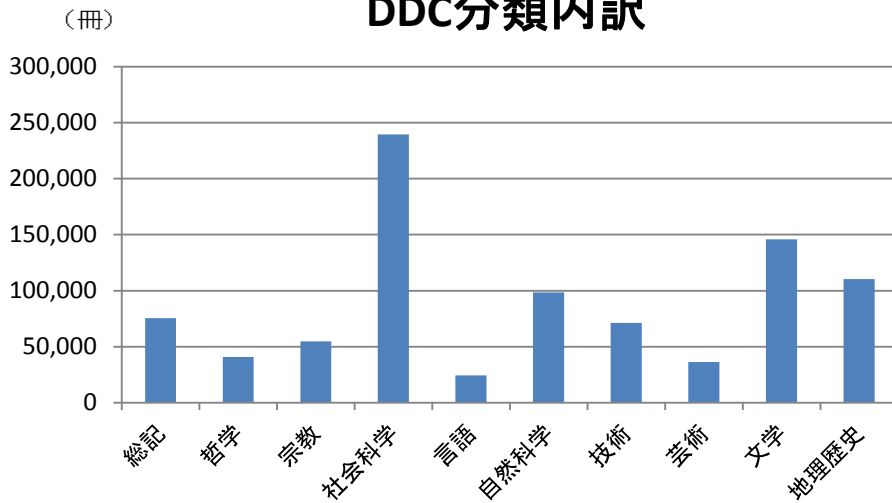
2020年度



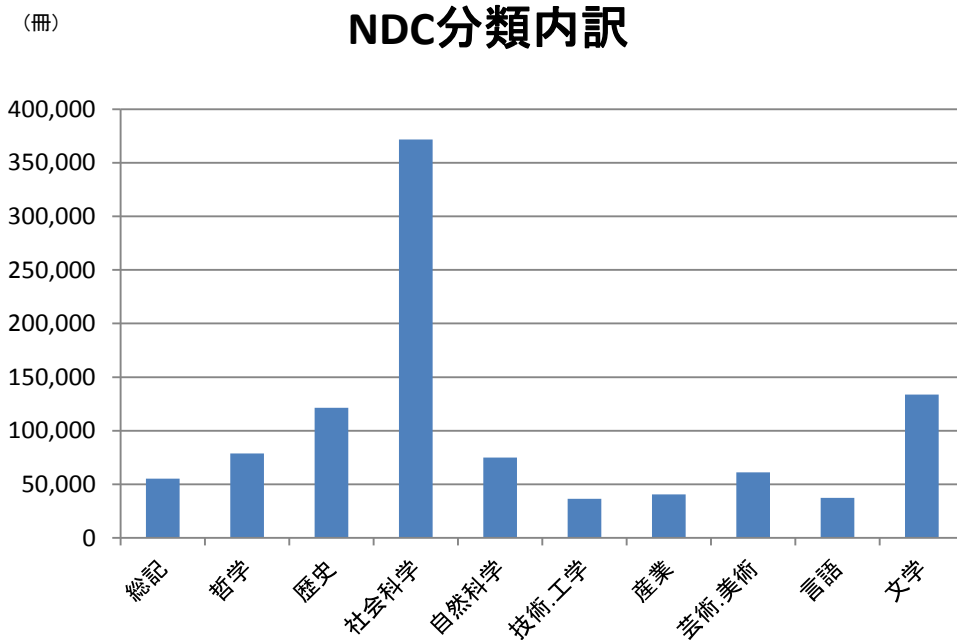
(2) 分類別



### DDC分類内訳



### NDC分類内訳





■ オンライン資料件数

2020年度		
電子ジャーナル	電子書籍	データベース
66,845	31,707	156

注：「文科省学術情報基盤実態調査（大学図書館編）」の種別による

■ 年間受入図書資料

2020年度				
	図書* (冊)	雑誌 (種)	新聞 (種)	視聴覚資料 (点)
池袋図書館	20,390	4,617	81	292
新座図書館	6,156	624	31	284
新座保存書庫	179	3	0	0
計	26,725	-	-	576

注：\*は製本雑誌含む

<図書館施設>

(2021年5月1日現在)

	用途別面積 (㎡)							総面積	座席数 (席)	所蔵可能冊数 (冊)
	利用者サービススペース				管理スペース		その他			
	閲覧	視聴覚	情報端末	その他	書庫	事務				
池袋図書館	9,401	111	40	1,320	1,995	444	5,289	18,600	1,538	1,922,028
新座図書館	2,012	145	5	334	566	198	202	3,462	477	291,194
新座保存書庫	28	0	2	0	1,952	92	472	2,546	14	715,160
計	11,441	256	47	1,654	4,513	734	5,963	24,608	2,029	2,928,382

注1. 「文科科学省 学術情報基盤実態調査(大学図書館編)」の算出方式による

注2. 座席数については、上記の他に池袋図書館ラーニング・スクウェアに96席、新座図書館しおり内グループエリアに66席あり

■ 利用者端末台数

(2021年5月1日現在)

	利用者端末台数		
	館内設置*1	貸出用*2	合計
池袋	309	120	429
新座	92	145	237
合計	401	265	666

\*1 OPAC, CD-ROMサーバー専用端末除く

\*2 メディアセンター管轄(館外利用可)

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(コミュニティ福祉学部福祉学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門必修科目	基礎演習（学びの技法を含む）	1前	2					○					5				
	社会福祉の原理と政策1	1前	2				○										
	社会福祉入門演習	1後	2				○					1	5		※演習 オムニバス		
	社会問題のインターセクショナルリティ	2前	2				○					1	5		※演習 オムニバス		
	小計（4科目）	—	8	0	0			—				9	1	0	5	0	兼0
専門基礎科目	異文化スタディ	1・2・3・4休		2			○							1			集中
	情報処理1	1・2・3・4前		2													兼1
	情報処理2	1・2・3・4後		2													兼1
	ノーマライゼーション論	1・2・3・4前		2			○				1						
	社会福祉とキャリア形成	1・2・3・4前		2			○										兼1
	家族をめぐる福祉問題	1・2・3・4前		2			○							1			
	現代社会とケアシステム	1・2・3・4前		2			○							1			
	ソーシャルワークの理論と方法1	1・2・3・4前		2			○				1						
	メンタルヘルスと福祉	1・2・3・4後		2			○				1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職1	1・2・3・4前		2			○				1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職2	1・2・3・4後		2			○				1						
	児童福祉論	1・2・3・4前		2			○				1						
	高齢者福祉論	1・2・3・4前		2			○				1						
	障害者福祉論	1・2・3・4後		2			○				1						
	社会保障総論	1・2・3・4前		2			○				1						
小計（15科目）	—	0	30	0			—						2			兼2	—
専	グローバル社会で活躍するための英語（福祉系）	2・3・4前		2			○										兼1
	現代コミュニティ福祉学特別講義（福祉系）	2・3・4後		2			○										兼1
	海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語（福祉系）	2・3・4前		2			○										兼1
	英語で学ぶ海外の福祉の現状	2・3・4後		2			○										兼1
	人権論	2・3・4後		2			○										兼1
	福祉文化論	2・3・4後		2			○				1						
	社会福祉調査の基礎	2・3・4後		2			○					1					
	ジェンダーとセクシュアリティ入門	2・3・4後		2			○				1						
	障害学入門	2・3・4後		2			○										兼1
	社会福祉発達史1	2・3・4前		2			○										兼1
	社会福祉発達史2	2・3・4前		2			○										兼1
	心理学理論と心理的支援	2・3・4後		2			○										兼1
	社会理論と社会システム	2・3・4後		2			○										兼1
	医学概論	2・3・4前		2			○										兼1
	子ども理解と子育て支援論	2・3・4後		2			○										兼1
	貧困に対する支援	2・3・4前		2			○				1						
	高齢者福祉実践論	2・3・4後		2			○				1						
	地域福祉論1	2・3・4前		2			○				1						
	地域福祉論2	2・3・4後		2			○				1						
	女性福祉論	2・3・4前		2			○				1						
	保健医療と福祉	2・3・4前		2			○				1						
	発達障害支援論	2・3・4後		2			○										兼1
	ソーシャルワークの理論と方法2	2・3・4前		2			○										兼1
ソーシャルワークの理論と方法3	2・3・4後		2			○										兼1	
社会保障論	2・3・4後		2			○				1							

門 応 用 科 目	刑事司法と福祉	2・3・4後	2		○									兼1	
	Human Diversity and Social Justice in Social Work	2・3・4後	2		○									兼1	
	権利擁護を支える法制度	3・4前	2		○			1							
	社会福祉の原理と政策2	3・4前	2		○				1						
	ソーシャルワークの理論と方法4	2・3・4前	2		○			1							
	福祉マネジメント論	3・4後	2		○			1							
	福祉情報とICT	3・4後	2		○									兼1	
	ケアマネジメント論	3・4後	2		○			1							
	福祉学特論	3・4後	2		○									兼1	
	医療ソーシャルワーク実践論	3・4後	2		○			1							
	支援者支援論：ストレスマネジメントを学ぶ	2・3・4前	2		○									兼1	
	セルフヘルプグループ論	2・3・4後	2		○									兼1	
	多文化ソーシャルワーク論	2・3・4前	2		○									兼1	
	比較福祉国家論	3・4後	2		○									兼1	
	ケアの倫理と社会福祉	2・3・4前	2		○									兼1	
	社会福祉調査実践論	3・4後	2				○							兼1	
	災害福祉論	2・3・4前	2		○			1							
	居住福祉論	2・3・4後	2		○					1					
	教育福祉論	2・3・4前	2		○									兼1	
	ソーシャルワーク演習	2・3・4前	2				○	1				4		兼1	
	ソーシャルワーク演習（専門）1	2・3・4後	3				○					4		兼2	
	ソーシャルワーク実習指導1	2・3・4後	1					○	1			4		兼1	
	インターンシップ	3・4通	4					○	1			1		兼3	※演習
	ソーシャルワーク実習指導2	3・4通	4					○	6	1					
	ソーシャルワーク実習	3・4通	5					○	6	1					
	ソーシャルワーク演習（専門）2	3・4通	4				○		3			4			
キャリア形成演習	3・4通	4				○		1			1				
卒業研究指導演習	3・4通	8				○		9	1		3				
小計（53科目）	—	0	123	0	—	—	—	9	1	0	5	0	兼26	—	
自 由 科 目	【専門関連科目】														
	心理学1	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	心理学2	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	生涯学習概論1	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	生涯学習概論2	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	生涯学習支援論1	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	生涯学習支援論2	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	社会教育経営論1	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	社会教育経営論2	1・2・3・4後	2		○									兼1	
小計（8科目）	—	0	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼5	—	
全 学 共 通 科 目	学 び の 精 神	世界史の中のキリスト教	1・2・3・4前	2		○								兼4	
		思想を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
		美術の中のキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
		音楽の中のキリスト教	1・2・3・4前	2		○								兼2	
		文学を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		国際社会の中の宗教	1・2・3・4前	2		○								兼4	
		現代社会の中の宗教1	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		現代社会の中の宗教2	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
		人文学からの学び（文学）	1・2・3・4前・後	2		○								兼5	
		人文学からの学び（思想・教育）	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		人文学からの学び（史学）	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		芸術への扉	1・2・3・4前	2		○								兼4	
		グローバル経済社会を考える	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
		社会学からの学び	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		学びの場としての社会	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		メディアからみる学び	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		法と政治の世界	1・2・3・4前	2		○								兼3	
		経営学への招待	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
		現代社会と観光	1・2・3・4前	2		○								兼4	
		現代社会の諸相	1・2・3・4前・後	2		○			1					兼3	
		自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	オムニバス
身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○								兼3			
現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○								兼3			
アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2		○								兼3			
グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2		○								兼3			
大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2		○								兼3			

	人権とジェンダー	1・2・3・4前	2		○								兼2		
	ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
	キャリアデザイン	1・2・3・4前	2		○								兼3		
	キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2		○								兼4		
	美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2		○								兼4		
	愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2		○								兼2		
	教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2		○								兼1		
	Economy and Society	1・2・3・4前	2		○								兼1		
	University Education in the World	1・2・3・4前	2		○								兼1	集中	
	多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○								兼1		
	Image Studies	1・2・3・4前	2		○								兼1		
	GL101	1・2・3・4前	2		○								兼13		
	小計 (40科目)	—	0	82	0	—			1	0	0	0	0	兼120	—
全学共通科目	多 彩 な 学 び  1. 人 間 の 探 究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○								兼3	
		聖書考古学	1・2・3・4後	2		○								兼1	
		ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○								兼1	
		イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○								兼1	
		現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		哲学への扉	1・2・3・4前	2		○								兼2	
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○								兼1	
		教育と人間	1・2・3・4後	2		○								兼2	
		歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼5	
		地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○								兼1	
		点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1	
		ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1	
		中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1	
		イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼2	
		ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○								兼2	
		フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1	
		スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1	
		朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○								兼2	
		教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼2	
		現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○								兼1	
		立教ゼミナール1	1・2・3・4前・後	2			○							兼3	
		立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2			○							兼4	
睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○								兼2	オムニバス		
ボランティア論	1・2・3・4前	2		○				1				兼1	オムニバス		
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○								兼6	オムニバス		
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○								兼2			
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○								兼1			
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○								兼2			
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○								兼1			
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○								兼3	オムニバス		
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○								兼1			
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○								兼2			
World History	1・2・3・4前・後	4		○								兼1			
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○								兼1			
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○								兼1			
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○								兼1			
小計 (46科目)	—	0	94	0	—			1	0	0	0	0	兼83	—	
	入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○								兼1		
	景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○								兼2		
	法と社会	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
	政治と社会	1・2・3・4後	2		○								兼2		
	グローバル社会における法と政治	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	現代のビジネスを学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	企業と社会	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
	現代社会と環境	1・2・3・4後	2		○								兼1		
	情報と倫理	1・2・3・4前	2		○								兼1		
	メディアと人間	1・2・3・4後	2		○								兼1		
	文化と社会	1・2・3・4後	2		○								兼1		
	現代社会の解説	1・2・3・4後	2		○								兼1		
	いのちの尊厳と福祉を考える	1・2・3・4前	2		○			1					兼1		

全学共通科目	多彩な学び 2・社会への視点	コミュニティをデザインする	1・2・3・4前・後	2		○			1						兼2	
		観光学への誘い	1・2・3・4後	2		○										兼2
		異文化コミュニケーションを考える	1・2・3・4前・後	2		○										兼2
		シティズンシップを考える	1・2・3・4後	2		○										兼2
		デモクラシーとリベラルアーツ	1・2・3・4後	2		○										兼1
		大学と現代社会	1・2・3・4前・後	2		○										兼2
		世界の中のロシア	1・2・3・4後	2		○										兼1
		ドイツ語圏の社会	1・2・3・4後	2		○										兼2
		フランス語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○										兼1
		スペイン語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○										兼2
		中国語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○										兼1
		朝鮮語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○										兼2
		社会調査入門	1・2・3・4前	2		○										兼1
		社会調査の技法	1・2・3・4後	2		○										兼1
		データ分析入門	1・2・3・4前	2		○										兼1
		データの科学	1・2・3・4後	2		○										兼1
		多変量解析入門	1・2・3・4後	2		○										兼1
		Introduction to Statistics 1	1・2・3・4前	2		○										兼2
		Introduction to Statistics 2	1・2・3・4後	2		○										兼2
		国際情勢を読み解く	1・2・3・4前	2		○										兼1
		パレスチナ問題の歴史と現在	1・2・3・4後	2		○										兼1
		立教ゼミナール 2	1・2・3・4前・後	2				○								兼6
		立教ゼミナール発展編 2	1・2・3・4前・後	2				○								兼5
		RSLゼミナール	1・2・3・4後	2				○								兼1
		Nativeと学ぶ社会開発	1・2・3・4後	2			○									兼2
		立教OBOGの「社長の履歴書」	1・2・3・4後	2			○									兼3
		グローバルシティ・ソウルを読み解く	1・2・3・4後	2			○									兼3
		社会を変える：人を繋ぎ、時間を繋ぐ市民の営み	1・2・3・4後	2			○									兼3
		SDGs×AI×経済×法	1・2・3・4前	2			○									兼2
		SDGsとグローバルの可能性	1・2・3・4前	2			○									兼3
		世界経済と日本	1・2・3・4前・後	2			○									兼2
		日本国憲法	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		近代日本社会と人権	1・2・3・4前・後	2			○									兼2
		日本の「多文化」政策を問い直す	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Modern Japanese History 1	1・2・3・4前	2					○							兼1
		Modern Japanese History 2	1・2・3・4前	2					○							兼1
		Japanese Politics and Economy 1	1・2・3・4前	2					○							兼1
		Japanese Politics and Economy 2	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Japanese Relations in Asia 1	1・2・3・4前	2					○							兼1
		Japanese Relations in Asia 2	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Japanese Society 1	1・2・3・4後	2					○							兼2
		Japanese Society 2	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Tokyo Studies	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		Saitama Studies	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Humans and Other Animals	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Food Cultures and the Acceptance of Japanese Food in the World	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Political Sociology	1・2・3・4前	4			○									兼1
		Economic Thought	1・2・3・4後	4			○									兼1
		University in Modern Society	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Career and University Education in the Global World	3・4前	2			○									兼1
		Business Communication	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Global and Japanese Political Economy 1	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Global and Japanese Political Economy 2	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Introduction to Multivariate Analysis	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Introduction to Sociology	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Introduction to the Social Survey	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Introduction to Tourism Studies	1・2・3・4前・後	2			○									兼2
		Japanese Society and Culture 1	1・2・3・4前	2			○									兼1
		Japanese Society and Culture 2	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Knowledge and Society 1	1・2・3・4前・後	1			○									兼1
		Knowledge and Society 2	1・2・3・4前・後	1			○									兼1
		Learning and Teaching Today 1	1・2・3・4前	1			○									兼1
		Learning and Teaching Today 2	1・2・3・4前	1			○									兼1
		SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	1・2・3・4後	2			○									兼1
		Selected Topics in Intercultural Communication	1・2・3・4前	2					○							兼1
		The Dignity of Life and Welfare	1・2・3・4後	2			○									兼1
		台湾から世界を考える	1・2・3・4前	2			○									兼2
		翻訳・通訳と現代社会	1・2・3・4後	2			○									兼2
		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2			○									兼2
		地域学への招待	1・2・3・4後	2			○									兼2
		小計 (84科目)	—	0	168	0	—	—	—	—	2	0	0	0	0	兼115
			文学への扉	1・2・3・4前	2		○									兼5
			表象文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼6
			美術の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3

全学共通科目	多彩な学び 3・芸術・文化への招待	美術と社会	1・2・3・4後	2		○							兼3			
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
		音楽と社会	1・2・3・4後	2		○							兼3			
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2			○						兼3			
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2			○						兼2			
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2		○							兼2			
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2		○							兼2			
		都市と芸術	1・2・3・4後	2		○							兼1			
		建築と文化	1・2・3・4後	2		○							兼1			
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2		○							兼2			
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		立教ゼミナール 3	1・2・3・4前・後	2			○						兼2			
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2			○						兼1			
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		日本の演劇	1・2・3・4後	2			○						兼1			
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2			○						兼2			
		Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2			○						兼1			
		Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
		Literature and Society	1・2・3・4後	4		○							兼1			
		Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4		○							兼1			
		Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2		○							兼1			
		Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2		○							兼1			
		The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1		○							兼1			
		The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1		○							兼1			
		観光と文学	1・2・3・4後	2		○							兼3			
		小計 (36科目)	—	0	74	0	—			0	0	0	0	0	兼60	—
		全学共通科目	多彩な学び 4・心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2		○							兼3	
				心の科学	1・2・3・4前・後	2		○							兼3	
パーソナリティの心理	1・2・3・4後			2		○							兼3			
対人関係の心理	1・2・3・4前・後			2		○							兼3			
心の健康	1・2・3・4前			2		○							兼2			
身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後			2		○							兼2			
ストレスマネジメント	1・2・3・4前			2		○							兼2			
癒しの科学	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
スポーツの科学	1・2・3・4前・後			2		○							兼2			
健康の科学	1・2・3・4前・後			2		○							兼2			
栄養の科学	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
スポーツとメディア	1・2・3・4後			2		○							兼2			
スポーツと社会	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
スポーツと文化	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前			2		○							兼1			
アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
立教ゼミナール 4	1・2・3・4後			2			○						兼2			
立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後			2			○						兼4			
Japanese Mind	1・2・3・4前			2		○							兼1			
Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後			2		○							兼1			
Health and Wellness	1・2・3・4後			4		○							兼1			
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後			1		○							兼1			
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後			1		○							兼1			
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前			2		○							兼1			
小計 (25科目)	—	0	50	0	—			0	0	0	0	0	兼39	—		
全学共通	多彩な学び 5	数学の世界	1・2・3・4前・後	2		○							兼4			
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2		○							兼4			
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2		○							兼5			
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
		化学と自然	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
		行動の科学	1・2・3・4後	2		○							兼2			
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
		情報科学A	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		生物の多様性	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
		地球環境の未来	1・2・3・4前	2		○							兼1			
自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2		○							兼1					

学科目	・自然の理解	脳と心	1・2・3・4前・後	2			○									兼1		
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2			○										兼1	
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2			○										兼2	
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2			○										兼1	
		宇宙から地球のみらいを考える	1・2・3後	2			○										兼1	
		立教ゼミナール5	1・2・3・4後	2					○								兼1	
		Science Studies	1・2・3・4前	2			○										兼1	
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4			○										兼1	
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2			○										兼1	
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2			○										兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1			○										兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1			○										兼1	
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2			○										兼2	オムニバス
		小計 (28科目)	—	0	56	0	—				0	0	0	0	0	0	兼48	—
全学共通科目	多彩な学び 6 ・知識の現場	GL111	1・2・3・4後	2			○									兼2		
		GL102	1・2・3・4後	2			○									兼1		
		GL103	1・2・3・4後	2			○									兼1		
		GL201	1・2・3・4後	2			○									兼2		
		GL202	1・2・3・4前	2			○									兼2		
		GL301	1・2・3前・後	2					○							兼1	集中	
		GL302	1・2・3前	2					○							兼1		
		グローバル共通教養総論	1・2・3・4前	2			○									兼1		
		ソリューション・アプローチ (開発経済)	2・3・4前	2				○								兼1		
		ソリューション・アプローチ (強制移転・移住)	2・3・4前	2				○								兼1		
		グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後	2			○									兼1		
		ソリューション・アプローチ (人道支援)	2・3・4後	2				○								兼1		
		ソリューション・アプローチ (紛争と平和)	2・3・4後	2				○								兼1		
		アクティブ・リサーチ	2・3・4後	2						○						兼1		
		国連ユースボランティア	1・2・3・4後	12						○						兼1		
		陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前	2						○						兼2		
		海外インターンシップ1	1・2・3後	1						○						兼1	集中	
		海外インターンシップ2	1・2・3後	2						○						兼1	集中	
		国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後	1						○						兼1	集中	
		国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーコミュニティ (埼玉)	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーコミュニティ (池袋)	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーローカル (南魚沼)	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーグローバルA	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーグローバルB	1・2・3・4後	2						○						兼1		
		RSLーローカル (地域共生)	1・2・3・4前	2						○						兼1		
小計 (26科目)	—	0	60	0	—				0	0	0	0	0	0	兼17	—		
全学共通科目	多彩な学び スポーツプログラム	スポーツプログラム1 (バドミントン)	1・2・3・4前・後	1					○							兼2		
		スポーツプログラム1 (はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1					○							兼2		
		スポーツプログラム1 (ダンス (初級))	1・2・3・4前・後	1					○							兼1		
		スポーツプログラム2 (トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1					○							兼1		
		スポーツプログラム3 (卓球)	1・2・3・4前	1					○							兼1		
		スポーツプログラム3 (バスケットボール)	1・2・3・4前	1					○							兼1		
		スポーツプログラム3 (バレーボール)	1・2・3・4後	1					○							兼1		
		スポーツプログラム3 (フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1					○							兼1		
		スポーツプログラム3 (アルティメット)	1・2・3・4前	1					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼5		
		スポーツスタディ1 (太極拳)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2		
		スポーツスタディ1 (日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2					○							兼3		
		スポーツスタディ1 (バドミントン)	1・2・3・4後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (アダプテッドスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (日本語))	1・2・3・4前	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (英語))	1・2・3・4後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ1 (ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ2 (トレーニング)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ2 (ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ2 (ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2		
		スポーツスタディ2 (東洋的フィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ2 (ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2		
		スポーツスタディ2 (セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2		
		スポーツスタディ2 (ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ3 (サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2					○							兼1		
		スポーツスタディ3 (フットサル)	1・2・3・4前・後	2					○							兼4		
		スポーツスタディ3 (フットサル (インドア))	1・2・3・4前・後	2					○							兼1		
		スポーツスタディ3 (初心者向けサッカー・フットサル&フィットネス)	1・2・3・4後	2					○							兼1		
スポーツスタディ3 (テニス)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2				
スポーツスタディ3 (ブラインドサッカー)	1・2・3・4後	2					○							兼1				
スポーツスタディ3 (ゴルフ)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1				
スポーツスタディ3 (卓球)	1・2・3・4前・後	2					○							兼1				

	スポーツスタディ3 (バスケットボール)	1・2・3・4後	2						○										兼1	
	スポーツスタディ3 (ソフトボール)	1・2・3・4前	2						○										兼1	
	スポーツスタディ4 (ゴルフ)	1・2・3・4前	2						○										兼2	
	スポーツスタディ4 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2						○										兼1	
	スポーツスタディ4 (馬術)	1・2・3・4後	2						○										兼2	
	スポーツスタディ4 (スキーB)	1・2・3・4後	2						○										兼2	
	スポーツスタディ4 (はじめての和太鼓)	1・2・3・4前	2						○										兼2	
	スポーツスタディe	1・2・3・4前・後	2						○										兼2	
	小計 (42科目)	—	0	75	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼44	—
(必修科目A / 英語)	全学共通科目	英語ディスカッション	1前	1					○										兼135	
	英語ディベート	1後	1						○										兼101	
	英語リーディング&ライティング1 (R)	1前	1						○										兼110	
	英語リーディング&ライティング2 (W)	1後	1						○										兼115	
	英語eラーニング	1前	1						○										兼31	
	英語プレゼンテーション	1後	1						○										兼97	
	上級英語1 (リーディング&ライティング)	1前	2						○										兼31	
	上級英語2 (プロジェクト英語)	1後	2						○										兼31	
小計 (8科目)	—	10	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼170	—	
(必修科目B / ドイツ語)	全学共通科目	ドイツ語基礎1	1前	2					○										兼13	
	ドイツ語基礎2	1後	2						○										兼14	
小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼14	—	
(必修科目B / フランス語)	全学共通科目	フランス語基礎1	1前	2					○										兼13	
	フランス語基礎2	1後	2						○										兼13	
小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼13	—	
(必修科目B / スペイン語)	全学共通科目	スペイン語基礎1	1前	2					○										兼21	
	スペイン語基礎2	1後	2						○										兼21	
小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼21	—	
(必修科目B / 中国語)	全学共通科目	中国語基礎1	1前	2					○										兼24	
	中国語基礎2	1後	2						○										兼24	
小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼24	—	
(必修科目B / 朝鮮語)	全学共通科目	朝鮮語基礎1	1前	2					○										兼19	
	朝鮮語基礎2	1後	2						○										兼19	



二語系科目 (英語)																			
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	0	兼19	—		
全学共通科目 (言語科目/ロシア語)	ロシア語基礎 1	1前	2					○								兼3			
	ロシア語基礎 2	1後	2					○								兼3			
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	兼3	—			
全学共通科目 (日本語)	大学生の日本語 A	1前	1					○								兼7			
	大学生の日本語 B	1前	1					○								兼7			
	大学生の日本語 C	1後	1					○								兼8			
	大学生の日本語 D	1後	1					○								兼8			
	小計 (4科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	兼16	—			
全学共通科目 (英語)	English Intensive A (Global World)	2・3・4前		4				○								兼5			
	English Intensive B (Academic Language Skills)	2・3・4前		4				○								兼4			
	English Intensive C (Integrated Language Skills)	2・3・4後		4				○								兼5			
	English Intensive D (Intercultural Understanding)	2・3・4後		4				○								兼5			
	Intercultural Studies	2・3・4前		2				○								兼1			
	Self-directed and Reflective Language Learning	2・3・4前		2				○								兼1			
	小計 (6科目)	—	0	20	0			—		0	0	0	0	0	兼18	—			
全学共通科目 (英語)	English Communication 1	2・3・4前・後		4				○								兼8			
	English Communication 2	2・3・4前・後		4				○								兼7			
	Pleasure Reading	2・3・4前		2				○								兼2			
	Speech	2・3・4前・後		2				○								兼3			
	Debate	2・3・4前・後		2				○								兼3			
	Presentation	2・3・4前・後		2				○								兼3			
	Current English 1 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼5			
	Current English 2 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼5			
	Current English 1 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼4			
	Current English 2 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼5			
	Japanese Studies through English	2・3・4前・後		2				○								兼5			
	Language and History	2・3・4前		2				○								兼1			
	English through Movies A	2・3・4前		2				○								兼1			
	English through Movies B	2・3・4前		2				○								兼1			
	English through Movies C	2・3・4前		2				○								兼1			
	World Cultures	2・3・4後		2				○								兼1			
	World Heritage Sites	2・3・4前		2				○								兼1			
	English through Dramas	後		2				○								兼1			
	Advertisement English	2・3・4後		2				○								兼1			
	English through Movies D	2・3・4後		2				○								兼1			
	English through Movies E	2・3・4後		2				○								兼1			
	English through Movies F	2・3・4後		2				○								兼1			
	Introduction to Global Studies A: Humanities	2・3・4前		2				○								兼1			
Introduction to Global Studies B: Social Science	2・3・4前		2				○								兼1				
Introduction to Global Studies B: Natural Science	2・3・4前		2				○								兼1				
Multimodal Communication in English	2・3・4前		2				○								兼1				
Business Speaking	2・3・4後		2				○								兼1				

	Current News through English Media	2・3・4前	2					○								兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	IELTS	2・3・4前	2					○								兼2	
	小計 (39科目)	—	0	82	0			—	0	0	0	0	0	0		兼63	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(科 /英目 コ語)系 スア語 アド系 バン目 ンスト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後	4					○								兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後	2					○								兼1	
CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後	2					○								兼1		
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前	2					○								兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後	2					○								兼1		
小計 (16科目)	—	0	44	0			—	0	0	0	0	0	0		兼24	—	
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(科 /英目 コ語)系 スオ系 ナー目 ズ・	University Lecture A	2・3・4前	2					○								兼1	
	University Lecture C	2・3・4前	2					○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0		兼2	—
(国全 イ際学 ン交共 デ流通 イ制科 ペ度目 ン短言 デ期語 ン英系 ト語科 ・研 モ修 ジプ自 ユログ由 ー目科 ルラ目 /ム(英 コ語) ス)	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前	1					○								兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後	1					○								兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	ワライ海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
小計 (9科目)	—	0	17	0			—	0	0	0	0	0	0		兼11	—	
基自全 礎由学 科科共 目目通 群(科 (目 ドイ 中言 級語 レ語系	ドイツ語中級1	2・3・4前	2					○								兼8	共同
	ドイツ語中級2	2・3・4後	2					○								兼7	共同
	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前	1					○								兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前	1					○								兼2	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後	1					○								兼3	
ドイツ語スタンダード4	2・3・4後	1					○								兼2		

科目 目																		
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—						0	0	0	0	0	兼12	—
科目 目 群 (ドイツ語系 科目) レベル	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○								兼2	
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後		2					○								兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○								兼2	
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後		2					○								兼2	
	ドイツ語総合B1 (1)	2・3・4前		2					○								兼1	
	ドイツ語総合B1 (2)	2・3・4後		2					○								兼1	
小計 (10科目)	—	0	20	0	—						0	0	0	0	0	兼7	—	
科目 目 群 (ドイツ語系 科目) レベル	基礎ドイツ語入門	2・3・4前		2					○								兼6	
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後		2					○								兼6	
小計 (2科目)	—	0	4	0	—						0	0	0	0	0	兼6	—	
科目 目 群 (ドイツ語系 科目) レベル	ドイツ語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○								兼1	
	ドイツ語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○								兼1	
小計 (2科目)	—	0	4	0	—						0	0	0	0	0	兼1	—	
科目 目 群 (フランス語系 科目) レベル	フランス語中級1	2・3・4前		2					○								兼6	共同
	フランス語中級2	2・3・4後		2					○								兼6	共同
	フランス語スタンダード1	2・3・4前		1					○								兼2	
	フランス語スタンダード2	2・3・4前		1					○								兼2	
	フランス語スタンダード3	2・3・4後		1					○								兼2	
	フランス語スタンダード4	2・3・4後		1					○								兼2	
小計 (6科目)	—	0	8	0	—						0	0	0	0	0	兼8	—	
科目 目 群 (フランス語系 科目) レベル	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○								兼2	
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後		2					○								兼2	
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○								兼1	
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○								兼1	
	上級フランス語演習1	2・3・4前		2					○								兼2	
	上級フランス語演習2	2・3・4後		2					○								兼2	
小計 (8科目)	—	0	16	0	—						0	0	0	0	0	兼5	—	
科目 目 群 (フランス語系 科目) レベル	言語情報処理論 (フランス語)	1・2・3・4前		2					○								兼1	

二級 フランス語 言語																	
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
フランス語 言語 言語系科目	基礎フランス語入門 基礎フランス語初級	2・3・4前 2・3・4後		2 2				○ ○							兼6 兼6		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—	
フランス語 言語 言語系科目	フランス語海外言語文化研修 (中級) フランス語海外言語文化研修 (上級)	1・2・3・4前 2・3・4前		2 2				○ ○							兼1 兼1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—	
フランス語 言語 言語系科目	スペイン語中級1 スペイン語中級2 スペイン語スタンダード1 スペイン語スタンダード2 スペイン語スタンダード3 スペイン語スタンダード4	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後		2 2 1 1 1 1				○ ○ ○ ○ ○ ○							兼8 兼8 兼4 兼3 兼3 兼3	共同 共同	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼13	—	
フランス語 言語 言語系科目	上級スペイン語コミュニケーション1 上級スペイン語コミュニケーション2 上級スペイン語ライティング1 上級スペイン語ライティング2 上級スペイン語リスニング・リーディング1 上級スペイン語リスニング・リーディング2 上級スペイン語演習1 上級スペイン語演習2	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後		2 2 2 2 2 2 2 2				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○							兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2		
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—	
フランス語 言語 言語系科目	言語情報処理論 (スペイン語)	1・2・3・4前・後		2				○							兼2		
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼2	—	

スペイン語入門科目 自由科目 共通科目 言語系科目	基礎スペイン語入門	2・3・4前	2					○							兼9	
	基礎スペイン語初級	2・3・4後	2					○							兼9	
小計 (2科目)		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
海外言語文化研修 自由科目 共通科目 言語系科目	スペイン語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3後	2					○							兼1	
	スペイン語海外言語文化研修 (上級)	2・3後	2					○							兼1	
小計 (2科目)		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎科目群 自由科目 共通科目 言語系科目 (中国語レベル)	中国語中級1	2・3・4前	2					○							兼4	
	中国語中級2	2・3・4後	2					○							兼4	
	中国語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼4	
	中国語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼4	
	中国語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼4	
	中国語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼4	
小計 (6科目)		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼10	—
コア科目群 自由科目 共通科目 言語系科目 (中国語レベル)	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級中国語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級中国語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級中国語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級中国語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
	小計 (8科目)		—	0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	兼2
処理論 自由科目 共通科目 言語系科目 (中国語レベル)	言語情報処理論 (中国語)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2	
	小計 (1科目)		—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	兼2	—
中国語入門科目 自由科目 共通科目 言語系科目	基礎中国語入門	2・3・4前	2					○							兼5	
	基礎中国語初級	2・3・4後	2					○							兼5	

	小計 (2科目)	—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼5	—
海自全 自由学 外教科共 言語目通 文(中国 化研修語 系科目	中国語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (中級)	1・2・3後		2				○							兼1	
	中国語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2				○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (上級)	2・3後		2				○							兼1	
	小計 (4科目)	—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基自全 自由学 教科共 目目通 (朝鮮 (中級 レ ベ ル) 言 語 系 科 目	朝鮮語中級 1	2・3・4前		2				○							兼6	共同 共同
	朝鮮語中級 2	2・3・4後		2				○							兼6	
	朝鮮語スタンダード 1	2・3・4前		1				○							兼3	
	朝鮮語スタンダード 2	2・3・4前		1				○							兼2	
	朝鮮語スタンダード 3	2・3・4後		1				○							兼3	
	朝鮮語スタンダード 4	2・3・4後		1				○							兼3	
	小計 (6科目)	—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼12	—
コ自全 自由学 ア教科共 目目通 (朝鮮 (上級 レ ベ ル) 言 語 系 科 目	上級朝鮮語コミュニケーション 1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級朝鮮語コミュニケーション 2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング 1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング 2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング 1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング 2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級朝鮮語演習 1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級朝鮮語演習 2	2・3・4後		2				○							兼2	
	小計 (8科目)	—	0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
処自全 自由学 理科共 論(朝鮮 (中級 レ ベ ル) 言 語 系 科 目	言語情報処理論 (朝鮮語)	1・2・3・4後		2				○							兼2	
	小計 (1科目)	—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	0	兼2	—
朝自全 自由学 鮮科共 語教科通 入(朝鮮 門(朝鮮 科(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮 目(朝鮮	基礎朝鮮語入門	2・3・4前		2				○							兼9	
	基礎朝鮮語初級	2・3・4後		2				○							兼9	
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
海自全 自由学 外教科共 言語目通 文(朝鮮 (上級 レ ベ ル) 言 語 系 科 目	朝鮮語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	朝鮮語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2				○							兼1	

科目																			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
自由科目 共通科目 (ロシア語系科目)	ロシア語セミナーA	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーB	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーC	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーD	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー1	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー2	2・3・4後		1				○								兼1			
	小計 (6科目)	—	0	6	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
基礎からの 自由科目 (ロシア語系科目)	基礎ロシア語入門	2・3・4前		2				○								兼3			
	基礎ロシア語初級	2・3・4後		2				○								兼3			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
自由科目 (ポルトガル語)	ポルトガル語3	2・3・4前		1				○								兼1			
	ポルトガル語4	2・3・4後		1				○								兼1			
	小計 (2科目)	—	0	2	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
入門レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 1	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
初級レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 2	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
中級レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 3	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	日本語話 4	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		

	小計 (2科目)	—	0	2	0	—	0	0	0	0	0	兼3	—
全学 自由 科目 (日本語 系科目)	日本の社会と文化A	2・3・4前		2		○						兼1	
	日本の社会と文化B	2・3・4後		2		○						兼1	
	日本の社会と文化C	2・3・4後		2		○						兼1	
	社会の中の日本語A	2・3・4前		2		○						兼1	
	社会の中の日本語B	2・3・4後		2		○						兼1	
	論文読解の技法	2・3・4前		2		○						兼2	
	論文作成の技法	2・3・4後		2		○						兼2	
	キャリアの日本語A	2・3・4前・後		2		○						兼3	
	キャリアの日本語B	2・3・4前・後		2		○						兼3	
	ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後		2		○						兼3	
	ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後		2		○						兼2	
	ビジネスメールと文書	2・3・4前・後		2		○						兼2	
	小計 (12科目)	—	0	24	0	—	0	0	0	0	0	兼14	—
N E X U S 言 語 教 育 科 目	NEXUS日本語A	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語B	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語C	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語D	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語E	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語F	1後	1			○						兼3	
	NEXUS日本語G	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語H	1後	1			○						兼1	
	NEXUS日本語I	1後	1			○						兼2	
	NEXUS日本語J	1後	1			○						兼1	
	小計 (10科目)	—	10	0	0	—	0	0	0	0	0	兼9	—
合計 (637科目)		—	56	1211	0	—	10	1	0	5	0	兼815	—
学位又は称号	学士 (福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等							
<p>コミュニティ福祉学部福祉学科は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目を8単位、専門基礎科目を16単位、専門応用科目を50単位、自由科目を24単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。</p> <p>(履修科目の登録の上限：48単位 (年間))</p>						1学年の学期区分			2期				
						1学期の授業期間			14週				
						1時限の授業時間			100分				



教育課程等の概要															
(コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目 (共通)	基礎演習(学びの技法を含む)	1前	2				○		4	7		2			
	コミュニティ政策学入門	1後	2			○		5	7		2				
	社会調査入門	1前	2			○					2				
	コミュニティ学演習1A	3前		2			○	3	4						
	コミュニティ学演習1B	3後		2			○	3	4						
	政策学演習1A	3前		2			○	4	3						
	政策学演習1B	3後		2			○	4	3						
	講読演習A	3前		2			○						兼2		
	講読演習B	3後		2			○						兼2		
	社会調査実習	3通		4				○				2		※演習	
小計(10科目)	—	6	16	0	—	—	—	7	7	0	2	0	兼2	—	
専門必修科目 (コミュニティ専修)	コミュニティ学入門演習	2前	2				○		3	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—	—	3	3	0	0	0	兼0	—	
専門必修科目 (政策専修)	政策学入門演習	2前	2				○		3	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—	—	3	3	0	1	0	兼0	—	
スタディスキル科目	統計学入門	2・3・4前		2		○						1			
	リサーチ・デザイン	1・2・3・4後		2		○						1			
	質的リサーチ	2・3・4前		2		○						1			
	データ分析入門	2・3・4後		2		○						1		兼1	
	データ分析法	3・4前		2		○						1			
	キャリアデザイン	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	政策分析のメソドロジー	2・3・4前		2		○								兼1	
	情報処理1	1・2・3・4前		2				○						兼1	
	情報処理2	1・2・3・4後		2				○						兼1	
	情報処理3	2・3・4前		2				○						兼1	
	情報処理4	2・3・4後		2				○						兼1	
	異文化スタディ	1・2・3・4休		2		○						1		集中	
	グローバル社会で活躍するための英語(コミュニティ政策系)	2・3・4後		2		○						1			
	海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(コミュニティ政策系)	2・3・4前		2		○						1			
	英語で学ぶコミュニティ政策	2・3・4後		2		○						1			
	現代コミュニティ福祉学特別講(コミュニティ政策系)	2・3・4後		2		○						1			
	英語で学ぶ社会問題	2・3・4後		2		○						1			
小計(17科目)	—	0	34	0	—	—	—	0	0	0	3	0	兼5	—	
	コミュニティ福祉とキリスト教	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	少子高齢社会論	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	国際NGO論	1・2・3・4前		2		○			1						
	現代コミュニティ論	1・2・3・4前		2		○				1					
	貧困と格差	1・2・3・4前		2		○			1						
	コミュニティ・ビジネス	1・2・3・4後		2		○				1					
	持続可能な福祉コミュニティ	1・2・3・4前		2		○			1						

専門基礎科目	社会問題の社会学	1・2・3・4前	2		○			1							
	福祉社会学	1・2・3・4後	2		○			1							
	フィールドワーク入門	1・2・3・4後	2		○			1							
	公共空間論	1・2・3・4後	2		○			1							
	地域学への招待	1・2・3・4前	2		○			1							
	コミュニティ開発論	1・2・3・4後	2		○			1							
	地方自治論	1・2・3・4前	2		○			1							
	政策学の基礎知識	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	経営組織論	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	ボランティア・NPO論	1・2・3・4後	2		○			1							
	サービスラーニング論	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	若者政策	1・2・3・4前	2		○				1						
	日本近現代史	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	地域社会と法	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	地域社会と経済	1・2・3・4前	2		○				1						
	地域社会と政治	1・2・3・4前	2		○				1						
	地域社会と労働	1・2・3・4後	2		○			1							
小計 (24科目)	—	0	48	0	—		6	7	0	0	0		兼7	—	
(コミュニティ応用科目専修)	現代キリスト教人間学	2・3・4前	2		○			1							
	いのちの倫理学	2・3・4後	2		○			1							
	生活困窮者支援	2・3・4後	2		○			1							
	日本の文化とコミュニティ	2・3・4後	2		○									兼1	
	公共哲学	2・3・4前	2		○				1						
	コミュニティと福祉	2・3・4前	2		○			1							
	まちづくり論	2・3・4後	2		○				1						
	国際福祉論	2・3・4前	2		○			1							
	社会開発論	2・3・4前	2		○			1							
	Global Society and Local Communities	2・3・4前	2		○									兼1	
	都市と地域	2・3・4前	2		○				1						
	シェアライフ論	2・3・4後	2		○				1						
	社会運動論	2・3・4前	2		○				1						
	いのちの尊厳とジェンダー	2・3・4後	2		○									兼1	
	差別論	2・3・4後	2		○									兼1	
	地球コミュニティ論	2・3・4後	2		○									兼1	
	家族社会学	3・4前	2		○									兼1	
	コミュニティ心理学	3・4前	2		○									兼1	
	国際平和論	3・4後	2		○									兼1	
	ファシリテーション論	3・4後	2		○									兼1	
	比較宗教学	3・4後	2		○									兼1	
	アートとコミュニティ	3・4前	2		○									兼1	
	現代生活学	3・4前	2		○									兼1	
	国際経済論	3・4前	2		○									兼1	
	国際移動論	3・4後	2		○									兼1	
	多文化共生論	3・4前	2		○									兼1	
	自然災害論	3・4後	2		○									兼1	
	村落社会学	3・4前	2		○									兼1	
	地域交通論	3・4後	2		○									兼1	
	現代環境論	3・4後	2		○									兼1	
	地域地理学	3・4後	2		○									兼1	
	ファンドレイジング論	3・4前	2		○									兼1	
	インターンシップ	3・4通	4				○	3						兼2	※演習
コミュニティ学演習2A	4前	2			○		3	4		1					
コミュニティ学演習2B	4後	2			○		3	4		1					
卒業論文	4後	6					3	4		1					
小計 (36科目)	—	0	78	0	—		4	4	0	1	0		兼22	—	
	政策科学	2・3・4後	2		○									兼1	
	地方財政論	2・3・4前	2		○				1						
	コミュニティ人間形成論	2・3・4前	2		○			1							
	福祉経済学	2・3・4後	2		○				1						
	行政学	2・3・4後	2		○									兼1	
	政策過程論	2・3・4後	2		○									兼1	

(専門応用科目)	市民教育論	2・3・4前	2		○										兼1	
	自治体政策論	2・3・4前	2		○			1								
	福祉政治学	2・3・4後	2		○				1							
	パートナーシップ論	2・3・4後	2		○			1								
	社会的連帯経済論	2・3・4前	2		○			1								
	社会教育論	2・3・4前	2		○										兼1	
	政策評価論	2・3・4前	2		○			1								
	コミュニティ・オーガナイズン論	2・3・4前	2		○			1								
	オンブズマンと市民参加口	2・3・4後	2		○					1						
	Introduction to Local Governance	2・3・4後	2		○										兼1	
	福祉制度論	3・4後	2		○										兼1	
	経営戦略論	3・4後	2		○										兼1	
	居住福祉	3・4前	2		○										兼1	
	グローバリゼーション論	3・4前	2		○										兼1	
	協同組合論	3・4前	2		○										兼1	
	NPOマネジメント論	3・4前	2		○										兼1	
	社会思想史	3・4後	2		○										兼1	
	マス・コミュニケーション論	3・4後	2		○										兼1	
	現代資本主義論	3・4後	2		○										兼1	
	ジェンダー政策論	3・4後	2		○										兼1	
	契約と法	3・4前	2		○										兼1	
	政策法務	3・4前	2		○			1								
	地域経営論	3・4後	2		○					1						
	地方自治法	3・4前	2		○			1								
	都市計画論	3・4前	2		○										兼1	
	比較政治経済	3・4後	2		○										兼1	
	インターンシップ	3・4通	4					○	3						兼2	※演習
政策学演習2A	4前	2			○			4	3		1					
政策学演習2B	4後	2			○			4	3		1					
卒業論文	4後	6						4	3		1					
小計(36科目)	—	0	78	0	—			5	3	0	1	0		兼21	—	
自由科目	【専門関連科目】															
	社会学1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	社会学2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	心理学1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	心理学2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	法学1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	法学2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	政治学	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	経済学	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	生涯学習概論1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	生涯学習概論2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	生涯学習支援論1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	生涯学習支援論2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	社会教育経営論1	1・2・3・4前	2		○										兼1	
	社会教育経営論2	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	小計(14科目)	—	0	28	0	—			0	0	0	0	0		兼8	—
		世界史の中のキリスト教	1・2・3・4前	2		○										兼4
思想を生み出すキリスト教		1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
美術の中のキリスト教		1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
音楽の中のキリスト教		1・2・3・4前	2		○										兼2	
文学を生み出すキリスト教		1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
国際社会の中の宗教		1・2・3・4前	2		○										兼4	
現代社会の中の宗教1		1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
現代社会の中の宗教2		1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
人文学からの学び(文学)		1・2・3・4前・後	2		○										兼5	
人文学からの学び(思想・教育)		1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
人文学からの学び(史学)		1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
芸術への扉		1・2・3・4前	2		○										兼4	
グローバル経済社会を考える		1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
社会学からの学び		1・2・3・4前	2		○										兼1	
学びの場としての社会		1・2・3・4前	2		○										兼1	
メディアからみる学び	1・2・3・4前	2		○										兼1		

全学共通科目	学びの精神	法と政治の世界	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		経営学への招待	1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
		現代社会と観光	1・2・3・4前	2		○										兼4	
		現代社会の諸相	1・2・3・4前・後	2		○										兼4	オムニバス
		自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2		○										兼4	
		身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2		○										兼3	
		大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		人権とジェンダー	1・2・3・4前	2		○										兼2	
		ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2		○										兼3	
		西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2		○										兼2	
		キャリアデザイン	1・2・3・4前	2		○										兼3	
		キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2		○										兼4	
		美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2		○										兼4	
		愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2		○										兼2	
		教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2		○										兼1	
		Economy and Society	1・2・3・4前	2		○										兼1	
		University Education in the World	1・2・3・4前	2		○										兼1	集中
多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○										兼1			
Image Studies	1・2・3・4前	2		○										兼1			
GLI01	1・2・3・4前	2		○										兼13			
小計 (40科目)	—	0	82	0	—	—			0	0	0	0	0	0	兼121	—	
全学共通科目	多彩な学び 1 人間の探究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		聖書考古学	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○									兼1		
		現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○									兼3		
		哲学への扉	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○									兼1		
		教育と人間	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○									兼5		
		地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○									兼3		
		多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○									兼3		
		文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○									兼1		
		点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼1		
		スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼1		
		朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		
		現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		立教ゼミナール1	1・2・3・4前・後	2		○		○							兼3		
		立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2		○		○							兼4		
睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○									兼2	オムニバス			
ボランティア論	1・2・3・4前	2		○									兼2	オムニバス			
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○									兼6	オムニバス			
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○									兼2				
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○									兼1				
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○									兼2				
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○									兼1				
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○									兼3	オムニバス			
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○									兼1				
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○									兼2				
World History	1・2・3・4前・後	4		○									兼1				
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○									兼1				
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○									兼1				
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○									兼1				
小計 (46科目)	—	0	94	0	—	—			0	0	0	0	0	0	兼84	—	
全学共通科目		入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○									兼3		
		統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		法と社会	1・2・3・4前・後	2		○									兼2		

全学共通科目	多様な学び 2 社会への視点	政治と社会	1・2・3・4後	2	○							兼2	
		グローバル社会における法と政治	1・2・3・4前・後	2		○							兼3
		現代のビジネスを学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○							兼3
		企業と社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼3
		現代社会と環境	1・2・3・4後	2		○							兼1
		情報と倫理	1・2・3・4前	2		○							兼1
		メディアと人間	1・2・3・4後	2		○							兼1
		文化と社会	1・2・3・4後	2		○							兼1
		現代社会の解説	1・2・3・4後	2		○							兼1
		いのちの尊厳と福祉を考える	1・2・3・4前	2		○							兼1
		コミュニティをデザインする	1・2・3・4前・後	2		○					1		兼2
		観光学への誘い	1・2・3・4後	2		○							兼2
		異文化コミュニケーションを考える	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		シティズンシップを考える	1・2・3・4後	2		○							兼2
		デモクラシーとリベラルアーツ	1・2・3・4後	2		○							兼1
		大学と現代社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		世界の中のロシア	1・2・3・4後	2		○							兼1
		ドイツ語圏の社会	1・2・3・4後	2		○							兼2
		フランス語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼1
		スペイン語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		中国語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼1
		朝鮮語圏の社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		社会調査入門	1・2・3・4前	2		○							兼1
		社会調査の技法	1・2・3・4後	2		○							兼1
		データ分析入門	1・2・3・4前	2		○							兼1
		データの科学	1・2・3・4後	2		○							兼1
		多変量解析入門	1・2・3・4後	2		○							兼1
		Introduction to Statistics 1	1・2・3・4前	2		○							兼2
		Introduction to Statistics 2	1・2・3・4後	2		○							兼2
		国際情勢を読み解く	1・2・3・4前	2		○							兼1
		パレスチナ問題の歴史と現在	1・2・3・4後	2		○							兼1
		立教ゼミナール2	1・2・3・4前・後	2				○			1		兼5
		立教ゼミナール発展編 2	1・2・3・4前・後	2				○					兼5
		RSLゼミナール	1・2・3・4後	2				○					兼1
		Nativeと学ぶ社会開発	1・2・3・4後	2		○					1		兼1
		立教OBOGの「社長の履歴書」	1・2・3・4後	2		○							兼3
		グローバルシティ・ソウルを読み解く	1・2・3・4後	2		○							兼3
		社会を変える：人を繋ぎ、時間を繋ぐ市民の営み	1・2・3・4後	2		○							兼3
		SDGs×AI×経済×法	1・2・3・4前	2		○							兼2
		SDGsとグローバルの可能性	1・2・3・4前	2		○							兼3
		世界経済と日本	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		日本国憲法	1・2・3・4前・後	2		○							兼3
		近代日本社会と人権	1・2・3・4前・後	2		○							兼2
		日本の「多文化」政策を問い直す	1・2・3・4後	2		○							兼1
		Modern Japanese History 1	1・2・3・4前	2				○					兼1
		Modern Japanese History 2	1・2・3・4前	2				○					兼1
		Japanese Politics and Economy 1	1・2・3・4前	2				○					兼1
Japanese Politics and Economy 2	1・2・3・4後	2				○					兼1		
Japanese Relations in Asia 1	1・2・3・4前	2				○					兼1		
Japanese Relations in Asia 2	1・2・3・4後	2				○					兼1		
Japanese Society 1	1・2・3・4後	2				○					兼2		
Japanese Society 2	1・2・3・4後	2				○					兼1		
Tokyo Studies	1・2・3・4前・後	2				○					兼2		
Saitama Studies	1・2・3・4後	2				○					兼1		
Humans and Other Animals	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Food Cultures and the Acceptance of Japanese Food in the World	1・2・3・4後	2		○							兼1		
Political Sociology	1・2・3・4前	4		○							兼1		
Economic Thought	1・2・3・4後	4		○							兼1		
University in Modern Society	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Career and University Education in the Global World	3・4前	2		○							兼1		
Business Communication	1・2・3・4後	2				○					兼1		
Global and Japanese Political Economy 1	1・2・3・4後	2		○							兼1		
Global and Japanese Political Economy 2	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Introduction to Multivariate Analysis	1・2・3・4後	2		○							兼1		
Introduction to Sociology	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Introduction to the Social Survey	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Introduction to Tourism Studies	1・2・3・4前・後	2		○							兼2		
Japanese Society and Culture 1	1・2・3・4前	2		○							兼1		
Japanese Society and Culture 2	1・2・3・4後	2		○							兼1		
Knowledge and Society 1	1・2・3・4前・後	1		○							兼1		
Knowledge and Society 2	1・2・3・4前・後	1		○							兼1		
Learning and Teaching Today 1	1・2・3・4前	1		○							兼1		
Learning and Teaching Today 2	1・2・3・4前	1		○							兼1		
SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	1・2・3・4後	2		○							兼1		

		Selected Topics in Intercultural Communication	1・2・3・4前	2			○									兼1
		The Dignity of Life and Welfare	1・2・3・4後	2												兼1
		台湾から世界を考える	1・2・3・4前	2			○									兼2
		翻訳・通訳と現代社会	1・2・3・4後	2			○									兼2
		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2			○									兼2
		地域学への招待	1・2・3・4後	2			○					2				
		小計 (84科目)	—	0	168	0	—				2	3	0	0	0	兼112
全学 共通科目	多彩な 学び 3 芸術・文化への招待	文学への扉	1・2・3・4前	2			○									兼5
		表象文化	1・2・3・4前・後	2			○									兼6
		美術の歴史	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		美術と社会	1・2・3・4後	2				○								兼3
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		音楽と社会	1・2・3・4後	2				○								兼3
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2					○							兼3
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2				○								兼2
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2				○								兼2
		都市と芸術	1・2・3・4後	2				○								兼1
		建築と文化	1・2・3・4後	2				○								兼1
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2				○								兼2
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		立教ゼミナール3	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2					○							兼1
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		日本の演劇	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2					○							兼1		
Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2				○								兼1		
Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2				○								兼1		
Literature and Society	1・2・3・4後	4				○								兼1		
Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4				○								兼1		
Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2				○								兼1		
Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2				○								兼1		
The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1				○								兼1		
The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1				○								兼1		
観光と文学	1・2・3・4後	2				○								兼3		
小計 (36科目)	—	0	74	0	—				0	0	0	0	0	0	兼60	
全学 共通科目	多彩な 学び 4 心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		心の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		パーソナリティの心理	1・2・3・4後	2				○								兼3
		対人関係の心理	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		心の健康	1・2・3・4前	2				○								兼2
		身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		ストレスマネジメント	1・2・3・4前	2				○								兼2
		癒しの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		健康の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		栄養の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツとメディア	1・2・3・4後	2				○								兼2
		スポーツと社会	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツと文化	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前	2				○								兼1
		アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		立教ゼミナール4	1・2・3・4後	2					○							兼2
		立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後	2					○							兼4
		Japanese Mind	1・2・3・4前	2				○								兼1
Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後	2				○								兼1		
Health and Wellness	1・2・3・4後	4				○								兼1		
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後	1				○								兼1		
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後	1				○								兼1		
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前	2				○								兼1		
小計 (25科目)	—	0	50	0	—				0	0	0	0	0	0	兼39	
		数学の世界	1・2・3・4前・後	2			○									兼4
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼4
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼5
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2				○								兼3

全学 共通科目	多 彩 な 学 び 5 自 然 の 理 解	化学と自然	1・2・3・4前・後	2	○								兼3	
		行動の科学	1・2・3・4後	2	○								兼2	
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2	○								兼3	
		情報科学A	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		生物の多様性	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		地球環境の未来	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
		脳と心	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
		宇宙から地球の未来を考える	1・2・3後	2	○								兼1	
		立教ゼミナル5	1・2・3・4後	2	○	○							兼1	
		Science Studies	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4	○								兼1	
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2	○								兼2	オムニバス
小計(28科目)	—	0	56	0	—			0	0	0	0	0	兼48	—
全学 共通科目	多 彩 な 学 び 6 知 識 の 現 場	GL111	1・2・3・4後	2	○								兼2	
		GL102	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		GL103	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		GL201	1・2・3・4後	2	○								兼2	
		GL202	1・2・3・4前	2	○								兼2	
		GL301	1・2・3前・後	2	○	○							兼1	集中
		GL302	1・2・3前	2	○	○							兼1	
		グローバル共通教養総論	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		ソリューション・アプローチ(開発経済)	2・3・4前	2	○	○							兼1	
		ソリューション・アプローチ(強制移転・移住)	2・3・4前	2	○	○							兼1	
		グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後	2	○	○							兼1	
		ソリューション・アプローチ(人道支援)	2・3・4後	2	○	○							兼1	
		ソリューション・アプローチ(紛争と平和)	2・3・4後	2	○	○							兼1	
		アクティブ・リサーチ	2・3・4後	2	○								兼1	
		国連ユースボランティア	1・2・3・4後	12	○	○							兼1	
		陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前	2	○	○							兼2	
		海外インターンシップ1	1・2・3後	1	○	○							兼1	集中
		海外インターンシップ2	1・2・3後	2	○	○							兼1	集中
		国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後	1	○	○							兼1	
		国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後	2	○	○							兼1	
		RSLーコミュニティ(埼玉)	1・2・3・4後	2	○	○							兼1	
RSLーコミュニティ(池袋)	1・2・3・4後	2	○	○							兼1			
RSLーローカル(南魚沼)	1・2・3・4後	2	○	○							兼1			
RSLーグローバルA	1・2・3・4後	2	○	○							兼1			
RSLーグローバルB	1・2・3・4後	2	○	○							兼1			
RSLーローカル(地域共生)	1・2・3・4前	2	○	○							兼1			
小計(26科目)	—	0	60	0	—			0	0	0	0	0	兼17	—
全学 共通科目	多 彩 な 学 び ス ポ ー ツ	スポーツプログラム1(バドミントン)	1・2・3・4前・後	1	○								兼2	
		スポーツプログラム1(はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1	○								兼2	
		スポーツプログラム1(ダンス(初級))	1・2・3・4前・後	1	○								兼1	
		スポーツプログラム2(トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1	○								兼1	
		スポーツプログラム3(卓球)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		スポーツプログラム3(バスケットボール)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		スポーツプログラム3(バレーボール)	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		スポーツプログラム3(フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		スポーツプログラム3(アルティメット)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		スポーツスタディ1(レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼5	
		スポーツスタディ1(太極拳)	1・2・3・4前・後	2	○								兼2	
		スポーツスタディ1(日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(クライミング)	1・2・3・4前・後	2	○								兼3	
		スポーツスタディ1(バドミントン)	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(アダプテッドスポーツ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(はじめての柔道(日本語))	1・2・3・4前	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(はじめての柔道(英語))	1・2・3・4後	2	○								兼1	
		スポーツスタディ1(ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
		スポーツスタディ2(トレーニング)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
スポーツスタディ2(ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1			
スポーツスタディ2(ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼2			
スポーツスタディ2(東洋のフィットネス)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1			
スポーツスタディ2(ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2	○								兼2			
スポーツスタディ2(セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2	○								兼2			

ロ グ ラ ム	スポーツスタディ2 (ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (フットサル)	1・2・3・4前・後	2						○									兼4	
	スポーツスタディ3 (フットサル (インドア))	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (初心者向けサッカー・フットサル&フィットネス)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (テニス)	1・2・3・4前・後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ3 (ブラインドサッカー)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (ゴルフ)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (卓球)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (バスケットボール)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (ソフトボール)	1・2・3・4前	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (ゴルフ)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (馬術)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (スキーB)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (はじめての和太鼓)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
スポーツスタディe	1・2・3・4前・後	2						○									兼2		
小計 (42科目)	—	0	75	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼44	—
(必 修 言 語 A ／ 英 語)	英語ディスカッション	1前	1						○									兼135	
	英語ディベート	1後	1						○									兼101	
	英語リーディング&ライティング1 (R)	1前	1						○									兼110	
	英語リーディング&ライティング2 (W)	1後	1						○									兼115	
	英語eラーニング	1前	1						○									兼31	
	英語プレゼンテーション	1後	1						○									兼97	
	上級英語1 (リーディング&ライティング)	1前	2						○									兼31	
	上級英語2 (プロジェクト英語)	1後	2						○									兼31	
小計 (8科目)	—	10	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼170	—
(必 修 言 語 B ／ ド イ ツ 語)	ドイツ語基礎1	1前	2						○									兼13	
	ドイツ語基礎2	1後	2						○									兼14	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼14	—
(必 修 言 語 B ／ フ ラ ン ス 語)	フランス語基礎1	1前	2						○									兼13	
	フランス語基礎2	1後	2						○									兼13	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼13	—
(必 修 言 語 B ／ ス ペ イ ン 語)	スペイン語基礎1	1前	2						○									兼21	
	スペイン語基礎2	1後	2						○									兼21	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼21	—
(必 修 言 語 B ／ 中 国 語)	中国語基礎1	1前	2						○									兼24	
	中国語基礎2	1後	2						○									兼24	



科目																				
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—					0	0	0	0	0	0	0	0	兼24	—
(必修科目 言語B / 朝鮮語)	朝鮮語基礎 1	1前	2						○										兼19	
	朝鮮語基礎 2	1後	2						○										兼19	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—					0	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—
(必修科目 言語B / ロシア語)	ロシア語基礎 1	1前	2						○										兼3	
	ロシア語基礎 2	1後	2						○										兼3	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—					0	0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
(必修科目 日本語)	大学生の日本語 A	1前	1						○										兼7	
	大学生の日本語 B	1前	1						○										兼7	
	大学生の日本語 C	1後	1						○										兼8	
	大学生の日本語 D	1後	1						○										兼8	
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—					0	0	0	0	0	0	0	0	兼16	—
自由科目 英語)	English Intensive A (Global World)	2・3・4前		4					○										兼5	
	English Intensive B (Academic Language Skills)	2・3・4前		4					○										兼4	
	English Intensive C (Integrated Language Skills)	2・3・4後		4					○										兼5	
	English Intensive D (Intercultural Understanding)	2・3・4後		4					○										兼5	
	Intercultural Studies	2・3・4前		2					○										兼1	
	Self-directed and Reflective Language Learning	2・3・4前		2					○										兼1	
	小計 (6科目)	—	0	20	0	—					0	0	0	0	0	0	0	0	兼18	—
自由科目 英語)	English Communication 1	2・3・4前・後		4					○										兼8	
	English Communication 2	2・3・4前・後		4					○										兼7	
	Pleasure Reading	2・3・4前		2					○										兼2	
	Speech	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Debate	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Presentation	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Current English 1 (reading)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Current English 2 (reading)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Current English 1 (listening)	2・3・4前・後		2					○										兼4	
	Current English 2 (listening)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Japanese Studies through English	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Language and History	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies A	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies B	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies C	2・3・4前		2					○										兼1	
	World Cultures	2・3・4後		2					○										兼1	
	World Heritage Sites	2・3・4前		2					○										兼1	
English through Dramas	後		2					○										兼1		
Advertisement English	2・3・4後		2					○										兼1		
English through Movies D	2・3・4後		2					○										兼1		

ル / コ ー ス	English through Movies E	2・3・4後		2				○								兼1	
	English through Movies F	2・3・4後		2				○								兼1	
	Introduction to Global Studies A:Humanities	2・3・4前		2				○								兼1	
	Introduction to Global Studies B:Social Science	2・3・4前		2				○								兼1	
	Introduction to Global Studies B:Natural Science	2・3・4前		2				○								兼1	
	Multimodal Communication in English Business Speaking	2・3・4前		2				○								兼1	
	Current News through English Media	2・3・4前		2				○								兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後		2				○								兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後		2				○								兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	IELTS	2・3・4前		2				○								兼2	
	小計 (39科目)	—		0	82	0		—		0	0	0	0	0	0	兼63	—
モ ジ ユ ー ル / コ ー ス ア ド バ ン ス ト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前		4				○								兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前		4				○								兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後		4				○								兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後		4				○								兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後		4				○								兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後		4				○								兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後		2				○								兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後		2				○								兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後		2				○								兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後		2				○								兼1	
	CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後		2				○								兼1	
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前		2				○								兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後		2				○								兼1		
小計 (16科目)	—		0	44	0		—		0	0	0	0	0	0	兼24	—	
モ ジ ユ ー ル / コ ー ス オ ナ ー ズ ・	University Lecture A	2・3・4前		2				○								兼1	
	University Lecture C	2・3・4前		2				○								兼1	
小計 (2科目)	—		0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—	
（ イ ン テ ル ナ シ ョ ン ・ 研 修 モ ジ ユ ー ル / コ ー ス	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前		2				○								兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前		1				○								兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後		3				○								兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後		3				○								兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前		2				○								兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後		1				○								兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後		3				○								兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後		1				○								兼2	集中
	オンライン海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後		1				○								兼2	集中

	小計 (9科目)	—	0	17	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼11	—
基礎自由学 科目共通 科目群 (ドイツ語 中級レベル)	ドイツ語中級1	2・3・4前		2				○							兼8	共同 共同
	ドイツ語中級2	2・3・4後		2				○							兼7	
	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前		1				○							兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前		1				○							兼2	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後		1				○							兼3	
	ドイツ語スタンダード4	2・3・4後		1				○							兼2	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼12	—
コア自由学 科目共通 科目群 (ドイツ語 上級レベル)	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後		2				○							兼2	
	ドイツ語総合B1 (1)	2・3・4前		2				○							兼1	
	ドイツ語総合B1 (2)	2・3・4後		2				○							兼1	
	小計 (10科目)	—	0	20	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼7	—
ドイツ語 入門科目 (ドイツ語 系科目)	基礎ドイツ語入門	2・3・4前		2				○							兼6	
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後		2				○							兼6	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—
海外自由学 科目共通 科目群 (ドイツ語 文化研修 系科目)	ドイツ語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	ドイツ語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2				○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎自由学 科目共通 科目群 (フランス語 中級レベル)	フランス語中級1	2・3・4前		2				○							兼6	共同 共同
	フランス語中級2	2・3・4後		2				○							兼6	
	フランス語スタンダード1	2・3・4前		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード2	2・3・4前		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード3	2・3・4後		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード4	2・3・4後		1				○							兼2	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼8	—
コア自由学 科目共通 科目群 (フランス語 上級レベル)	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○							兼1	
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○							兼1	
	上級フランス語演習1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語演習2	2・3・4後		2				○							兼2	

目																			
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—						0	0	0	0	0	0	兼5	—
情報処理論 (中級レベル)	言語情報処理論 (フランス語)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—						0	0	0	0	0	0	兼1	—
フランス語入門科目	基礎フランス語入門	2・3・4前		2					○									兼6	
フランス語入門科目	基礎フランス語初級	2・3・4後		2					○									兼6	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—						0	0	0	0	0	0	兼6	—
海外言語文化研修	フランス語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
海外言語文化研修	フランス語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○									兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—						0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語中級1	2・3・4前		2					○									兼8	共同
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語中級2	2・3・4後		2					○									兼8	共同
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語スタンダード1	2・3・4前		1					○									兼4	
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語スタンダード2	2・3・4前		1					○									兼3	
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語スタンダード3	2・3・4後		1					○									兼3	
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語スタンダード4	2・3・4後		1					○									兼3	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—						0	0	0	0	0	0	兼13	—
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語ライティング1	2・3・4前		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語ライティング2	2・3・4後		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語演習1	2・3・4前		2					○									兼2	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語演習2	2・3・4後		2					○									兼2	
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—						0	0	0	0	0	0	兼6	—
処理論 (中級レベル)	言語情報処理論 (スペイン語)	1・2・3・4前・後		2					○									兼2	

言語系科目 （スペイン語） 言語情報																			
	小計（1科目）	—	0	2	0	—												兼2	—
自由学 （スペイン語） 言語系科目 （入門科目）	基礎スペイン語入門	2・3・4前		2						○								兼9	
	基礎スペイン語初級	2・3・4後		2						○								兼9	
小計（2科目）	—	0	4	0	—													兼9	—
自由学 （スペイン語） 言語系科目 （文化研修科目）	スペイン語海外言語文化研修（中級）	1・2・3後		2						○								兼1	
	スペイン語海外言語文化研修（上級）	2・3後		2						○								兼1	
小計（2科目）	—	0	4	0	—													兼1	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （基礎レベル）	中国語中級1	2・3・4前		2						○								兼4	
	中国語中級2	2・3・4後		2						○								兼4	
	中国語スタンダード1	2・3・4前		1						○								兼4	
	中国語スタンダード2	2・3・4前		1						○								兼4	
	中国語スタンダード3	2・3・4後		1						○								兼4	
	中国語スタンダード4	2・3・4後		1						○								兼4	
小計（6科目）	—	0	8	0	—													兼10	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （上級レベル）	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前		2						○								兼1	
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後		2						○								兼1	
	上級中国語ライティング1	2・3・4前		2						○								兼1	
	上級中国語ライティング2	2・3・4後		2						○								兼1	
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2						○								兼2	
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2						○								兼2	
	上級中国語演習1	2・3・4前		2						○								兼2	
	上級中国語演習2	2・3・4後		2						○								兼2	
小計（8科目）	—	0	16	0	—													兼2	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （言語情報）	言語情報処理論（中国語）	1・2・3・4前・後		2						○								兼2	
	小計（1科目）	—	0	2	0	—												兼2	—

中国語入門科目 （中国語）	基礎中国語入門	2・3・4前	2					○							兼5	
	基礎中国語初級	2・3・4後	2					○							兼5	
小計（2科目）		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼5	—
海外言語文化研修 科目 （中国語）	中国語海外言語文化研修（中級）	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春（中級）	1・2・3後	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修（上級）	2・3・4前	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春（上級）	2・3後	2					○							兼1	
小計（4科目）		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎科目群 （朝鮮語） （中級レベル）	朝鮮語中級1	2・3・4前	2					○							兼6	共同
	朝鮮語中級2	2・3・4後	2					○							兼6	共同
	朝鮮語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼3	
	朝鮮語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼2	
	朝鮮語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼3	
朝鮮語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼3		
小計（6科目）		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼12	—
コア科目群 （朝鮮語） （上級レベル）	上級朝鮮語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計（8科目）		—	0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
処理論 （中級レベル）	言語情報処理論（朝鮮語）	1・2・3・4後	2					○							兼2	
	小計（1科目）	—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	0	兼2	—
朝鮮語入門科目 （朝鮮語）	基礎朝鮮語入門	2・3・4前	2					○							兼9	
	基礎朝鮮語初級	2・3・4後	2					○							兼9	

	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	○	0	0	0	0	0	0	兼9	—
海外自由学 言語文化 研修	朝鮮語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	朝鮮語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2				○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
自由学 科目 目 (ロシア 語)	ロシア語セミナーA	2・3・4前		1				○							兼1	
	ロシア語セミナーB	2・3・4後		1				○							兼1	
	ロシア語セミナーC	2・3・4前		1				○							兼1	
	ロシア語セミナーD	2・3・4後		1				○							兼1	
	ロシア語セミナー1	2・3・4前		1				○							兼1	
	ロシア語セミナー2	2・3・4後		1				○							兼1	
	小計 (6科目)	—	0	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
基礎自由学 からの ロシア 語	基礎ロシア語入門	2・3・4前		2				○							兼3	
	基礎ロシア語初級	2・3・4後		2				○							兼3	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
(自由学 科目 目 (ポルト ガル 語))	ポルトガル語3	2・3・4前		1				○							兼1	
	ポルトガル語4	2・3・4後		1				○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
入門自由学 レベル (日本 手話)	日本手話 1	1・2・3・4前		1				○							兼3	共同
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
初級自由学 レベル (日本 手話)	日本手話 2	1・2・3・4後		1				○							兼3	共同
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—

中級レベル	自学科目 日本語系科目	日本語 3	1・2・3・4前	1				○							兼3	共同	
		日本語 4	1・2・3・4後	1				○							兼3	共同	
小計 (2科目)		—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	0	兼3	—	
自由科目 日本語系科目	自学科目 日本語系科目	日本の社会と文化A	2・3・4前	2				○							兼1		
		日本の社会と文化B	2・3・4後	2				○							兼1		
		日本の社会と文化C	2・3・4後	2				○							兼1		
		社会の中の日本語A	2・3・4前	2				○							兼1		
		社会の中の日本語B	2・3・4後	2				○							兼1		
		論文読解の技法	2・3・4前	2				○							兼2		
		論文作成の技法	2・3・4後	2				○							兼2		
		キャリアの日本語A	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		キャリアの日本語B	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後	2				○							兼2		
		ビジネスメールと文書	2・3・4前・後	2				○							兼2		
小計 (12科目)		—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	0	兼14	—	
NEXUS 言語教育科目	立教フリースタイル プログラム	NEXUS日本語A	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語B	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語C	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語D	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語E	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語F	1後	1				○							兼3		
		NEXUS日本語G	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語H	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語I	1後	1				○							兼2		
		NEXUS日本語J	1後	1				○							兼1		
		小計 (10科目)		—	10	0	0	—			0	0	0	0	0	0	兼9
		日本史1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		日本史2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		外国史1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		外国史2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		地理学1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		地理学2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		地誌学	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		【再掲】法学1	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】法学2	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】政治学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】コミュニティ政策学入門	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】生活困窮者支援	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】自治体政策論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会開発論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】政策科学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】地方財政論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】地方自治論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】福祉制度論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会学1	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会学2	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】経済学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】コミュニティ・ビジネス	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】パートナーシップ論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】リサーチ・デザイン	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】データ分析入門	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】多文化共生論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】現代コミュニティ論	—	—	—	—	—	—	—								





【再掲】情報処理2	-	-	-	-	-	-	-	-							
【再掲】情報処理3	-	-	-	-	-	-	-	-							
【再掲】情報処理4	-	-	-	-	-	-	-	-							
小計(89科目/うち初出26科目)	-	0	0	55	-	-	-	-	0	0	0	0	0	兼44	-
合計(722科目)	-	58	1324	55	-	-	-	-	7	7	0	3	0	兼886	-
学位又は称号	学士(コミュニティ政策学)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科コミュニティ学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目(共通)を10単位、専門必修科目(コミュニティ専修)を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目(コミュニティ専修)から28単位以上を修得する必要がある。</p> <p>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。</p> <p>なお、専門必修科目(共通)のうち、コミュニティ学演習1A・B(政策学演習1A・B)、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。</p> <p>(履修科目の登録の上限：48単位(年間))</p> <p>コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科政策学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目(共通)を10単位、専門必修科目(政策専修)を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目(政策専修)から28単位以上を修得する必要がある。</p> <p>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。</p> <p>なお、専門必修科目(共通)のうち、政策学演習1A・B(コミュニティ学演習1A・B)、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。</p> <p>(履修科目の登録の上限：48単位(年間))</p>							1学年の学期区分				2期				
							1学期の授業期間				14週				
							1時限の授業時間				100分				

教育課程等の概要																
(スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門必修科目	基礎演習(学びの技法を含む)	1前	2					○		10	6				兼4 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス	
	スポーツウエルネス学入門	1前	2				○			10	6					
	スポーツマンシップ論	1前	2				○				1					
	スポーツリーダーシップ論	1後	2				○				1					
	スポーツウエルネスワークショップA	1後	2					○		3	3					
	スポーツウエルネスワークショップB	2前	2					○		4	1					
	スポーツウエルネスワークショップC	2後	2					○		3	2					
小計(7科目)	—	—	14	0	0			—	10	6				兼4	—	
卒業研究科目	卒業研究指導演習(ベーシックコース)	4通		4				○		10	5					
	卒業研究指導演習(アドバンスコース)	4通		10				○		10	5					
	小計(2科目)	—	—	0	14	0		—	10	5	0	0	0		—	
専門基礎科目	運動方法学演習1	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習2	1・2・3・4前		2				○		1					※演習	
	運動方法学演習3	1・2・3・4後		2				○		1					※演習	
	運動方法学演習4	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習5	1・2・3・4休		2				○							兼2 集中・共同 ※演習	
	運動方法学演習6	1・2・3・4休		2				○			1				兼1 集中・共同 ※演習	
	運動方法学演習7	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習8	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習9	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習10	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習11	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習12	1・2・3・4後		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習13	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習14	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習15	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	運動方法学演習16	1・2・3・4前		2				○							兼1 ※演習	
	情報処理1	1・2・3・4前		2					○							兼1
	情報処理2	1・2・3・4後		2					○							兼1
	異文化スタディ	1・2・3・4休		2			○				1					集中
	キャリア形成論	1・2・3・4後		2			○									兼1
	ウエルネス科学総論	1・2・3・4後		2			○			1						
	スポーツ科学総論	1・2・3・4後		2			○			1						
	運動方法学	1・2・3・4後		2			○									兼1
	生涯スポーツ論	1・2・3・4後		2			○									兼1
	運動生理学	1・2・3・4後		2			○			1						
	生理学	1・2・3・4前		2			○			1						
	運動処方・療法	1・2・3・4後		2			○									兼1
	解剖学1	1・2・3・4前		2			○									兼1
	解剖学2	1・2・3・4後		2			○									兼1
	アスレティックトレーナーの役割	1・2・3・4前		2			○				1					
	ウエルネスと時間生物学	1・2・3・4後		2			○									兼1
ウエルネス理解のための基礎生命科学	1・2・3・4前		2			○			1							
環境・サステイナビリティ論	1・2・3・4前		2			○				1						
ウエルネス理解のための細胞生物学	1・2・3・4後		2			○			1							
抗加齢医学とウエルネス	1・2・3・4前		2			○									兼1	
体育原理・体育史	1・2・3・4前		2			○									兼1	
スポーツ教育論	1・2・3・4後		2			○									兼1	

	データサイエンス概論	1・2・3・4後		2		○			1											
	小計 (38科目)	—	0	76	0	—			5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	兼22	—
専門 基幹 科目	身体文化論	2・3・4前		2		○													兼1	
	発育・発達・加齢論	2・3・4後		2		○			1											
	スポーツウエルネス心理学 (基礎)	2・3・4前		2		○			1											
	ストレンクス・コンディショニング論 (基礎)	2・3・4前		2		○													兼1	
	運動・スポーツ栄養学 (基礎)	2・3・4前		2		○			1											
	スポーツ社会学	2・3・4後		2		○			1											
	測定評価演習	2・3・4後		2				○											兼1	※演習
	アダプテッド・スポーツ論	2・3・4前		2		○													兼1	
	ダイバーシティ・スポーツ論	2・3・4前		2		○			1											
	スポーツ政策	2・3・4前		2		○													兼1	
	健康政策	2・3・4前		2		○													兼1	
	スポーツコーチ学	2・3・4後		2		○			1											
	コーチングスキル	2・3・4後		2		○													兼1	
	スポーツ・健康産業論	2・3・4後		2		○													兼1	
	コンディショニングの実際	2・3・4後		2				○		1										
	コンディショニング概論	2・3・4前		2		○				1										
	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング概論	2・3・4後		2		○													兼1	
	測定と評価	2・3・4前		2				○											兼1	
	スポーツ医学 (外傷・障害) 1	2・3・4前		2		○				1										
	スポーツ医学 (外傷・障害) 2	2・3・4後		2		○				1										
	コンディショニングの方法	2・3・4後		2				○			1									
	アスレティックリハビリテーション実習 1	2・3・4後		2					○										兼1	※演習
	スポーツと法	2・3・4後		2		○													兼1	
	生物多様性と人間社会	2・3・4後		2		○					1									
	応用生命科学	2・3・4後		2		○				1										
	学校保健・学校安全	2・3・4前		2		○													兼1	
スポーツデータ収集演習	2・3・4前		2					○		1									※演習	
インターンシップ	2・3・4通		4					○	1										※演習	
インターンシップ実習 1	2・3・4前		2					○		1									※演習	
インターンシップ実習 2	2・3・4後		2					○										兼1	※演習	
小計 (30科目)	—	0	62	0	—				8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	兼11	—
専門 展開 科目	レクリエーション援助論	3・4前		2		○													兼1	
	レクリエーション援助演習	3・4後		2				○											兼1	※演習
	メンタルマネジメント	3・4前		2		○			1											
	スポーツジャーナリズム	3・4前		2		○													兼1	
	バイオメカニクス	3・4前		2		○				1										
	スポーツ倫理学	3・4前		2		○													兼1	
	ウエルネスプロモーション論	3・4後		2		○			1											
	スポーツビジネス論	3・4前		2		○				1										
	スポーツマネジメント論	3・4前		2		○				1										
	コミュニティスポーツ論	3・4後		2		○				1										
	障害者スポーツ論	3・4前		2		○													兼1	
	小児保健・精神保健	3・4前		2		○													兼1	
	公衆衛生学	3・4前		2		○													兼1	
	ユニバーサルスポーツ援助技術演習	3・4後		2					○	1										※演習
	健康運動指導演習	3・4後		2					○										兼1	※演習
	障害者スポーツ実践論	3・4前		2					○										兼1	※演習
	リハビリテーション論	3・4後		2		○													兼1	
	スポーツコーチング演習	3・4後		2					○	1										※演習
	専門演習 1	3・4前		2				○		10	5									
	専門演習 2	3・4後		2				○		10	5									
	スポーツコーチング特論	3・4休		2		○					1								兼4	集中・ オムニバス
	動作分析法演習	3・4前		2					○		1									※演習
ダイバーシティ・スポーツ演習	3・4後		2				○		1											
生活習慣病の科学	3・4前		2		○													兼1		
運動処方・療法演習	3・4前		2					○										兼1	※演習	
スポーツウエルネス心理学 (応用)	3・4後		2		○				1											



六 通 科 目	の 精 神	自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	オムニバス	
		身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○			2	1						
		現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2		○									兼3	
		大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		人権とジェンダー	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		キャリアデザイン	1・2・3・4前	2		○									兼3	
		キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2		○									兼4	
		美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2		○									兼4	
		愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		Economy and Society	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		University Education in the World	1・2・3・4前	2		○									兼1	集中
		多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○									兼1	
		Image Studies	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		GL101	1・2・3・4前	2			○								兼13	
小計 (40科目)	—	0	82	0	—			2	1	0	0	0	兼118	—		
全 学 共 通 科 目	多 彩 な 学 び 1 人 間 の 探 究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○								兼3		
		聖書考古学	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		哲学への扉	1・2・3・4前	2		○								兼2		
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		教育と人間	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼5		
		地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○								兼2		
		フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○									兼1	
立教ゼミナール 1	1・2・3・4前・後	2			○								兼3			
立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2			○								兼4			
睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○									兼2	オムニバス		
ボランティア論	1・2・3・4前	2		○									兼2	オムニバス		
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○									兼6	オムニバス		
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○									兼2			
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○									兼1			
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○									兼2			
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○									兼1			
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○				1					兼2	オムニバス		
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○									兼1			
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○									兼2			
World History	1・2・3・4前・後	4		○									兼1			
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○									兼1			
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○									兼1			
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○									兼1			
小計 (46科目)	—	0	94	0	—			1	0	0	0	0	兼83	—		
		入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		法と社会	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		政治と社会	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		グローバル社会における法と政治	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		現代のビジネスを学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
企業と社会	1・2・3・4前・後	2		○								兼3				



		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		地域学への招待	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		小計 (84科目)	—	0	168	0	—			0	0	0	0	0	兼117 —	
全学共通科目	多彩な学び 3 芸術・文化への招待	文学への扉	1・2・3・4前	2		○									兼5	
		表象文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼6	
		美術の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		美術と社会	1・2・3・4後	2		○									兼3	
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		音楽と社会	1・2・3・4後	2		○									兼3	
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2				○							兼3	
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2				○							兼2	
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		都市と芸術	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		建築と文化	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		立教ゼミナール3	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2				○								兼1
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2		○										兼2
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2		○										兼1
		日本の演劇	1・2・3・4後	2				○								兼1
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2				○								兼1
Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2		○										兼1		
Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2		○										兼1		
Literature and Society	1・2・3・4後	4		○										兼1		
Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4		○										兼1		
Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2		○										兼1		
Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2		○										兼1		
The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1		○										兼1		
The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1		○										兼1		
観光と文学	1・2・3・4後	2		○										兼3		
小計 (36科目)	—	0	74	0	—					0	0	0	0	0	兼60 —	
全学共通科目	多彩な学び 4 心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		心の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		パーソナリティの心理	1・2・3・4後	2		○									兼3	
		対人関係の心理	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		心の健康	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		ストレスマネジメント	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		癒しの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		健康の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		栄養の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		スポーツとメディア	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		スポーツと社会	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		スポーツと文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前	2		○										兼1
		アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○										兼1
		立教ゼミナール4	1・2・3・4後	2				○			1					兼1
		立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後	2				○			1					兼3
		Japanese Mind	1・2・3・4前	2		○										兼1
Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後	2		○										兼1		
Health and Wellness	1・2・3・4後	4		○										兼1		
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後	1		○										兼1		
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後	1		○										兼1		
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前	2		○					1					兼1		
小計 (25科目)	—	0	50	0	—				3	0	0	0	0	0	兼36 —	
全学共通科目		数学の世界	1・2・3・4前・後	2		○									兼4	
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼4	
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼5	
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		化学と自然	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		行動の科学	1・2・3・4後	2		○									兼2	
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2		○										兼3



全学共通科目	多彩な学び 5 自然の理解	情報科学A	1・2・3・4前・後	2		○											兼2	
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		生物の多様性	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		地球環境の未来	1・2・3・4前	2		○												兼1
		自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		脳と心	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2		○												兼1
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		宇宙から地球のみらいを考える	1・2・3後	2		○												兼1
		立教ゼミナール5	1・2・3・4後	2			○											兼1
		Science Studies	1・2・3・4前	2		○												兼1
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4		○												兼1
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2		○												兼1
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2		○												兼1
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1		○												兼1
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1		○												兼1
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2		○												兼2 オムニバス
		小計 (28科目)	—	0	56	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼48
全学共通科目	多彩な学び 6 知識の現場	GL111	1・2・3・4後	2		○											兼2	
		GL102	1・2・3・4後	2		○											兼1	
		GL103	1・2・3・4後	2		○											兼1	
		GL201	1・2・3・4後	2		○											兼2	
		GL202	1・2・3・4前	2		○											兼2	
		GL301	1・2・3前・後	2			○										兼1 集中	
		GL302	1・2・3前	2			○										兼1	
		グローバル共通教養総論	1・2・3・4前	2		○												兼1
		ソリューション・アプローチ (開発経済)	2・3・4前	2			○											兼1
		ソリューション・アプローチ (強制移転・移住)	2・3・4前	2			○											兼1
		グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後	2		○												兼1
		ソリューション・アプローチ (人道支援)	2・3・4後	2			○											兼1
		ソリューション・アプローチ (紛争と平和)	2・3・4後	2			○											兼1
		アクティブ・リサーチ	2・3・4後	2				○										兼1
		国連ユースボランティア	1・2・3・4後	12				○										兼1
		陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前	2				○										兼2
		海外インターンシップ1	1・2・3後	1				○										兼1 集中
		海外インターンシップ2	1・2・3後	2				○										兼1 集中
		国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後	1				○										兼1
		国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後	2				○										兼1
RSLーコミュニティ (埼玉)	1・2・3・4後	2				○										兼1		
RSLーコミュニティ (池袋)	1・2・3・4後	2				○										兼1		
RSLーローカル (南魚沼)	1・2・3・4後	2				○										兼1		
RSLーローカルA	1・2・3・4後	2				○										兼1		
RSLーローカルB	1・2・3・4後	2				○										兼1		
RSLーローカル (地域共生)	1・2・3・4前	2				○										兼1		
小計 (26科目)	—	0	60	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼17	—	
全学共通科目	多彩な学び スポーツプログラム	スポーツプログラム1 (バドミントン)	1・2・3・4前・後	1													兼2	
		スポーツプログラム1 (はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1													兼2	
		スポーツプログラム1 (ダンス (初級))	1・2・3・4前・後	1													兼1	
		スポーツプログラム2 (トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (卓球)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (バスケットボール)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (バレーボール)	1・2・3・4後	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (アルティメット)	1・2・3・4前	1								1						兼1
		スポーツスタディ1 (レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2								1						兼4
		スポーツスタディ1 (太極拳)	1・2・3・4前・後	2								1						兼1
		スポーツスタディ1 (日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2														兼1
		スポーツスタディ1 (はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2								1						兼1
		スポーツスタディ1 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2														兼3
		スポーツスタディ1 (バドミントン)	1・2・3・4後	2														兼1
		スポーツスタディ1 (アダプトスポーツ)	1・2・3・4前・後	2														兼1
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (日本語))	1・2・3・4前	2								1						兼1
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (英語))	1・2・3・4後	2								1						兼1
		スポーツスタディ1 (ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2														兼1
		スポーツスタディ2 (トレーニング)	1・2・3・4前・後	2														兼1
スポーツスタディ2 (ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2														兼1		
スポーツスタディ2 (ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2														兼2		
スポーツスタディ2 (東洋的フィットネス)	1・2・3・4前・後	2														兼1		
スポーツスタディ2 (ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2								1						兼1		
スポーツスタディ2 (セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2														兼2		
スポーツスタディ2 (ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2														兼1		
スポーツスタディ3 (サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2														兼1		
スポーツスタディ3 (フットサル)	1・2・3・4前・後	2														兼4		
スポーツスタディ3 (フットサル (インドア))	1・2・3・4前・後	2														兼1		



全学共通科目言語系科目 (必修科目B / 朝鮮語)	朝鮮語基礎 1	1前	2					○								兼19	
	朝鮮語基礎 2	1後	2					○								兼19	
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—
全学共通科目言語系科目 (必修科目B / ロシア語)	ロシア語基礎 1	1前	2					○								兼3	
	ロシア語基礎 2	1後	2					○								兼3	
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
全学共通科目言語系科目 (必修科目B)	大学生の日本語 A	1前	1					○								兼7	
	大学生の日本語 B	1前	1					○								兼7	
	大学生の日本語 C	1後	1					○								兼8	
	大学生の日本語 D	1後	1					○								兼8	
	小計 (4科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	0	兼16	—
全学共通科目言語系科目 (自由科目 / 英語)	English Intensive A (Global World)	2・3・4前		4				○								兼5	
	English Intensive B (Academic Language Skills)	2・3・4前		4				○								兼4	
	English Intensive C (Integrated Language Skills)	2・3・4後		4				○								兼5	
	English Intensive D (Intercultural Understanding)	2・3・4後		4				○								兼5	
	Intercultural Studies	2・3・4前		2				○								兼1	
	Self-directed and Reflective Language Learning	2・3・4前		2				○								兼1	
	小計 (6科目)	—	0	20	0			—	0	0	0	0	0	0	0	兼18	—
全学共通科目言語系科目 (自由科目 / 英語)	English Communication 1	2・3・4前・後		4				○								兼8	
	English Communication 2	2・3・4前・後		4				○								兼7	
	Pleasure Reading	2・3・4前		2				○								兼2	
	Speech	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	Debate	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	Presentation	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	Current English 1 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	Current English 2 (reading)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	Current English 1 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼4	
	Current English 2 (listening)	2・3・4前・後		2				○								兼5	
	Japanese Studies through English Language and History	2・3・4前		2				○								兼5	
	English through Movies A	2・3・4前		2				○								兼1	
	English through Movies B	2・3・4前		2				○								兼1	
	English through Movies C	2・3・4前		2				○								兼1	
	World Cultures	2・3・4後		2				○								兼1	
	World Heritage Sites	2・3・4前		2				○								兼1	
	English through Dramas	後		2				○								兼1	
Advertisement English	2・3・4後		2				○								兼1		
English through Movies D	2・3・4後		2				○								兼1		
English through Movies E	2・3・4後		2				○								兼1		
English through Movies F	2・3・4後		2				○								兼1		
Introduction to Global Studies A: Humanities	2・3・4前		2				○								兼1		

	Introduction to Global Studies B:Social Science	2・3・4前	2					○								兼1	
	Introduction to Global Studies B:Natural Science	2・3・4前	2					○								兼1	
	Multimodal Communication in English	2・3・4前	2					○								兼1	
	Business Speaking	2・3・4後	2					○								兼1	
	Current News through English Media	2・3・4前	2					○								兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	IELTS	2・3・4前	2					○								兼2	
	小計 (39科目)	—	0	82	0			—		0	0	0	0	0		兼63	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(英科 /語目 コ言 ー語系 ス語 アド ド科 バ目 ン ス ト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後	4					○								兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後	2					○								兼1	
CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後	2					○								兼1		
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前	2					○								兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後	2					○								兼1		
	小計 (16科目)	—	0	44	0			—		0	0	0	0	0		兼24	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(英科 /語目 コ言 ー語系 ス語 オ ナ ー ズ ・	University Lecture A	2・3・4前	2					○								兼1	
	University Lecture C	2・3・4前	2					○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0		兼2	—
(国全 イ際学 ン交共 デ流通 イ制科 ベン度 ン短期 デ英語 ン英系 ト語科 ・研 モ修 ジブ自 ユロ由 ー科 ル目 /ラ目 コ(英 ー語 ス)	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前	1					○								兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後	1					○								兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	オンライン海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	小計 (9科目)	—	0	17	0			—		0	0	0	0	0		兼11	—
基自全 礎由学	ドイツ語中級1	2・3・4前	2					○								兼8	共同
	ドイツ語中級2	2・3・4後	2					○								兼7	共同

科目群 (中級レベル)	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼2	
	小計(6科目)	—	0	8	0			—		0	0	0	0	0	0	兼12
科目群 (上級レベル)	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
	ドイツ語総合B1(1)	2・3・4前	2					○							兼1	
	ドイツ語総合B1(2)	2・3・4後	2					○							兼1	
小計(10科目)	—	0	20	0			—		0	0	0	0	0	0	兼7	—
科目群 (ドイツ語)	基礎ドイツ語入門	2・3・4前	2					○							兼6	
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後	2					○							兼6	
	小計(2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	兼6	—
科目群 (ドイツ語)	ドイツ語海外言語文化研修(中級)	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	ドイツ語海外言語文化研修(上級)	2・3・4前	2					○							兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	兼1	—
科目群 (フランス語)	フランス語中級1	2・3・4前	2					○							兼6	共同
	フランス語中級2	2・3・4後	2					○							兼6	共同
	フランス語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼2	
	小計(6科目)	—	0	8	0			—		0	0	0	0	0	0	兼8
科目群 (フランス語)	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級フランス語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計(8科目)	—	0	16	0			—		0	0	0	0	0	0	兼5	—

情報処理論(中級レベル)	言語情報処理論(フランス語)	1・2・3・4前		2					○							兼1	
	小計(1科目)	—	0	2	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎フランス語入門	基礎フランス語入門	2・3・4前		2					○							兼6	
	基礎フランス語初級	2・3・4後		2					○							兼6	
小計(2科目)	—	0	4	0			—			0	0	0	0	0	兼6	—	
フランス語海外言語文化研修(中級)	フランス語海外言語文化研修(中級)	1・2・3・4前		2					○							兼1	
	フランス語海外言語文化研修(上級)	2・3・4前		2					○							兼1	
小計(2科目)	—	0	4	0			—			0	0	0	0	0	兼1	—	
基礎スペイン語中級1	基礎スペイン語中級1	2・3・4前		2					○							兼8	共同
	基礎スペイン語中級2	2・3・4後		2					○							兼8	共同
	基礎スペイン語スタンダード1	2・3・4前		1					○							兼4	
	基礎スペイン語スタンダード2	2・3・4前		1					○							兼3	
	基礎スペイン語スタンダード3	2・3・4後		1					○							兼3	
	基礎スペイン語スタンダード4	2・3・4後		1					○							兼3	
小計(6科目)	—	0	8	0			—			0	0	0	0	0	兼13	—	
上級スペイン語コミュニケーション1	上級スペイン語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○							兼2	
	上級スペイン語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○							兼2	
	上級スペイン語ライティング1	2・3・4前		2					○							兼2	
	上級スペイン語ライティング2	2・3・4後		2					○							兼2	
	上級スペイン語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○							兼2	
	上級スペイン語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○							兼2	
	上級スペイン語演習1	2・3・4前		2					○							兼2	
	上級スペイン語演習2	2・3・4後		2					○							兼2	
小計(8科目)	—	0	16	0			—			0	0	0	0	0	兼6	—	
言語情報処理論(スペイン語)	1・2・3・4前・後		2					○								兼2	

語情報																			
	小計 (1科目)	—	0	2	0			—		0	0	0	0	0	0	兼2	—		
全学共通科目 言語系科目 スペイン語 入門科目	基礎スペイン語入門	2・3・4前		2				○								兼9			
	基礎スペイン語初級	2・3・4後		2				○								兼9			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼9	—		
全学共通科目 言語系科目 スペイン語 文化研修 科目	スペイン語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3後		2				○								兼1			
	スペイン語海外言語文化研修 (上級)	2・3後		2				○								兼1			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
全学共通科目 言語系科目 中国語 レベル	中国語中級1	2・3・4前		2				○								兼4			
	中国語中級2	2・3・4後		2				○								兼4			
	中国語スタンダード1	2・3・4前		1				○								兼4			
	中国語スタンダード2	2・3・4前		1				○								兼4			
	中国語スタンダード3	2・3・4後		1				○								兼4			
	中国語スタンダード4	2・3・4後		1				○								兼4			
	小計 (6科目)	—	0	8	0			—		0	0	0	0	0	0	兼10	—		
全学共通科目 言語系科目 中国語 レベル	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○								兼1			
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○								兼1			
	上級中国語ライティング1	2・3・4前		2				○								兼1			
	上級中国語ライティング2	2・3・4後		2				○								兼1			
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○								兼2			
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○								兼2			
	上級中国語演習1	2・3・4前		2				○								兼2			
	上級中国語演習2	2・3・4後		2				○								兼2			
	小計 (8科目)	—	0	16	0			—		0	0	0	0	0	0	兼2	—		
全学共通科目 言語系科目 中国語 レベル	言語情報処理論 (中国語)	1・2・3・4前・後		2				○								兼2			
	小計 (1科目)	—	0	2	0			—		0	0	0	0	0	0	兼2	—		
全学共通科目 中国語 入門科目	基礎中国語入門	2・3・4前		2				○								兼5			
	基礎中国語初級	2・3・4後		2				○								兼5			

言語系科目																			
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼5	—
海外自由学 言語文化 研修	中国語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (中級)	1・2・3後		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (上級)	2・3後		2					○									兼1	
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼1	—
基礎自由学 科目群 (中級レベル)	朝鮮語中級1	2・3・4前		2					○									兼6	共同
	朝鮮語中級2	2・3・4後		2					○									兼6	共同
	朝鮮語スタンダード1	2・3・4前		1					○									兼3	
	朝鮮語スタンダード2	2・3・4前		1					○									兼2	
	朝鮮語スタンダード3	2・3・4後		1					○									兼3	
	朝鮮語スタンダード4	2・3・4後		1					○									兼3	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼12	—
コア自由学 科目群 (上級レベル)	上級朝鮮語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語ライティング1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語ライティング2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語演習1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語演習2	2・3・4後		2					○									兼2	
		小計 (8科目)	—	0	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼9
処理自由学 科目群 (中級レベル)	言語情報処理論 (朝鮮語)	1・2・3・4後		2					○									兼2	
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼2	—
朝鮮自由学 科目群 (初級)	基礎朝鮮語入門	2・3・4前		2					○									兼9	
	基礎朝鮮語初級	2・3・4後		2					○									兼9	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼9	—
海外自由学 言語文化 研修	朝鮮語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
	朝鮮語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○									兼1	





日本語系科目 （日本語）																	
	小計（2科目）	—	0	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼3	—
自由科目 （日本語系科目）	日本の社会と文化A	2・3・4前		2				○								兼1	
	日本の社会と文化B	2・3・4後		2				○								兼1	
	日本の社会と文化C	2・3・4後		2				○								兼1	
	社会の中の日本語A	2・3・4前		2				○								兼1	
	社会の中の日本語B	2・3・4後		2				○								兼1	
	論文読解の技法	2・3・4前		2				○								兼2	
	論文作成の技法	2・3・4後		2				○								兼2	
	キャリアの日本語A	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	キャリアの日本語B	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後		2				○								兼3	
	ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後		2				○								兼2	
ビジネスメールと文書	2・3・4前・後		2				○								兼2		
小計（12科目）	—	0	24	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼14	—	
教職科目	【再掲】運動方法学演習 1	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 2	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 3	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 4	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 5	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 6	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 7	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 8	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学演習 9	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】スポーツ科学総論	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動方法学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】ウエルネス科学総論	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】スポーツウエルネス心理学（基礎）	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】スポーツ社会学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】スポーツ倫理学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】コミュニティスポーツ論	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】バイオメカニクス	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】メンタルマネジメント	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動生理学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】生理学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動・スポーツ栄養学（基礎）	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】運動処方・療法	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】解剖学 1	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】生活習慣病の科学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】公衆衛生学	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】小児保健・精神保健	—	—	—	—	—	—	—									
	【再掲】スポーツ医学（外傷・障害） 1	—	—	—	—	—	—	—									
	保健体育科教育法 1	3・4前			2				○								兼1
	保健体育科教育法 2	3・4前			2				○								兼1
	保健体育科教育法演習 1	3・4後			2					○							兼1
	保健体育科教育法演習 2	3・4後			2					○							兼1
	教育原論	1・2・3・4前			2				○								兼5
	教職概論	2・3・4前			2				○								兼6
教育制度論・教育課程論	1・2・3・4後			2				○								兼5	
教育心理学	1・2・3・4前			2				○								兼6	
特別支援教育の理論と方法	2・3・4後			2				○								兼5	
道徳教育の理論と方法	1・2・3・4前			2				○								兼6	
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2・3・4通			2				○								兼6	
教育方法論	2・3・4後			2				○								兼6	
生徒・進路指導の理論と方法	1・2・3・4後			2				○								兼6	
学校教育相談の理論と方法	2・3・4前			2				○								兼6	
中・高教育実習事前指導	3・4通			1				○								兼6 共同	
高校教育実習	4通			2				○								兼6 共同	

教職科目	中・高教育実習	4通			4			○								兼6	共同
	教職実践演習（中・高）	4後			4			○								兼9	
	教職特別演習	3・4後			2			○								兼1	
	【再掲】日本国憲法	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツプログラム1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツプログラム2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツプログラム3	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツスタディ1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツスタディ2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツスタディ3	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツスタディ4	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スポーツスタディe	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語ディスカッション	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語ディベート	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語リーディング&ライティング1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語リーディング&ライティング2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語eラーニング	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】英語プレゼンテーション	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】上級英語1（リーディング&ライティング）	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】上級英語2（プロジェクト英語）	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】ドイツ語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】ドイツ語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】フランス語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】フランス語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スペイン語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】スペイン語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】中国語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】中国語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】朝鮮語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】朝鮮語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
	【再掲】ロシア語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
【再掲】ロシア語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—									
【再掲】情報処理1	—	—	—	—	—	—	—	—									
【再掲】情報処理2	—	—	—	—	—	—	—	—									
小計（77科目／うち初出19科目）	—	0	0	41	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼36	—	
合計（708科目）	—	52	1324	41	—	—	—	—	10	6	0	0	0	0	兼858	—	
学位又は称号	学士（スポーツウェルネス学）			学位又は学科の分野				体育関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
スポーツウェルネス学科の卒業研究ベーシックコースは、全学共通科目28単位以上、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を4単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を12単位、専門展開科目を22単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位								1学年の学期区分				2期					

以上を修得すること。  
 卒業研究アドバンスコースは、全学共通科目28単位、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を10単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を10単位、専門展開科目を18単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得すること。  
 いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。  
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))  
 なお、専門基礎科目のうち、運動方法学演習1～運動方法学演習16から、12単位を選択必修とする。

1学期の授業期間	14週
1時限の授業時間	100分

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
①学生の確保の見通し	2
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
ウ 学生納付金の設定の考え方	5
②学生確保に向けた具体的な取組状況	5
○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通	5
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	6
(2) 人材需要の動向等社会の要請	7
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	7
○コミュニティ福祉学部共通	7
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	8
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	9
○コミュニティ福祉学部	9
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	9

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ①学生の確保の見通し

#### ア 定員充足の見込み

- コミュニティ福祉学部 ⇒ 廃止するスポーツウエルネス学科分 110 人減と合わせて合計 68 人減  
(福祉学科/24 人減)

入学定員 (130 人) については、「イ」及び (2) で示す、社会的状況、地域的状況、受験生からのニーズ、福祉学科の志願倍率、社会からの要請等を踏まえて決定した。また、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、学校基本調査による当該分野の志願者動向、これまでの入試結果及び競合校との関係を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

#### (コミュニティ政策学科/66 人増)

入学定員 (220 人) については、「イ」及び (2) で示す、社会的状況、地域的状況、受験生からのニーズ、コミュニティ政策学科の志願倍率、社会からの要請等を踏まえて決定した。また、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、学校基本調査による当該分野の志願者動向、これまでの入試結果及び競合校との関係を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

- スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科 ⇒ 230 人増

入学定員 (230 人) については、「イ」及び (2) で示す、新学部を設置する地域の状況、受験生からのニーズ、コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の志願倍率、社会からの要請等とともに、新学部を担当する専任教員数を踏まえて決定した。

この入学定員 (230 人) については、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、これまでの入試結果、本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数、④コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科のこれまでの入試結果、競合校との関係性及び本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

#### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

- コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

##### ①本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測

リクルート進学総研の「18 歳人口予測 (南関東: 2020 年~2032 年)」によると、全国の 18 歳人口は、2020 年の 116.7 万人から 2032 年には 14.3 万人減少し、102.3 万人になると予測されている。また、18 歳人口の動向をエリア別で見ると「南関東エリア」では、2020 年の 305,457 人から 2032 年には 288,670 人となり、1 年間で 16,787 人減少となることが予測されている。

一方、本学池袋キャンパスがある東京都は 2020 年の 105,200 人から 2032 年には 105,791 人、新座キャンパスがある埼玉県は 65,634 人から 59,587 人となり、2020 年を 100 とした場合の割合は、それぞれ 100.6%、90.8%となる。同様の全国規模での割合は、87.7%であり、全国的に人口減少が進行する中でも、本学の立地条件は人口減少の影響を受けにくいことが見てとれる (資料 1)。

##### ②大学進学率

旺文社教育情報センターによると、高等学校 (全日制・定時制) 卒業者と大学・短期大学進学者数は、2020 年 3 月に卒業した高校生 (全日制・定時制、中等教育学校後期課程) のうち 55.3%が、現役で大学・短大に進学している。同年の高校卒業者は前年より 13,258 人少ない 1,042,549 人であるが、大学・短大への現役進学率は前年 54.8%から 55.3%にアップしている (資料 2)。

一方、新座キャンパスがある埼玉県は、同年 3 月卒業者が 56,643 人、うち大学等進学者数が 33,130

人、大学等進学率は 58.5%であり、全国平均と比較すると進学率が高い傾向にある（資料3）。

## ○コミュニティ福祉学部

（福祉学科及びコミュニティ政策学科共通）

### ・学校基本調査による当該分野の志願者動向

e-statに掲載されている学校基本調査の調査結果「関係学科別大学入学状況」によれば、福祉に関する分野を多く含む社会学関係、法学・政治学関係その他分野の志願者動向並びにコミュニティ政策学科の領域と重なるコミュニティマネジメント学やコミュニティ福祉学等を含む社会学関係及び地方行政学や公共政策学等を含む法学・政治学関係その他分野の志願者動向は資料4のとおりである。入学志願者増減割合（前年度比）について、社会学関係は2020年度を除いて他の分野に比べて良い志願推移となっている。

（福祉学科）

### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部福祉学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、2020年度を除いて入学定員（154人）の10倍を超える志願者数を集めている。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①志願者数	1,742	2,130	2,542	1,287	1,567
②受験者数	1,595	1,954	2,379	1,108	1,522
③合格者数	358	349	401	352	500
④入学者数	151	152	152	154	153
⑤歩留率	2.37	2.30	2.64	2.29	3.27
⑥入定超過率	0.98	0.99	0.99	1.00	0.99

過去3年間の一般選抜における実質倍率についても、表のとおり選抜性を維持している。

	2019年度	2020年度	2021年度
一般	6.3	4.4	3.0
大学入学共通（センター）テスト（3教科）	9.6	3.3	4.2
大学入学共通（センター）テスト（6教科）	3.0	3.1	3.2

### ②競合校との関係性

2020年12月に学校法人河合塾の協力を得て、「立教大学コミュニティ福祉学部（3学科）ポジショニング検証調査」を行った（資料5）。その結果によれば、本学福祉学科は競合する他私大の福祉系学科の中で一般選抜において4番目の志願者数を獲得している（資料5／スライドNo.16）。

（コミュニティ政策学科）

### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部福祉学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、2020年度を除いて入学定員（154人）の10倍を超える志願者数を集めている。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①志願者数	1,832	2,326	1,996	1,410	2,313
②受験者数	1,686	2,143	1,828	1,228	2,159
③合格者数	360	334	351	376	469
④入学者数	154	148	155	148	146

⑤歩留率	2.3	2.3	2.3	2.5	3.2
⑥入定超過率	1.00	0.96	1.01	0.96	0.95

過去3年間の一般選抜における実質倍率についても、表のとおり選抜性を維持している。

	2019年度	2020年度	2021年度
一般	6.1	4.6	5.6
大学入学共通(センター)テスト(3教科)	7.6	3.3	5.2
大学入学共通(センター)テスト(6教科)	4.1	2.2	2.1

## ②競合校との関係性

福祉学科と同様の調査結果によれば、本学コミュニティ政策学科は競合する他私大の学科の中で一般選抜において11番目の志願者数を獲得している(資料5/スライドNO.31)。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

#### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、入学定員(110人)の10倍を超える志願者数を集めている。

【志願者数等】	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	1,604	1,753	1,888	1,324	1,268
受験者数	1,420	1,562	1,690	1,128	1,148
合格者数	226	222	231	220	321
入学者数	113	107	111	106	108
歩留率	2.00	2.07	2.08	2.08	2.97
入学定員超過率	1.03	0.97	1.01	0.96	0.98

過去3年間の実質倍率についても、表のとおり安定した高倍率を維持している。

【実質倍率】	2019年度	2020年度	2021年度
一般	9.0	7.3	3.8
大学入学共通(センター)テスト(3教科)	10.9	8.0	5.8
大学入学共通(センター)テスト(6教科)	5.2	2.4	3.7

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科については、体育会部活動の活躍による知名度も手伝って全国各地から志願者と入学者を得ている点も特徴と言える。定員増加後は、受験者の多い東京都と埼玉県を中心に志願者数が集まると思われるが、実際にはさらに全国からの志願者と入学者が見込まれる。

## ②競合校との関係性

コミュニティ福祉学部の2学科と同様の調査の結果、私立大学(一般+センター利用方式)の学部・学科系統別志願者数(文系学部のみ)の割合をみると、「スポーツ」の志願者規模は大きな分野ではないものの、同年夏の模擬試験実施(2021年度入試対象)ではコロナ禍もあり受験者数そのものが減少しているが、その中でスポーツ健康科学系は減少幅が小さく、相対的に増加している(資料5/スライドNO.4,7)。また、スポーツウエルネス学科と併願の多い大学とその関係性をみると、併願件数上位は殆どがスポーツ系学部である(資料5/スライドNo.38,39,40)。さらに、競合大学との関係を「勝ち負け表」で経年比較すると、スポーツ健康系学科の中では2位を担保している(資料5/スライドNo.38,39,40)。



倍率についてみると、各大学の志願者規模や入学定員、合格者数の出し方等によって異なるため一概には比較できないが、スポーツウエルネス学科は比較的上位（高倍率）に位置することが分かる（資料5 /スライド No. 45）。

大学スポーツの歴史、実績を残している大学ほど知名度が高く、比例して教育研究レベルが高いイメージで映っている可能性があり、また「スポーツウエルネス」が学部ではなく、学科であることで受験生の目に付き難くなっている可能性があるという指摘されている（資料5 /スライド No. 51）。そのため、スポーツウエルネス学部になるという広報を強化して受験生へアピールすれば、志願者数の増加が見込めると考えている。さらに、現在の未曾有のコロナ禍でのスポーツ・ウエルネス教育、特に他大学にはない「ウエルネス」を学ぶことの意義・特色をアピールすることで、志願者数の増加が見込めると考えている。

### ③本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数

近隣の状況として、埼玉県内で学部又は学科名称に「スポーツ」を含む8学科の入学定員の合計は約1,600人となっているところ、志願者数は約6,800人となっており、スポーツを学ぶことのニーズは高いと考えられる。以上のことから、18歳人口の減少期においても、埼玉県内を主なターゲットとしたスポーツ分野の学部又は学科は安定した志願者数の確保と定員充足を担保できる状況にある（資料6）。

#### ウ 学生納付金の設定の考え方

##### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

学生納付金（学費等納入金）については、入学金 200,000円は本学の既設学部と同額である。授業料は、既設の現代心理学部映像身体学科と同じ、1,190,000円（在籍料 120,000円（半期 60,000円）を含む）、実験・実習費については15,000円としている（別途研究会費 3,000円、学生健康保険互助組合費 3,500円）。新設学部の学生納付金の総額（年額）は、初年次（第1年次）が1,411,500円、第2年次以降は1,211,500円となる。また、納入方法は、各年度始めに一括納入か、春学期・秋学期のそれぞれ始めまでに分納（2回）することとして定めている。本学の既設学部（コミュニティ福祉学部）と比較した場合、新設学部の授業料が年間で62,000円高く設定されており、実験・実習費15,000円の負担もあるが、新設学部の教育課程においては、本学の文学部や経営学部と異なり、実験・実習も多数配置されていることから、このような学生納付金の設定を行った。

私立大学が設置しているスポーツ系学部について、入学金を除いた学生納付金の年額を調査したところ、110万円台から130万円台に設定した大学が多いことがわかる（資料7）。新設学部の充実した教育課程を維持しながら、他大学の学費設定の状況を踏まえて、120万円台を超えた学費設定を避けることを基本として、学部の運営経費の試算に基づいて1,190,000円という年額を設定した。

このように、現在の学費設定は、本学の既設学部と比較した場合にも差額が半期で10万円未満となっており、他大学の同系学部と比較した場合にも高額とはなっていない。以上を踏まえると、現在の学生納付金の設定は適切なものであると判断している。

### ②学生確保に向けた具体的な取組状況

##### ○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

学生確保に向けた取組み次のとおりである。コロナ禍により、従来実施していた高校訪問（各高校進路指導担当教員への訪問）など、取組の中止や見直しをせざるを得ない状況はあるが、入学センターや学部を中心に全事務部局の職員が協力し、取組を推進している。これによりコロナ禍前と比較しても同規模の志願者数を確保しており、今後も継続的に取り組んでいく。

種 類	内 容
高等学校での進学ガイダンス	高等学校での進学ガイダンスに年間を通じて参加し、高校生に対して、大学の特色、各学部の内容、学費・奨学金、取得資格、進路状況、入試制度等について説明を行っている。2021年度においては、延べ218校で実施した。
高等学校教員対象入試説明会	6月中旬に、オンラインにて高等学校教員対象の大学説明会を実施した。教育の特色、入試結果、入試制度、キャリア・就職の特長について周知するとともに、チャット形式にて個別質問にも対応している。2021年度は290人の参加であった。
進学相談会	4月から3月まで、受験生及び保護者対象の進学相談会に参加し、個別相談に応じるとともに、パンフレット等を配布している。2021年度は関東地方を中心とする50会場に参加した。
オープンキャンパスの開催	2021年度オープンキャンパスは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来場形式とオンライン形式のハイブリッド型イベントとして開催した。来場形式プログラムとして体験系コンテンツのキャンパスツアーを8月前半に8日間実施した。オンライン形式プログラムについては、8月1日(日)～31日(火)の期間、オンデマンド方式とライブ方式にて実施した。合計での申込参加者数は18,787人であった。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

コミュニティ福祉学部の2学科と異なり、新学部の設置であるため、例年以上に学生確保に向けた積極的な取組みを行うこととしている。

##### (リーフレット、大学ウェブサイト内の専用ページ、パンフレット)

新設学部の学生確保に向けた具体的な取組として、まずはリーフレット(資料8)を作成し、これまでに入学実績の高い高等学校などを中心に、コミュニティ福祉学部の再編と本部の新設を構想している旨の連絡を行ったところ、当該連絡後に実施した高校訪問の際に、本学部の開設時期や入学者選抜の方式について、早期に知らせてほしい等の要望が寄せられるなど、高等学校関係者から非常に高い関心が示された。また、大学ウェブサイト内に専用ページを設け、随時情報を更新し、積極的にWEB上でもアピールを行っている。さらに、本学部のパンフレットを作成し、本申請の認可書受領及び設置届出書の提出後には、高等学校関係者と受験生・保護者を対象とした入試広報活動をより積極的に展開する計画である。

##### (高等学校関係者を対象とした入試広報活動)

これまで、本学では300校以上の高等学校を訪問して本学の教育研究活動や入試制度について説明を行ってきた。2021年度は、オンラインを活用した高等学校教員対象の大学説明会を開催し、チャット形式で個別の質問に対応したところである。2022年度においても、既設学部と本学部の入試広報のためにこれらの活動を実施する。高等学校が夏季休業に入る2022年7月末までに十分な広報活動を展開する必要があるため、本学への継続的な入学実績が確認できる高等学校には、本申請の認可書受領及び設置届出書の提出後速やかに、その事実を伝達し、今後の入試広報活動の予定を告知する文書を発送する計画である。その後、高等学校を直接訪問して、本学部の教育の特色や入試制度について説明を行う。本学部の設置に伴い、2023年度入試に向けた広報は、スポーツ振興に力を入れている全国の高等学校にも

範囲を拡大する計画である。また、本学の体育会クラブには、高校生が出場する各競技の大会に合わせて、体育会学生への学業支援、活躍した学生に対する表彰制度など、本学の取組みを PR する活動を依頼している。これらの様々な機会を活用して、新設を目指す本学部に関する情報を高等学校におけるスポーツ指導者にも伝えることができるように努める。

#### （高等学校在学中の生徒や保護者を対象とした入試広報活動）

受験情報誌・ウェブサイトや進学相談会の際に資料請求のあった者に対する大学案内・入試関連資料の送付のほか、インターネット（本学のウェブサイトや受験情報サイトのウェブサイトへの情報掲出）やオープンキャンパスを通じた直接的な情報提供を行っている。2022年度は届出書提出後にウェブサイトへの入試情報の提供を開始し、高校訪問によって高校関係者に伝達する情報をウェブサイトからも入手することができるようにする。

#### （オープンキャンパス）

本学ではこれまで、8月下旬の土曜日と日曜日にオープンキャンパスを開催しており、2022年度は本学部の入試広報も盛り込んだ内容を企画している。いずれのオープンキャンパスにおいても、本学部の特設コーナーを設けて教育の理念や特色、入試制度について紹介するほか、スポーツ科学の実際の学びを体験することができる企画も用意して学生の興味を喚起するように努める計画である。また、受験生や保護者からの入学者選抜に関する相談に個別に対応する機会も設定する。オープンキャンパスへの参加者や認可前に資料請求を行った者に対しても、届出書提出後には改めて入試要項等の情報提供を速やかに行うことにする。なお、本学に対して資料請求を行った者には、同年度に実施するオープンキャンパスの情報も郵送によって個別に告知することとしている。

## （2）人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### ○コミュニティ福祉学部共通

学部として掲げる「コミュニティ福祉学部は、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。」は、福祉学科及びコミュニティ政策学科の両学科においても教育研究上の目的として位置づけられる。

#### （福祉学科）

福祉領域における問題に対しては、地域包括ケアシステムのように地域で支える仕組みが構想され、これまでとは異なる問題解決アプローチが模索されており、また市民が自ら生活課題や地域課題の解決の担い手として活躍することが期待されている。こうした状況を踏まえ、市民をエンパワーメントし適切なサポートやケアにつなげられる専門職、多様なニーズを捉え問題解決の道筋を整える企画立案者（プランナー）、福祉・保健・医療の連携の要となるコーディネートやマネジメントを担える近未来のチームリーダー、そして社会の様々な場において福祉領域の問題に関心を持ち、それぞれの立場から取り組める人材が、本学科で養成する人材像となる。

#### （コミュニティ政策学科）

コミュニティ政策の領域においては、グローバリゼーションと人口急減の奔流のなかで、日本社会は大きく転換をしてきており、超高齢化社会の下での介護問題、少子化問題、地域や所得における格差社会の進展、地域生活の困難、人口減少（限界集落）、貧困や社会的排除の拡大といった多くの危機、深刻な問題が数多く立ち現れ、それらは日々の生活に暗い影を落とし、個々人の暮らしを脅かしている。こ

うした状況を踏まえ、市民社会を支えるシティズンシップ教育を通じて、多様なアクターが協働して民主的ガバナンスをつくりだす仕組みや条件を構想し、このために必要な政策を提案・実施できる人材、またコミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深め、生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析し、今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を備える人材が、本学科で養成する人材像となる。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

本学部の教育研究上の目的は「スポーツウエルネス学部は、「すべての人の生きる歓びのために」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で活力に満ちたウエルネス社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。」である。この目的に基づき、主にスポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に関する教育研究を行うスポーツ分野と主に心身の健康を探究し、維持・発展に関する教育研究を行うウエルネス分野に教育研究分野を区分し、その区分に応じた教員組織を整備するとともに、卒業後の進路に関連する、アスリートパフォーマンス、ウエルネススポーツ及び環境・スポーツ教育の3つ人材養成像を掲げる。

#### <アスリートパフォーマンス>

全ての人間の適応可能性を広げ、アスリートのパフォーマンス向上に寄与するための理論と方法論を構築する。アスレティックトレーニング、スポーツコーチング、パフォーマンス分析のそれぞれの分野から科目を履修する。

競技スポーツは人間の身体的・精神的な限界に挑戦する営みでもあり、その過程で高いレベルのパフォーマンスが追求されている。パフォーマンスの向上のためには、スポーツ科学の知見が不可欠であり、適正な知見と能力を有し、科学的なサポートを実践できる人材が求められている。そのため、コーチング、パフォーマンス分析、トレーニング論、栄養学、心理学、傷害予防、コンディショニングなどのスポーツ科学的知見を総合的に理解し、アスリートのハイパフォーマンスに貢献できる人材を養成する。

#### <ウエルネススポーツ>

運動・スポーツを通して全ての人のウエルネスを向上するための理論と方法論を構築する。健康づくり運動・スポーツに関する身体科学、運動科学、社会科学を基礎として、健康運動支援、スポーツを通じたコミュニティ形成等のそれぞれの分野から科目を履修する。

少子高齢化社会を乗り越えるためには、高齢者の基礎的な体力向上と生活習慣病の予防、治療に関する運動療法等が不可欠であり、子どもの基礎的な体力低下に歯止めをかけ、運動習慣を身につけさせることが重要である。また、青年期のうつ病者の増大や自殺者数の高止まり等にみられるように、高ストレス社会である現代においていかに心身のバランスを維持し、高度なウエルネスを達成できるかが重要な社会課題となっている。そのため、心身ウエルネスに関する知見を有し、スポーツを通して総合的なQOLの向上とウエルネスの向上に貢献できる人材を養成する。

#### <環境・スポーツ教育>

地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、自然環境や生活環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点を身につけるための理論と方法論の獲得を目指す。また、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を身につけるための理論と方法論を構築する。環境・サステイナ

ブル、スポーツ教育、フィールドのそれぞれの分野から科目を履修する。

自然環境と生活環境が調和したウェルネス社会の実現を目指して、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を有する人材が不可欠である。そのため、環境問題やサステナブル社会に関する知見を有し、スポーツの教育的価値を高め、子どもや運動・スポーツ実施者ファーストの立場から、実施者の主体的な学びに寄与し、スポーツを通じた人間教育に貢献できる人材を養成する。

## ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

### ○コミュニティ福祉学部

#### (福祉学科)

厚生労働省が福祉人材確保対策を定め、推進していることなどに見られるように、福祉人材の供給は未だ不足しており、深刻な社会問題となっている（資料9）。この対策は、福祉人材の量的な拡充は当然であるが、質的な向上に重点を置く方向性であり、先に述べた本学科の養成する人材像や、教育研究上の目的とも合致するものであると考える。

また、本学科が所在する埼玉県が福祉行政施策についてとりまとめた「埼玉の福祉」によれば、これまで緩やかな増加傾向にあった総人口は減少に転じて2030年までの10年で19万人減少し、高齢率も2030年までの10年で2.3%上昇し、31.2%になると予想されている。これを踏まえた令和2年の取組の中では、「福祉分野ごとの相談支援体制では対応が困難な、世帯の中で課題が複合化・複雑化しているケースへの取組」「自立支援、介護予防、生活支援などを総合的に支援する専門職」「介護人材の確保を図る」「障害のある人もない人も分け隔てられることなく活動できる共生社会づくり」などの記載があり、本学科が養成する人材に対する需要があると考えられる。

本学の2020年度の進路実績は資料10のとおりである。本学部については、サービス業及び公務への就職割合が他の学部と比較しても高い割合であり、上述の動向に合致する進路実績があると考えられる。

#### (コミュニティ政策学科)

第32次地方制度調査会の答申においては、「住民の多様な意見を反映しながら合意形成を行う」(P14)、「コミュニティの強化や新たな形成が課題となる。」(P10)、「多様な層の住民の参画」(P22)等の記載があり、先に述べた本学科の養成する人材像や、教育研究上の目的と通底するものであると考える（資料11）。

また、本学科が所在する埼玉県が策定した「埼玉県5か年計画～日本一暮らしやすい埼玉へ～（令和4年度～令和8年度）」では、「高齢単身世帯の増加に備え、社会からの孤立を防ぐ地域づくりが重要になります。」「地域の見守り体制が強化されることで」といったコミュニティ強化に関する問題意識と、「地域社会活動に参加している県民の割合」「SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数」といった住民参画に関する施策指標が掲げられている。また、計画実行のための仕組みとして、データに加えて県民や企業からの意見を積極的に取り入れ施策立案するとされている。これは多様なアクターの協働による民主的ガバナンスの推進という点で本学科の問題意識やそれを踏まえた人材養成と通底するものである。

本学の2020年度の進路実績は資料10のとおりである。本学部については、公務への就職割合が他の学部と比較しても高い割合であり、上述の動向に合致する進路実績があると考えられる。

### ○スポーツウェルネス学部スポーツウェルネス学科

#### (スポーツ基本計画)

令和4（2022）年3月に公表された「第3期スポーツ基本計画」では、今後のスポーツ施策の方向性

として以下を掲げている。

「する」「みる」「ささえる」を通じて、スポーツに「自発的」に参画し、「楽しさ」や「喜び」を得ることは、人々の生活や心をより豊かにする「Well-being」の考え方にもつながるものである。こうした「スポーツの価値」を原点として大切にし、更に高め、生涯を通じてスポーツを「好き」でいられる環境を整えていくことが不可欠である。

スポーツには今日、個人の趣味や体力づくりにとどまらず、青少年の人格形成や、高齢者の生きがいづくり、レクリエーションやエンターテインメントなど多様な役割が期待されている。特に高齢化の進む日本においては、国民の健康の維持増進は重要なテーマである。これらは本学部が養成する人材像「アスリートパフォーマンス」、「ウェルネススポーツ」及び「環境・スポーツ教育」に係る人材に密接に関連しており、当該人材の需要は今後一層高まるものと考えられる。また、「スポーツ基本計画」は「今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策」として具体的施策を挙げているが、これらは上記3つの養成する人材像と関連する。主なものは**資料12**のとおりである。

#### （埼玉県スポーツ推進計画）

埼玉県では、2018年からの5カ年にわたる「埼玉県スポーツ推進計画」を策定し、「施策1 スポーツ参画人口の拡大 ～「する」「みる」「ささえる」スポーツ文化の醸成～」、「施策2 子供のスポーツ活動の充実 ～生涯にわたり、スポーツに親しむ心を育てる～」、「施策3 スポーツを通じた地域の活性化～スポーツを元気で魅力ある埼玉づくりの推進力に！～」及び「施策4 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出 ～スポーツ王国埼玉をささえるアスリートへの積極的支援～」の4つの施策を定めている（**資料13**）。また、本学部を設置する埼玉県新座市においても、第3次新座市生涯学習推進計画における2011年度からの10カ年計画において、各種スポーツ教室や新座市民総合大学などを通しての市民の健康向上を計画している（**資料14/P15～18**）。国や地方自治体において、こうしたスポーツ振興事業が推進されるにあたっては、その担い手となるスポーツ指導者等の確保が必要となるものと想定され、本学部が養成する人材がその重要な一翼を担っていくことが期待される。

#### （学校教育におけるスポーツ指導）

学校教員をめぐる動向として、全国の公立学校（中学校及び高等学校。以下同じ。）教員採用者数は、近年、若干の増加傾向にあるが、本学部を設置する埼玉県においても、大量の教員が退職の時期を迎えており、これに伴い、公立学校教員の採用者数を増加させている。他方で、採用試験の受験倍率が低下していることから、志願者の確保も課題となっている（**資料15**）。また、公立学校教員の採用数が全国で最も多い東京都でも、毎年2,000人規模で教員が退職していくことが予想されるため（**資料16**）、今後も、相当規模の採用需要が継続して見込まれる。さらに、中央教育審議会の「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（平成27年12月21日）においては、多様化・複雑化する子どもの状況への対応として、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、連携・分担してチームとして職務を担う体制の整備が求められている（**資料17**）。特に、教員以外に部活動の指導、顧問、単独での引率等を行うことができるよう、「部活動支援員」（仮称）等を法令に位置付けてはどうか、という声もあり、本学部が養成するスポーツ指導者にとっての新たな雇用機会が生まれることが見込まれている。なお、本学部が教育上重視している他者との相互理解を促進しうるコミュニケーション能力は、広く一般の民間企業等においても求められているものと考えられ、卒業生の進路先の一つとして、スポーツに関連する企業・団体も想定される。

以上のように、本学部が養成する人材は、国や地方自治体によるスポーツ振興計画をはじめ、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであるといえる。

### (入学定員 (230 名) の規模の妥当性)

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の直近5年間の就職率(卒業生(進学、留学準備等を除く。)に占める就職者の割合)は、平均すると95%を超えている(表1)。これは、同学科の教育研究内容及び卒業生が社会から評価されていることの証左であり、同学科を前身とする本学部においても、この状況に変化は生じないことが見込まれる。業種別就職先は、多い順に、製造業、サービス、金融・保険、卸・小売り等となる(表2)。

また、近年、スポーツは、身体的諸能力の洗練によって人間の可能性を開花させるものとして、また、人種、性別、年齢、言語、障がいの有無等、人間を区別してきた枠組みを身体的コミュニケーションと共感によってつなげる可能性を持つものとして、多様性(ダイバーシティ)に満ちた共生社会の構築とともに地域社会、ひいては国際社会における平和と友好に寄与することが益々期待されている(資料18)。とりわけ、(1)生物としての人間は、運動を不可避的に要請されるが、モータリゼーションの発達は、人間から運動を遠ざけ、結果、運動不足を起因とする生活習慣病を蔓延させてきた。超高齢社会を迎えた日本において、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウエルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題となっていること(資料19)、(2)ウエルネスレベルを高めることは、人の可能性の追求に関連した成長や社会貢献などを通して実現される包括的な幸福感を高めることに繋がると考えられ、スポーツは多様な価値観を認め合いながら心身の健康や生きがい感なども高める総合的な活動であり、心身の障がいの有無にかかわらずより良い人生を歩んでいくために重要なツールとなりうること(資料19)及び(3)地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、人と自然との調和に基づくウエルネス社会の実現に向けて、自然環境や生活環境のあり方を、サステイナブルな視点(資料20)から次世代に伝えていくことが求められており、こうした環境のあり方を伝える上で、体力やメンタルヘルスの向上、生きがい感の高まりなどスポーツの持つポジティブな側面を社会に定着させ、逆に暴力など、スポーツと親和性が高いと考えられてきたネガティブな側面を一掃するためには、スポーツ教育の持つ役割が大きなものとなること(資料21)から、本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要は高まることが見込まれる。

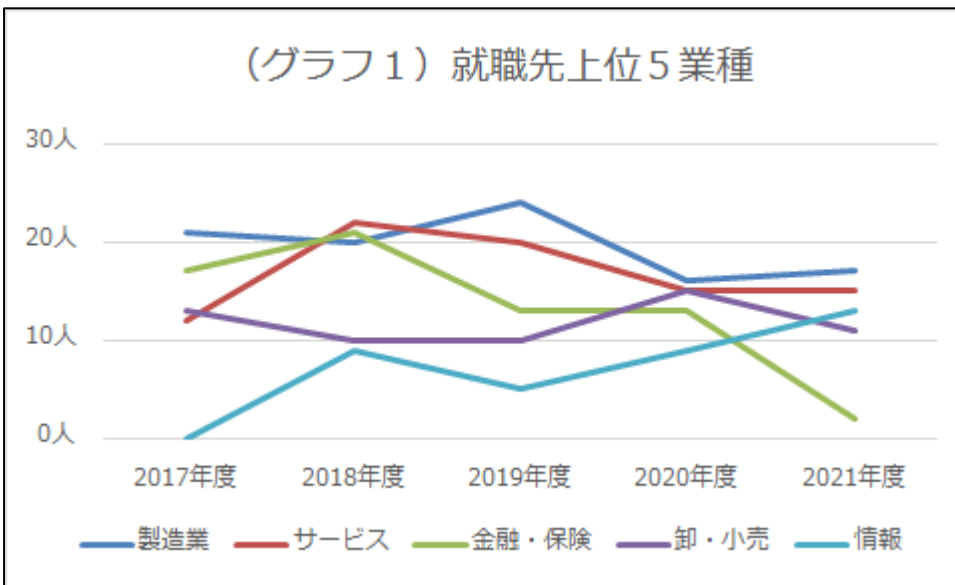
さらに、2021年度卒業者のうち、就職先上位5業種の5年間の就職者数の推移を見ると、「製造業」及び「サービス」が上位を占め、「金融・保険」が2021年度に大幅に減少、「情報」が増加していることがわかる(グラフ1)。学士課程段階であるため、必ずしも全員が学修した専門分野と同様の業種に就職するわけではないが、「製造業」では「健康をはかる」計測機器の開発を行う企業、「トータルヘルスケアカンパニー」を謳う企業、「サービス」ではヘルスケアを行う企業、介護事業を行う企業、「卸・小売り」ではスポーツ用品の販売を行う企業、「情報」ではプロアスリートへのデータ分析システム・レポートの提供、強化サポート全般、データ分析を行う企業など、本学部における学修内容に深く関連する企業への就職実績が一定程度ある。上記(1)～(3)を踏まえると、今後、これらの業種からの人材需要が高まることが見込まれ、本学部卒業生の活躍の場が広がることになる。

表1

	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
対象者	111	114	113	107	108	553
進学、不明等除く	97	108	105	98	90	498
就職	92	107	100	94	86	479
就職率	94.85%	99.07%	95.24%	95.92%	95.56%	96.18%

表2

業種	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
製造業	21	20	24	16	17	98
サービス	12	22	20	15	15	84
金融・保険	17	21	13	13	2	66
卸・小売	13	10	10	15	11	59
情報	0	9	5	9	13	36
教育	9	4	6	5	8	32
運輸・通信	6	7	3	5	3	24
放送・広告	2	4	6	4	5	21
公務	5	3	3	6	3	20
不動産・電気等	2	4	5	4	3	18
農業・林業等	5	3	4	1	4	17



加えて、2022年1月18日に一般社団法人日本経済団体連合会（以下「経団連」という。）が公表した「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（資料22）によると、大卒者に特に期待する資質・能力・知識として、表3の内容が挙げられている。これらは、本学部の学位授与方針に掲げる学修成果である「豊かな人間性と高い倫理観を持って、リーダーシップを発揮できる。」、「スポーツウエルネスに関する科学的視点や基礎知識・基礎理論を理解できる。」、「スポーツウエルネス学に必要とされる自然科学的研究法と人文社会科学的研究法を適切に運用できる。」、「スポーツに関わる人々やスポーツの多様性を尊重し、行動することができる。」及び「ウエルネスとスポーツ活動及びそれらを取り巻く社会環境に関する知見と諸理論を包括したスポーツウエルネス学を体系的に理解できる。」と関連性が認められることから、本学部は企業が求める能力及び知識を備えた新卒者を輩出することができるといえる。

表3	特に期待する資質	特に期待する能力	特に期待する知識
上位1	主体性 (84.0%)	課題設定・解決能力 (80.1%)	文系・理系の枠を超えた知識 ・教養 (84.7%)



上位2	チームワーク・リーダーシップ ・協調性 (76.9%)	論理的思考力 (72.1%)	専攻分野における基礎知識 (75.8%)
上位3	実行力 (48.1%)	創造力 (42.6%)	専攻分野における専門知識 (61.8%)

※経団連公表資料から上位3つを抜粋

以上を踏まえ、(1) 本学部の前身であるスポーツウエルネス学科はその就職率が示すように社会から評価されており、本学部においてもこの状況に変化は生じないことが見込まれること、(2) 本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要は高まることを見込まれるとともに、本学部の教育研究内容に関連する業種からの人材需要が高まることを見込まれ本学部卒業生の活躍の場が広がることが予想されること、(3) 本学部の学位授与方針に掲げる学修成果は、企業から求められているものと関連性が認められることから、本申請における入学定員の増加規模は、社会的な人材需要の動向を踏まえたものであるといえる。

## 学生確保の見通し等を記載した書類（資料目次）

資料 1	18 歳人口予測（全体：南関東：2019～2031）	… 3
資料 2	2020 年現役高校卒業者の進路の内訳	… 4
資料 3	高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査	… 5
資料 4	入学志願者増減割合（前年度比）	… 6
資料 5	ポジショニング検証調査結果報告書（抜粋）	… 7
資料 6	埼玉県内の学部等の名称に「スポーツ」を含む他大学の志願者数等 （2021 年度）	… 8
資料 7	他大学学部学費一覧	… 9
資料 8	スポーツウェルネス学部リーフレット	…10
資料 9	福祉人材確保対策（厚生労働省）	…12
資料 10	2020 年度業種別就職状況（学部別）	…13
資料 11	「2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政 体制のあり方等に関する答申」（令和 2 年 6 月 26 日）（抜粋）	…14
資料 12	第 3 期スポーツ基本計画における具体的施策と本学部が養成する人材の領 域との関連	…15
資料 13	埼玉県スポーツ推進計画	…17
資料 14	第 3 次新座市生涯学習推進計画	…18
資料 15	令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポ イント	…19
資料 16	令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】（第 37 表年齢別教員数）	…20
資料 17	チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要	…21
資料 18	第 3 期スポーツ基本計画（第 2 章）	…22
資料 19	WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（抜粋）	…23

資料 20	スポーツと持続可能な開発（SDGs） _ 国連広報センター	…24
資料 21	環境教育の必要性、意義と全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果	…25
資料 22	「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（経団連）（P4）	…26

○資料1 18歳人口予測（全体：南関東：2019～2031）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料1

2 出典

リクルート進学総研ウェブサイト

3 引用範囲

リクルート進学総研 マーケットレポート（VOL74 2020年1月号）P2

[https://souken.shingakunet.com/research/assets/202001\\_minamikantou\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/assets/202001_minamikantou_souken_report.pdf)

4 その他の説明

申請対象学部等を設置している地域が、人口減少の影響を受けにくいことを示す根拠資料として、図表部分を抜粋して引用した。

## ○資料 2 2020 年現役高校卒業者の進路の内訳

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 2

### 2 出典

旺文社教育情報センターウェブサイト

### 3 引用範囲

旺文社教育情報センター 教育情報（令和 2 年度 3 月 1 日付）

<https://eic.obunsha.co.jp/resource/viewpoint-pdf/202103.pdf>

### 4 その他の説明

大学進学率が上昇していることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

○資料3 高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料3

2 出典

埼玉県ウェブサイト

3 引用範囲

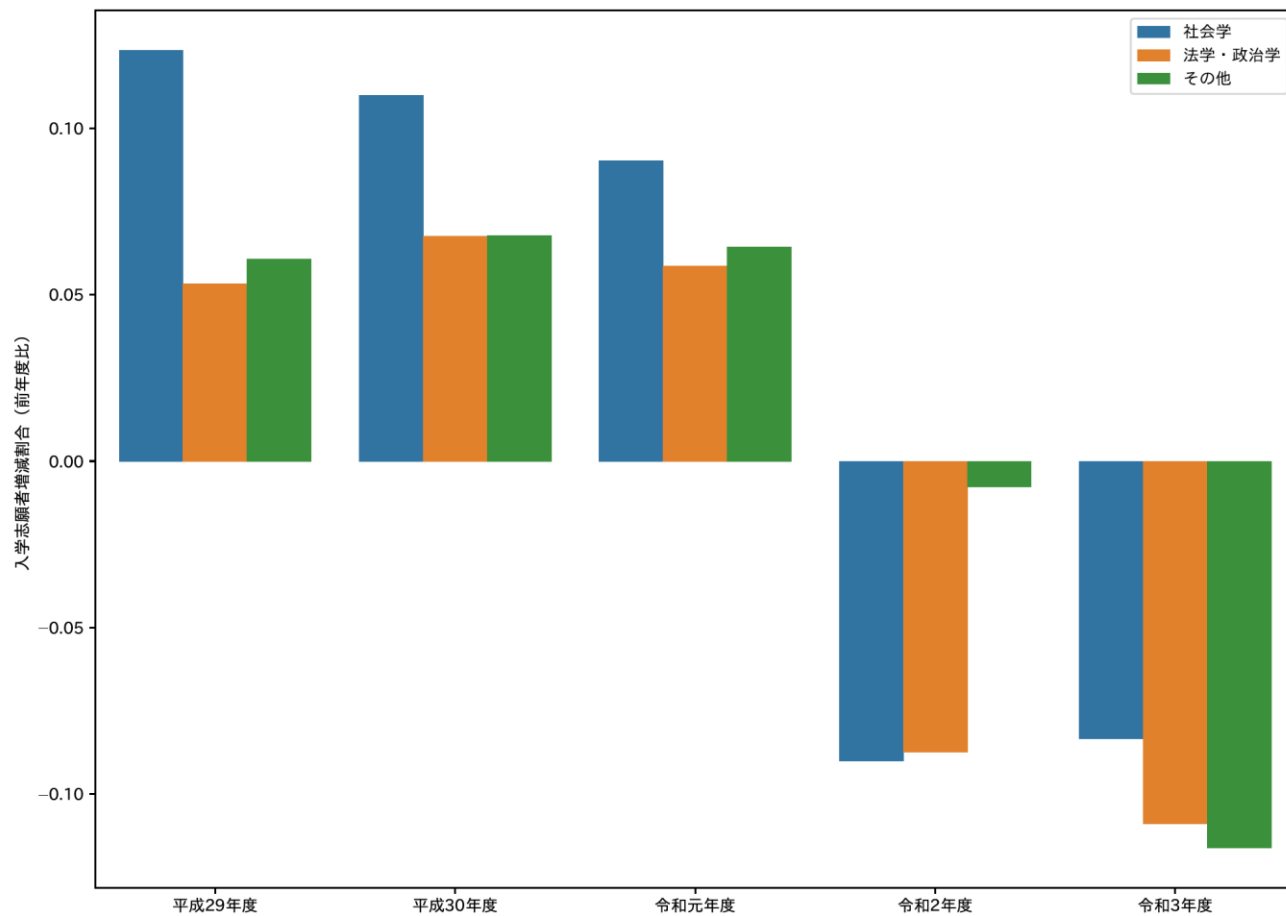
令和2年度学校基本調査 結果のポイント（「3 高等学校（全日制・定時制）卒業者の進路状況」）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a219/kakuhoukihon2020.html>

4 その他の説明

新座キャンパスがある埼玉県は、全国平均と比較すると進学率が高い傾向にあるとを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

# 入学志願者増減割合（前年度比）



## ○資料5 ポジショニング調査報告書（抜粋）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料5

### 2 出典

本学が株式会社 KEI アドバンスに依頼した調査報告書

### 3 引用範囲

私立大学 学科系統別 志願動向（2011～2020 年度）等

### 4 その他の説明

公表することを前提とした調査報告書ではないため、公表を差し控える。



埼玉県内の学部等の名称に「スポーツ」を含む他大学の志願者数等（2021年度）

※HPに志願者数を公開している大学／降順

大学名	学部名学科名	入学定員	志願者数	倍率
立教大学	コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科	110	1,268	11.53
東洋大学	ライフデザイン学部 健康スポーツ学科	180	1,996	11.09
大東文化大学	スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科	125	991	7.93
早稲田大学	スポーツ学部 スポーツ科学科	400	1,638	4.10
尚美学園大学	スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科	160	278	1.74
駿河台大学	スポーツ科学部学部 スポーツ科学科	200	254	1.27
東京国際大学	人間社会学部 人間スポーツ学科	230	278	1.21
東京国際大学	人間社会学部 スポーツ学科	200	178	0.89
全体		1,605	6,881	4.29

## 他大学学費一覧

大学名	入学金	授業料	実験実習料	施設設備費	教材費	諸会費	合計
早稲田大学スポーツ科学部	200,000	1,394,000	39,000			7,000	1,640,000
東京国際大学人間社会学部スポーツ科学科	250,000	910,000		400,000		40,000	1,600,000
日本体育大学体育学部	300,000	800,000		250,000	200,000	48,000	1,598,000
東海大学体育学部	200,000	1,269,000	48,000		41,000	18,200	1,576,200
国土館大学体育学部	240,000	830,000	75,000	399,000	30,000		1,574,000
法政大学スポーツ健康学部	240,000	933,800	100,000	278,000		15,000	1,566,800
平成国際大学スポーツ健康学部	320,000	624,000	100,000	260,000	76,000	76,000	1,456,000
桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部	200,000	800,000	79,800	300,000		72,170	1,451,970
立命館大学スポーツ健康科学部	200,000	1,219,000				31,000	1,450,000
大東文化大学スポーツ・健康科学部	210,000	835,000	50,000	326,000		24,900	1,445,900
立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	200,000	1,190,000	15,000			6,500	1,411,500
駿河台大学スポーツ科学部	200,000	735,000	15,000	425,000		25,000	1,400,000
国際武道大学体育学部	120,000	715,000	143,000	371,000		47,700	1,396,700
順天堂大学スポーツ健康学部	200,000	700,000		300,000	150,000		1,350,000
立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科	200,000	1,128,000	15,000			6,500	1,349,500
同志社大学スポーツ健康科学部	200,000	925,000	50,000	160,000		8,000	1,343,000
東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科	250,000	830,000		200,000		5,000	1,285,000



立教大学 | スポーツウエルネス学部  
(設置構想中)

College of Sport and Wellness

<https://sw.rikkyo.ac.jp>



2023年4月 新設

スポーツウエルネス学部

(設置構想中)

College of Sport and Wellness

すべての人の生きる喜びのために



立教大学

新座キャンパス

## — 3つの学びの領域と取得可能な資格 —

## すべての人の生きる喜びのために

## スポーツウエルネス学部創設

(設置構想中)

## スポーツウエルネス学科

2008年に開設した既存のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、スポーツ・健康科学の研究領域に「ウエルネス」という心身の健康だけでなく、価値観や生きがいなども含めた多元的、総合的な健康観の発想を融合させた、新たな学問領域を創出しました。

スポーツウエルネス学部では、母体となる既存のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科での実績を基盤に、教学内容を発展・充実させ、「すべての人の生きる喜びのために」を理念としたカリキュラムを計画しています。

スポーツウエルネス学部における教育研究上の目的は、スポーツに興味・関心を有する優秀な人材を集め、豊かな人間性を基盤とし、すべての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウエルネス学の知見と力能を有する人材を育成することです。



## 養成する人間像

- 01 スポーツウエルネスに関する科学的視点や、基礎知識・基礎理論を、総合的・学際的に理解し、社会に応用できる人材
- 02 人間の適応可能性を高め、高度なアスリートサポートに寄与するための、スポーツウエルネス学の深い理解に基づいた指導ができる人材
- 03 すべての人が運動・スポーツを通して個々人のウエルネスを向上させ生活を豊かにするための科学的知見と力能を有する人材
- 04 人間と自然の調和をはかり、幅広い教養と国際的な感覚を身に付け、指導ができる人材

## 主な4年間の学び

## 1年次

## 導入期

1. 大学での学びへの移行期間として、自己判断・主体的な学び、自身の目標設定、そしてキャリア形成の重要性などを理解する。
2. スポーツウエルネス学に関わる基礎的な知識、方法論、技法を身に付ける。
3. 4年間の学生生活を全体的に見る視野をもち、目標を立て、それを段階的に実現していくことの重要性を知る。さらに卒業後の進路・方針にも視野を広げる。

## 2年次

## 形成期 (1年次秋学期より)

1. スポーツウエルネス学の観点から様々な問題について調査研究し、その結果を発表し議論できるようになる。
2. スポーツが持つグローバルな側面を理解し、留学等を通して、異文化に対する関心や理解をもつ。
3. 卒業後のキャリア・生き方の方針について検討し、必要に応じて再検討する。

## 3年次

## 完成期

1. スポーツウエルネス学に関して、これまでに学修した知識や技法を総合的に応用し、活用できる。
2. 研究発表やスポーツ指導実践などから一定の水準を満たした卒業論文や卒業制作を仕上げるだけの力を身に付ける。
3. インターンシップやボランティア活動等を通して、人生において働くことの意義について体験的に実感する。
4. 卒業後の進路を確定し、人生全体の目標を持つ。

## 4年次

全学共通科目 (リベラルアーツ)		言語系科目 (言語A (英語)、言語B (ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語))
学部 共通科目	立教ファーストタムプログラム	環境・サステナビリティ論、生物多様性と人間社会、障害者スポーツ実践論、アダプテッド・スポーツ論、 発育・発達・加齢論、学校保健・学校安全、スポーツ教育論
	スポーツマンシップ論	スポーツ社会学、ダイバーシティ・スポーツ論、健康運動指導演習、コミュニティスポーツ論、 レクリエーション援助技術演習、運動処方・療法、スポーツコーチング演習
	スポーツリーダーシップ論	アスレチックリハビリテーション概論、アスレチックトレーナー概論、スポーツ医学、動作分析法演習、 バイオメカニクス、スポーツウエルネス心理学 (応用)、運動・スポーツ栄養学 (応用)
基礎演習	スポーツウエルネスワークショップ	専門演習
	インターンシップ・現場実習	卒業研究／ベーシック・アドバンスト
	グローバル教養副専攻	

全学共通科目 (リベラルアーツ)		言語系科目 (言語A (英語)、言語B (ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語))
学部 共通科目	立教ファーストタムプログラム	環境・サステナビリティ論、生物多様性と人間社会、障害者スポーツ実践論、アダプテッド・スポーツ論、 発育・発達・加齢論、学校保健・学校安全、スポーツ教育論
	スポーツマンシップ論	スポーツ社会学、ダイバーシティ・スポーツ論、健康運動指導演習、コミュニティスポーツ論、 レクリエーション援助技術演習、運動処方・療法、スポーツコーチング演習
	スポーツリーダーシップ論	アスレチックリハビリテーション概論、アスレチックトレーナー概論、スポーツ医学、動作分析法演習、 バイオメカニクス、スポーツウエルネス心理学 (応用)、運動・スポーツ栄養学 (応用)
基礎演習	スポーツウエルネスワークショップ	専門演習
	インターンシップ・現場実習	卒業研究／ベーシック・アドバンスト
	グローバル教養副専攻	

## 創設の理念

立教大学を創設した「聖公会」と「スポーツ」は深い関係にある。聖公会は、16世紀の英国宗教改革によって生まれた英国国教会を母体とするが、国教会体制を堅持する目的で、1617年に英国王ジェームス1世が公布したのが「スポーツの書」(The Book of Sports)であった。この時に奨励されたのは、アーチェリーや跳躍競技、モリス・ダンスなどであった。その後、さまざまスポーツ競技が英国において誕生し、近代スポーツのほとんどが英国起源である背景には、このような歴史がある。

1828年に、英国の歴史あるパブリックスクール、ラグビー校の校長として着任した、聖公会の司祭であり、神学博士でもあった、トマス・アーンロルドは、カリキュラムを大胆に改革し、学生の知力のみならず、全人的な人格教育を徹底に行った。アーンロルドがその教育改革の基軸として着目したのが、キリスト教教育と共に「スポーツ」であり、とりわけ「フットボール」であった。これが「ラグビー」「サッカー」の起源でもある。スポーツが人格教育に重要な意義を有することを訴え続けたアーンロルドに、強い影響を受けたのがピエール・ド・クーベルタンであり、彼はアーンロルドの精神を基礎として、スポーツマンシップ、フェアプレーの重視、人間形成と教育に貢献するスポーツの振興を願って、近代オリンピックを興していくのである。

このように本来、「スポーツ」とは、「人間性を回復」(レクリエーション)し、人格を養い、信頼と愛によって結ばれた共同社会を形成し、心身の健康を増進し、自然と共感するための「人間教育の文化」であった。私たち立教大学は、その学則第1章第1条において、「本大学は、キリスト教に基づく人格の陶冶を旨」とすると定めている。その意味で、立教大学に、「スポーツウエルネス学部」が新設されることは、本学の建学の理念に照らしても、大いに意義あることである。

## 入学定員 (予定)

スポーツウエルネス学部  
(学士課程)

230名

スポーツウエルネス学研究所  
スポーツウエルネス学専攻 (設置構想中)  
(博士課程前期課程) (博士課程後期課程)

10名

5名

## 教員数 (予定)

専任教員 16名、  
特任教員・助教 合計10名

## 設置場所

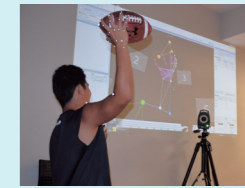
新座キャンパス

ウエルネス  
スポーツ領域

心身ウエルネスや障がい者スポーツの専門性を有し、すべての人がスポーツを享受できる社会構築に寄与する人材を育成します。

環境・スポーツ  
教育領域

環境問題やサステナビリティ社会に関する知見を有し、スポーツを通じた人間教育に貢献できる人材を育成します。

アスリート  
パフォーマンス領域

スポーツ科学的知見を総合的に理解し、アスリートのハイパフォーマンスに貢献できる人材を育成します。

## 学部共通科目

## 専門英語科目群

## 科目例

Comparative Sport Culture  
Quantitative Research Methods in Sport and Exercise  
Motivational Psychology in Sports and Exercise

## データサイエンス科目群

## 科目例

データサイエンス概論  
スポーツデータ収集演習  
スポーツデータ解析演習

スポーツマンシップ論  
スポーツリーダーシップ論

## ウエルネス科学科目群

## 科目例

ウエルネス科学総論  
ウエルネス理解のための基礎生命科学  
生理学、スポーツウエルネス心理学 (基礎)

## スポーツ科学科目群

## 科目例

スポーツ科学総論  
運動方法学、運動生理学  
運動・スポーツ栄養学 (基礎)

## 全学共通科目

## 取得可能な資格

環境・スポーツ教育領域  
中学校・高等学校第一種保健体育免許、  
キャンパインストラクター、  
スポーツリーダー など

ウエルネススポーツ領域  
健康運動指導士 (受験資格)、  
障がい者スポーツ指導員、  
レクリエーション・インストラクター など

\*領域に関わらず各資格を取得できます。

アスリートパフォーマンス領域  
スポーツ指導者、  
トレーナー関連資格 など

## 将来像

## 総合的なバランス力の追求—ジェネラリスト育成

グローバルスポーツマネジメント系企業／国際スポーツ関係機関／国際公務員／他業種アナリスト系 (シンクタンク、マーケティング、金融) など

## 専門性の追求—スペシャリスト育成

エコスポーツ系 (スキー場、登山、ゴルフ場、釣り等をエコの視点で展開している企業)／スポーツツーリズム系 (旅行業、公園事業、テーマパーク)／中高保健体育教員 (養護教員含む)／公務員 (地域振興、環境政策) など

スポーツ関連技術者系 (スポーツ用品メーカー、研究機関)／スポーツ栄養・美容系 (食品、美容系企業)／障がい者スポーツマネジメント系／健康・医療系 (健康食品、予防医学企業)／公務員 (スポーツ振興、健康増進課) など

プロスポーツ選手／プロスポーツ指導者／プロスポーツ運営系 (プロスポーツチーム・クラブ職員、スポーツイベント企画企業)／フットボールコーチ系 (普及、分析、コンディショニングコーチ)／アスレチックトレーナー／スポーツアナリスト など

## 高度な専門性を有する研究者育成

大学院進学 (前期課程、後期課程)／専修免許を有する保健体育教員／専門的知識を有する専門職系企業・団体、大学教員・研究者 など

○資料9 福祉人材確保対策（厚生労働省）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料9

2 出典

厚生労働省ウェブサイト

3 引用範囲

福祉人材確保対策

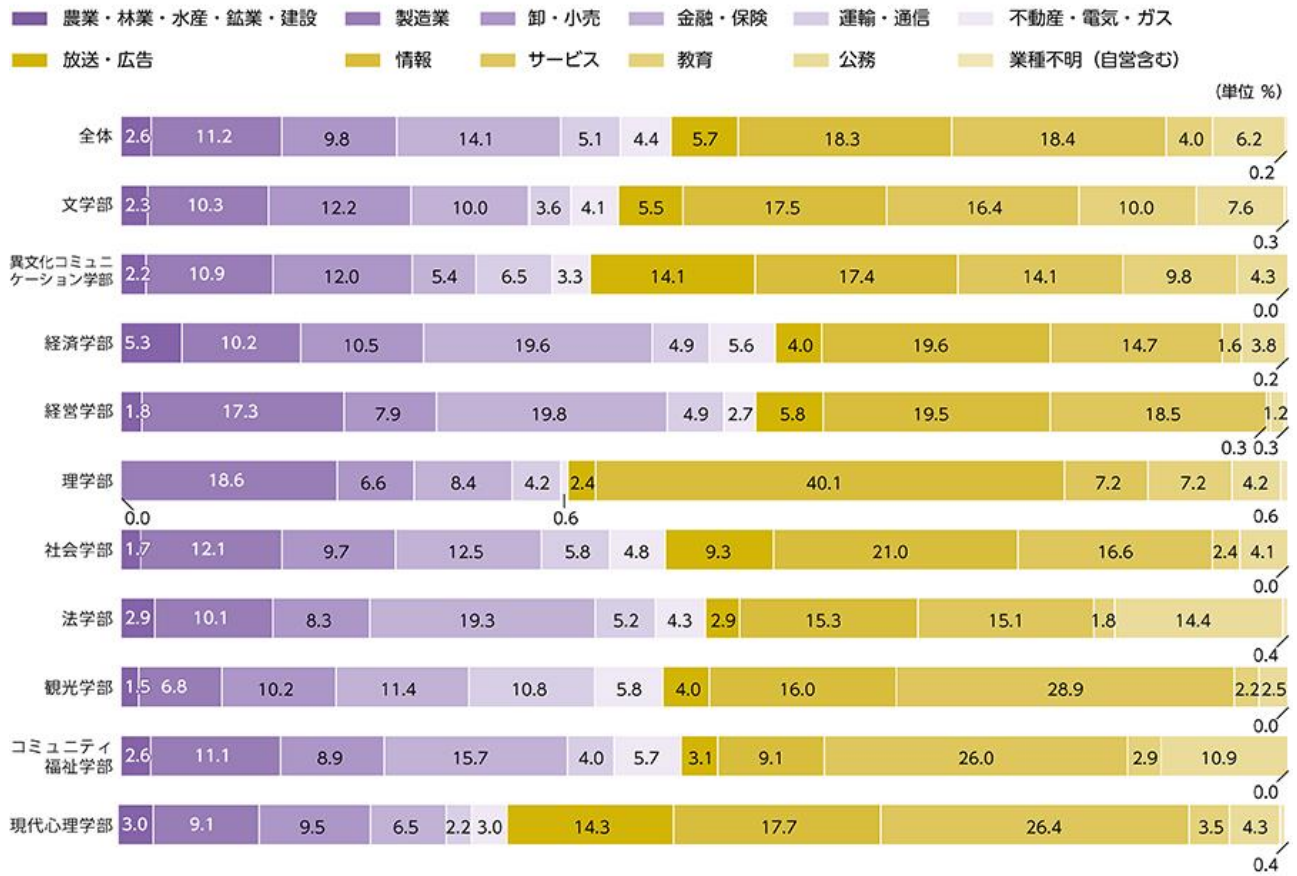
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html)

4 その他の説明

福祉人材の養成が社会から求められている例として、上記資料を引用した。

## 2020年度業種別就職状況（学部別）

### 2020年度 業種別就職状況（学部別）



○資料 11 2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和 2 年 6 月 26 日）（抜粋）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 11

2 出典

総務省ウェブサイト

3 引用範囲

2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和 2 年 6 月 26 日）鑑文、表紙、目次、P4, 10, 22

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000693733.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000693733.pdf)

4 その他の説明

福祉学科で養成する人材が社会から求められているものであることを示すため、上記資料を引用した。

○第3期スポーツ基本計画における具体的施策と本学部が養成する人材の領域との関連

スポーツ基本計画における具体的施策	本学部の人材養成像
<b>1 多様な主体におけるスポーツの機会創出</b>	
<b>① 広く国民一般に向けたスポーツを実施する機会の創出</b>	
<p>[具体的施策]</p> <p>オ 国は、性別、年齢、障害の有無等に関係なく、多様な主体がスポーツを楽しむために、アーバンスポーツ等の新しいスポーツへの参画や誰もがひとしく参加できるスポーツの導入、日常生活の中で気軽にできる運動やスポーツ・レクリエーションの実施、状況や環境の変化に応じた柔軟な実施方法やルールの変更・工夫など、スポーツに関わる人がそれぞれの状況・事情等に合わせ最も適切な手法・態様を取り入れてスポーツを「つくる／はぐくむ」ことができるように、必要な啓発活動や支援を行う。</p>	<p>ウエルネススポーツ</p>
<b>③ 女性、障害者、働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上</b>	
<p>ア 国は、地方公共団体や民間事業者等に対し、女性がスポーツを実施する意欲を向上させるための取組や女性のスポーツと健康との関係、女性がスポーツをしやすい環境の整備について、地域のスポーツクラブや研究機関、医療機関等の関係団体間で情報を共有、連携して普及啓発や環境整備等を行えるよう支援する。</p> <p>イ 国、地方公共団体は、障害者が身近な場所でスポーツを実施できるよう、全国障害者スポーツ大会（都道府県等で行う予選会を含む。）の活用や、総合型クラブとの連携も図りながら、引き続き、地域の課題に応じたスポーツ実施環境の整備に取り組む。また、障害者スポーツ用具の整備・利用促進にも取り組む。</p>	<p>ウエルネススポーツ 環境・スポーツ教育</p>
<b>(10) スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」</b>	
<b>③ スポーツに関わる人材の育成と活躍の場の確保</b>	
< c. スポーツ指導者の育成 >	
<p>ア 国は、JSPO、JPSPA、JOC、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、JSPOが実施する公認スポーツ指導者制度及びJPSPAが実施する公認障がい者スポーツ指導者制度並びにJOCナショナルコーチアカデミー事業の理念の理解増進や連携等を進めるとともに、質の高い指導者の養成を支援する。</p> <p>ウ 国は、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、障害の有無にかかわらず全ての人々がスポーツを実施できる環境整備を進めるとともに、年齢、障害の有無にかかわらず指導できる多様なニーズに対応した質の高い指導者の養成を図る。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>
< d. 専門スタッフ、スポーツボランティア等 >	
<p>ウ 国は、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、プレーヤーを安全・健康管理等のメディカル・コンディショニング面で支える専門スタッフの養成やその活用を拡大する。</p>	<p>アスリートパフォーマンス ウエルネススポーツ</p>



<b>④ 大学スポーツ振興</b>	
<p>ア 国は、「大学スポーツの振興に関する検討会議」（平成 28 年設置）等で議論し整理された、（1）大学スポーツの振興（①安全・安心な大学スポーツ環境の確立、②デュアルキャリアの推進、③大学スポーツの価値向上・認知向上）、（2）大学スポーツによる地域振興といった分野（大学スポーツ振興）について、UNIVAS と連携・協力して、引き続き着実に取組を進める。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>
<b>（５）スポーツによる健康増進② 医療・介護、民間事業者・保険者との連携を含む、スポーツによる健康増進の促進</b>	
<p>イ 国は、科学的根拠に基づき、健康づくりに資するスポーツに関する情報の周知や、地域住民の健康状態に応じた安全かつ効果的な運動・スポーツプログラムの提供を支援する。</p>	<p>ウエルネススポーツ 環境・スポーツ教育</p>
<b>（３）国際競技力の向上</b>	
<b>① 中長期の強化戦略に基づく競技力向上を支援するシステムの確立</b>	
<b>④ 地域における競技力向上を支える体制の構築</b>	
<p>（① 中長期の強化戦略に基づく競技力向上を支援するシステムの確立）ケ 国は、JSC、JOC、JPC、JSPO、NF、民間事業者、大学等と連携して、クロスアポイントメント制度等の活用も含めた組織間の人材交流の促進や、ナショナルコーチ等の設置に係る支援等により、指導者・スタッフ等が選手強化活動に専念し、又は、研究者がスポーツ医・科学等に関するより実践的な研究を行うことができる環境の整備を進める。</p> <p>（④ 地域における競技力向上を支える体制の構築）</p> <p>ア 国及び JSC は、地域のアスリート育成において、スポーツ医・科学、情報等によるサポートを受けられる体制を整備するため、NTC 競技別強化拠点や地域のスポーツ医・科学センター、大学等とのネットワークを構築し、地域におけるスポーツ医・科学、情報等によるサポートを担う人材の育成を進める。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>

## ○資料 13 埼玉県スポーツ推進計画

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 13

### 2 出典

埼玉県ウェブサイト

### 3 引用範囲

埼玉県スポーツ推進計画（概要版）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/127661/plan2018leaf.pdf>

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科を設置するキャンパスが位置する地方自治体において、スポーツ指導者等の確保が必要になることが見込まれる根拠として、上記資料を引用した。

## ○資料 14 第3次新座市生涯学習推進計画（中間見直し）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見直し等を記載した書類」資料 14

### 2 出典

新座市ウェブサイト

### 3 引用範囲

第3次新座市生涯学習推進計画（中間見直し）

<https://www.city.niiza.lg.jp/uploaded/attachment/34536.pdf>

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科を設置するキャンパスが位置する地方自治体において、スポーツ指導者等の確保が必要になることが見込まれる根拠として、上記資料を引用した。

○資料 15 令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 15

2 出典

文部科学省ウェブサイト

3 引用範囲

令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント

[https://www.mext.go.jp/content/20210201-mxt\\_kyoikujinzai01-000012429-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210201-mxt_kyoikujinzai01-000012429-1.pdf)

4 その他の説明

公立学校教員の志願者の確保が課題となっていることを示す資料として、上記資料を引用した。

○資料 16 令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】(第 37 表年齢別教員数)

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 16

2 出典

東京都教育委員会ウェブサイト

3 引用範囲

令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】(第 37 表年齢別教員数)

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics\\_and\\_research/academic\\_report/report2021.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics_and_research/academic_report/report2021.html)

4 その他の説明

公立学校教員の採用数が全国で最も多い東京都でも、毎年 2,000 人規模で教員が退職していくことが予想されるとともに、相当規模の採用需要が継続して見込まれることを示す資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 17 チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 17

### 2 出典

文部科学省ウェブサイト

### 3 引用範囲

チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2016/01/26/1365657\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/01/26/1365657_02.pdf)

### 4 その他の説明

多様化・複雑化する子どもの状況への対応として、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、連携・分担してチームとして職務を担う体制の整備が求められていることを示す資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 18 第3期スポーツ基本計画（第2章）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 18

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

第3期スポーツ基本計画（第2章）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 19 WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（抜粋）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 19

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（要約版）（日本語版）P6

<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/337001/9789240014886-jpn.pdf?sequence=151&isAllowed=y>

### 4 その他の説明

高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウェルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題となっていることを示すため、上記資料を引用した（P6 の内容を一覧化）。



○資料 20 スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 20

2 出典

国連広報センターウェブサイト

3 引用範囲

スポーツと持続可能な開発（SDGs）

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/18389/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389/)

4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 21 環境教育の必要性、意義と全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 21

### 2 出典

- ①独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターウェブサイト
- ②文部科学省ウェブサイト

### 3 引用範囲

- ①青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）（P81, 87）

※自然体験と自律性、積極性、協調性及び自己肯定感の関係を示すグラフ

[https://www.niye.go.jp/files/items/6861/File/%E3%80%90%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%91%E9%9D%92%E5%B0%91%E5%B9%B4%E3%81%AF%E4%BD%93%E9%A8%93%E6%B4%BB%E5%8B%95%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%84%8F%E8%AD%98%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%88%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%85%83%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%89\(1\).pdf](https://www.niye.go.jp/files/items/6861/File/%E3%80%90%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%91%E9%9D%92%E5%B0%91%E5%B9%B4%E3%81%AF%E4%BD%93%E9%A8%93%E6%B4%BB%E5%8B%95%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%84%8F%E8%AD%98%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%88%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%85%83%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%89(1).pdf)

- ②令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（P80）

※「中学校生徒の調査結果」「4 クロス集計」「質問 1 「運動やスポーツをすることが好き」×質問のうち、質問 1 ×質問 14（自分有の目標を立てている）、質問 1 ×質問 16（達成感）、質問 1 ×質問 17（「挑戦心）、質問 1 ×質問 18（自己肯定感）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/20211217-spt\\_sseisaku02-000019583\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20211217-spt_sseisaku02-000019583_2.pdf)

### 4 その他の説明

環境のあり方を次世代に伝えていくとともに、体力やメンタルヘルスの向上、生きがい感の高まりなどスポーツの持つポジティブな側面を社会に定着させていくためには、環境教育やスポーツ教育の持つ役割が大きなものとなることを示す資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 22 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果 (P4)

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 22

### 2 出典

一般社団法人日本経済団体連合会ウェブサイト

### 3 引用範囲

採用と大学改革への期待に関するアンケート結果 (P4)

[https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004\\_kekka.pdf](https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004_kekka.pdf)

### 4 その他の説明

企業が求める能力及び知識が、本学部が掲げる DP と関連性があることを示す資料として、上記資料を引用した。